

平成26年度  
和光市男女共同参画意識調査  
報告書

平成27年7月  
和光市



# 目 次

<b>第 1 章 調査の概要</b> .....	1
1. 調査実施の目的.....	3
2. 調査の種類.....	3
3. 調査方法と回収状況.....	3
4. 調査項目.....	4
5. 報告書の見方.....	4
6. 回答者の属性（市民意識調査）.....	5
<b>第 2 章 市民意識調査結果の分析</b>	
1. 男女共同参画に関する意識について.....	10
(1) 男女の地位の平等感.....	10
(2) 性別役割分担意識.....	25
(3) 性別役割分担意識に同感する理由.....	27
2. 家庭生活について.....	28
(1) 家庭生活での役割分担.....	28
3. 配偶者や恋人からの暴力について.....	31
(1) 夫婦・恋人間の暴力と認識される行為.....	31
(2) 配偶者・恋人からの被害経験の有無.....	37
(3) 命の危険を感じたこと.....	39
(4) 子どもへの行為.....	40
(5) 暴力に関する相談.....	41
4. 仕事について.....	
(1) 育児休業や介護休業を取得することへの抵抗感.....	43
5. 健康について.....	48
(1) 性感染症の予防方法の認知状況.....	48
6. 男女共同参画の取り組みについて.....	49
(1) 男女共同参画に関する言葉の認知度.....	49
7. 自由意見.....	52
<b>第 3 章 中生意識調査結果の分析</b> .....	53
(1) 回答者の性別.....	55
(2) 性別役割分担について	
(3) 性別役割意識に対する大人の言動.....	58
(4) 性別役割意識に対する大人の言動による影響.....	60
<b>第 4 章 小生意識調査結果の分析</b> .....	62
(1) 回答者の性別.....	55
(2) 性別役割分担について	

(3) 性別役割意識に対する大人の言動	58
(4) 性別役割意識に対する大人の言動による影響	60

第5章 調査票	71
---------	----





# 第1章 調査の概要





## 1. 調査実施の目的

「第3次和光市行動計画男女共同参画わこうプラン」を見直すにあたり、市民及び小中学生における男女共同参画に関わる意識・意向と実態を把握することを目的に調査を実施した。

## 2. 調査の種類

調査名	調査対象
1. 市民意識調査	和光市内に在住する満20歳以上の男女
2. 中学生意識調査	和光市立中学校に通う中学2年生
3. 小学生意識調査	和光市立小学校に通う小学4年生

## 3. 調査方法と回収状況

### ◎ 市民意識調査

調査方法：集合調査法、留置調査法

調査期間：平成26年11月9日（日）～平成27年3月31日（火）

回収結果：全体611（女性394、男性217）

### ◎ 中学生意識調査および小学生意識調査

調査方法：学校において授業、朝会、ホームルーム等で実施

調査期間：平成26年12月2日（火）～12月18日（木）

回収結果：中学生意識調査 全体311（女子161、男子150）

小学生意識調査 全体301（女子152、男子149）

## 4. 調査項目

調査名	調査項目
1. 市民意識調査	<ul style="list-style-type: none"><li>男女共同参画に関する意識について</li><li>家庭生活について</li><li>配偶者や恋人からの暴力について</li><li>仕事について</li><li>健康について</li><li>男女共同参画の取り組みについて</li><li>ご自身のことについて</li></ul>
2. 中生意識調査	<ul style="list-style-type: none"><li>男女の性差についての意識</li><li>性別役割意識に対する大人の言動</li></ul>
3. 小生意識調査	<ul style="list-style-type: none"><li>男女の性差についての意識</li><li>性別役割意識に対する大人の言動</li></ul>

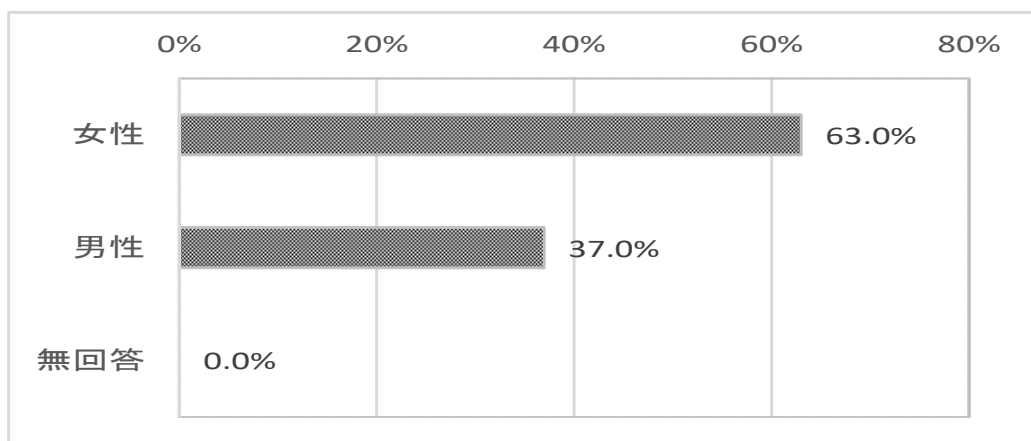
## 5. 報告書の見方

- (1) 調査結果の数値は原則として回答率（％）で表記している。％の母数は、その質問項目に該当する回答者の数であり、n＝と表記している。また、複数回答についても回答者の数としている。
- (2) 集計は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記してある。このため、各％を足しあげても、100.0%にならない場合がある。また、複数回答可の質問では、母数に対する回答率のため、各回答率の足し上げは100.0%を超える場合がある。
- (3) 「時系列比較」を行っている部分は、和光市において平成19年度に実施した調査の結果を用いている。
- (4) 分析の軸（＝縦軸）としたプロフィールや設問は、無回答を除いているため、各プロフィールの基数の合計が全体と一致しない場合がある。また、分析によっては、必要な選択肢を抽出して使用したり、複数の選択肢をまとめて使用しているところもある。
- (5) グラフや表のタイトルなどは、なるべく調査票そのままの表現を用いているが、スペースなどの関係から一部省略した表現としている箇所がある。
- (6) 回答者数が30未満と小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

## 6. 回答者の属性（市民意識調査）

### （1）性別

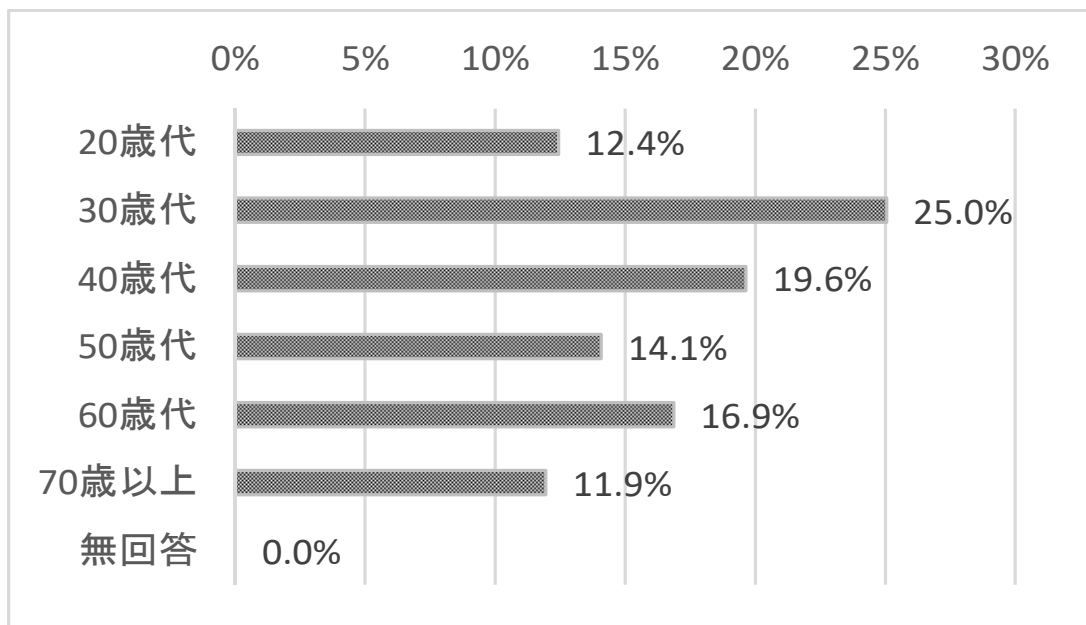
	基数	構成比
女性	385	63.0%
男性	226	37.0%
無回答	0	0.0%
全体	611	100.0%



### （2）年齢別

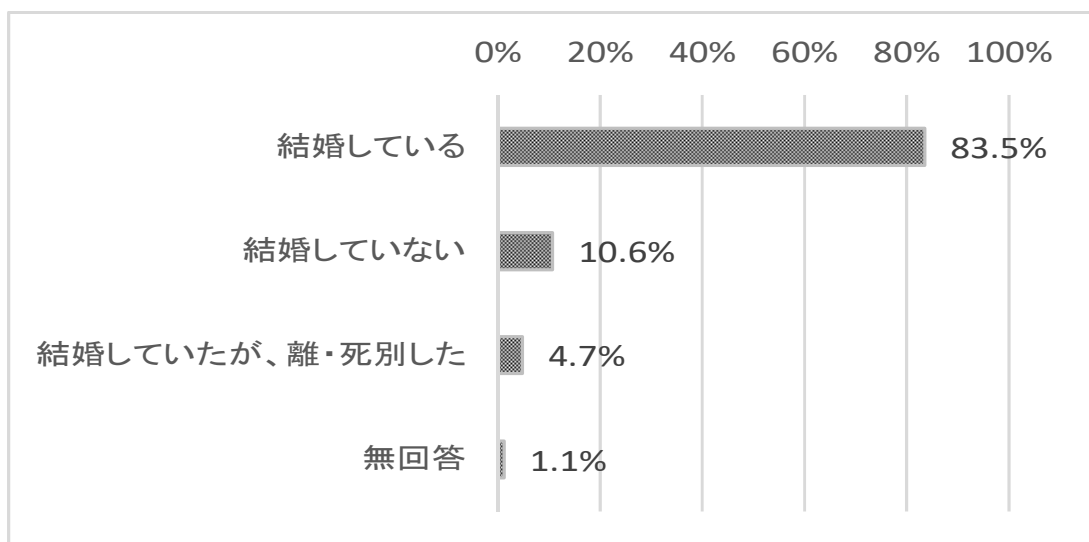
	基数	構成比
20歳代	76	12.4%
30歳代	153	25.0%
40歳代	120	19.6%
50歳代	86	14.1%
60歳代	103	16.9%
70歳以上	73	11.9%

無回答	0	0.0%
全体	611	100.0%



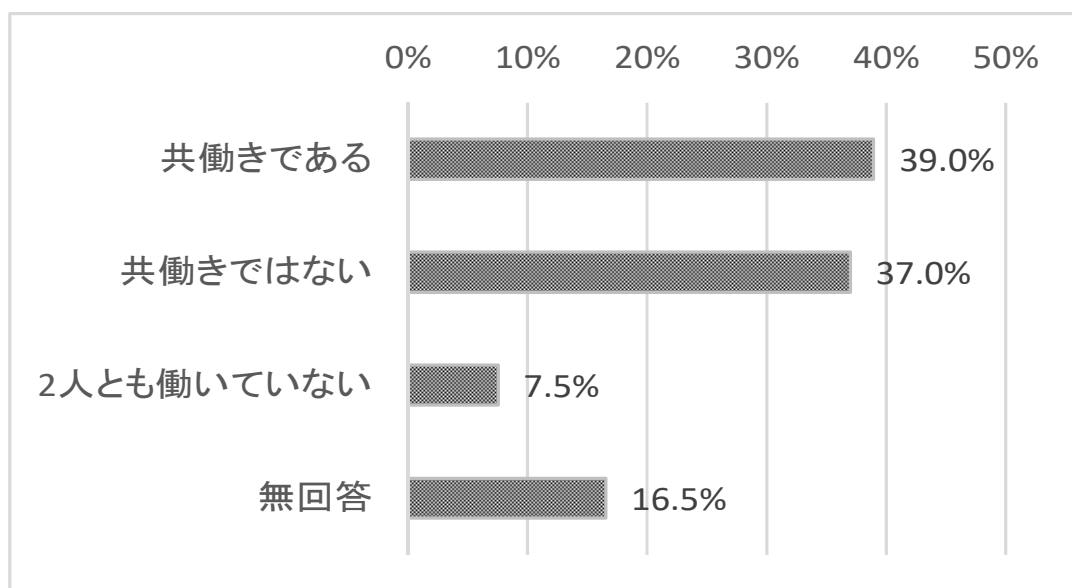
(3) 結婚の有無

	基数	構成比
結婚している	510	83.5%
結婚していない	65	10.6%
結婚していたが、離・死別した	29	4.7%
無回答	7	1.1%
全体	611	100.0%



(4) 共働きの有無

	基数	構成比
共働きである	238	39.0%
共働きではない	226	37.0%
2人とも働いていない	46	7.5%
無回答	101	16.5%
全体	611	100.0%



## 第2章 市民意識調査結果の分析

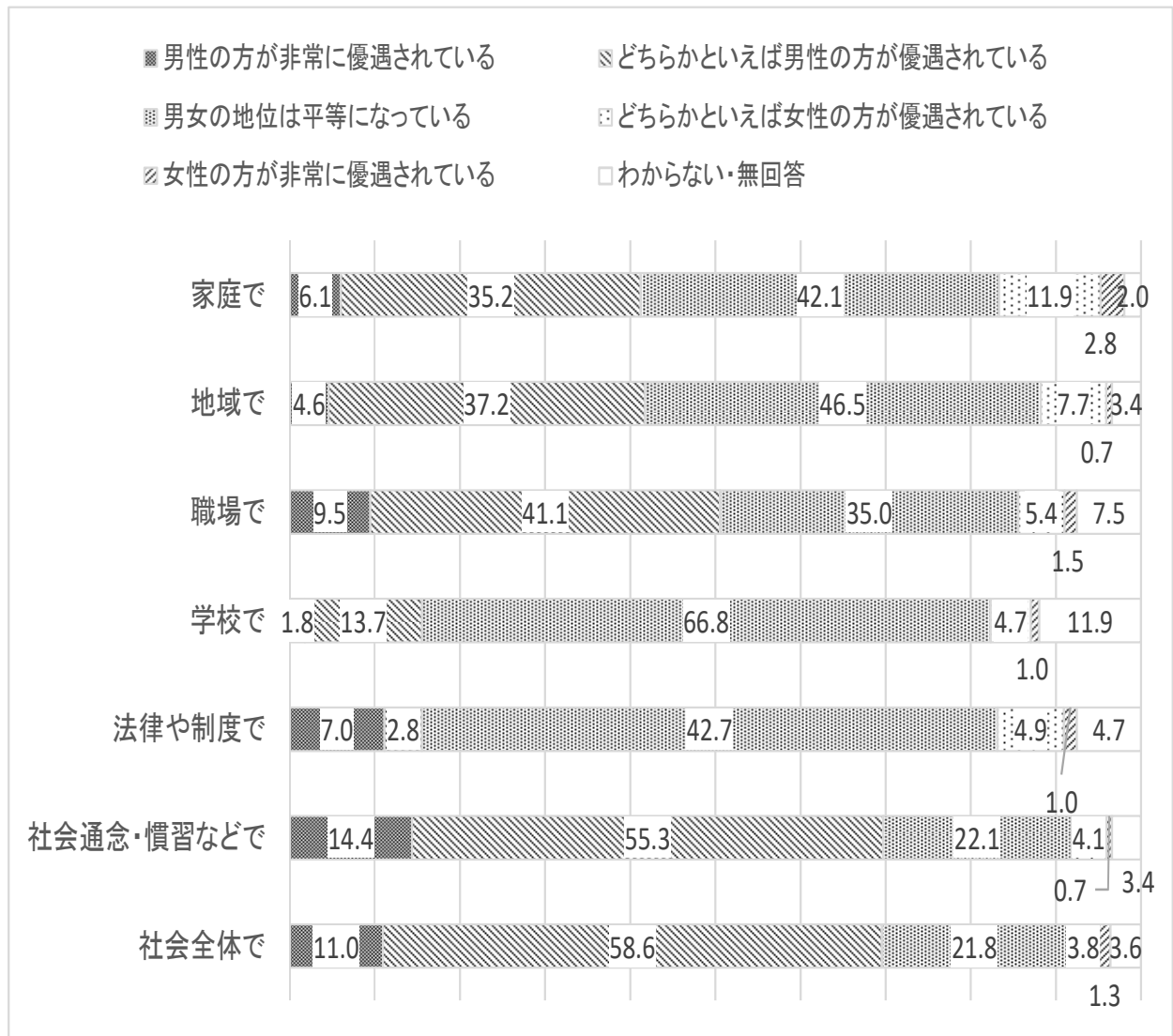


# 1. 男女共同参画に関する意識について

## (1) 男女の地位の平等感

問1 あなたは、次にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。  
(○はそれぞれ1つずつ)

図表1-1 男女の地位の平等感

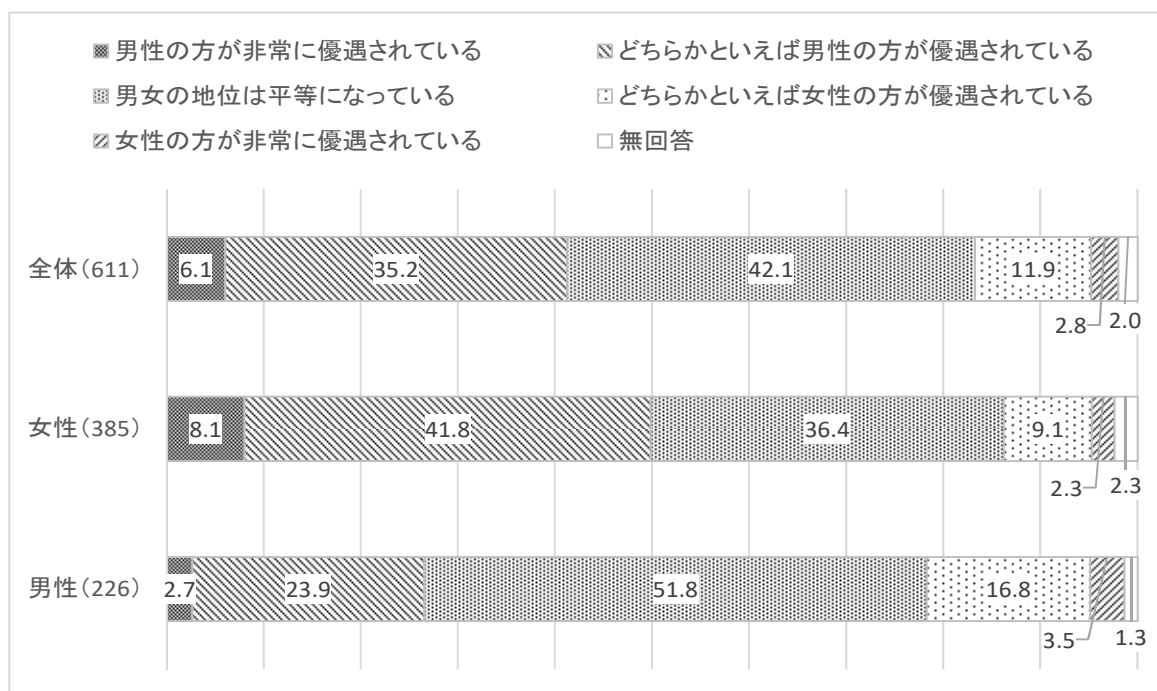


男女の地位の平等感については、「男女の地位は平等になっている」は学校で（66.8%）が最も高く、地域で（46.5%）、法律や制度で（42.7%）が半数近くとなっている。「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた「男性の方が優遇（合計）」は社会通念・慣習などで（69.7%）、社会全体で（69.6%）、職場で（50.6%）がそれぞれ過半数となっている。（図表1-1）

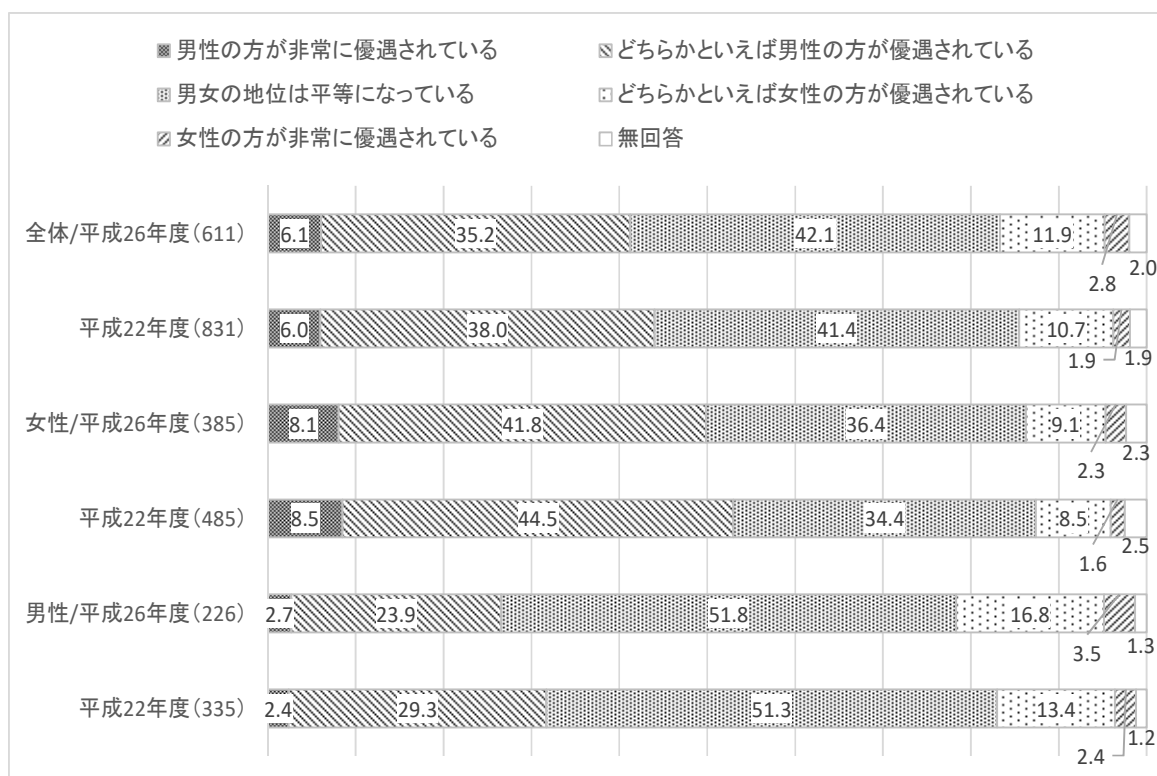


図表 1-2 男女の地位の平等感 ア 家庭で

【性別】



【経年比較】

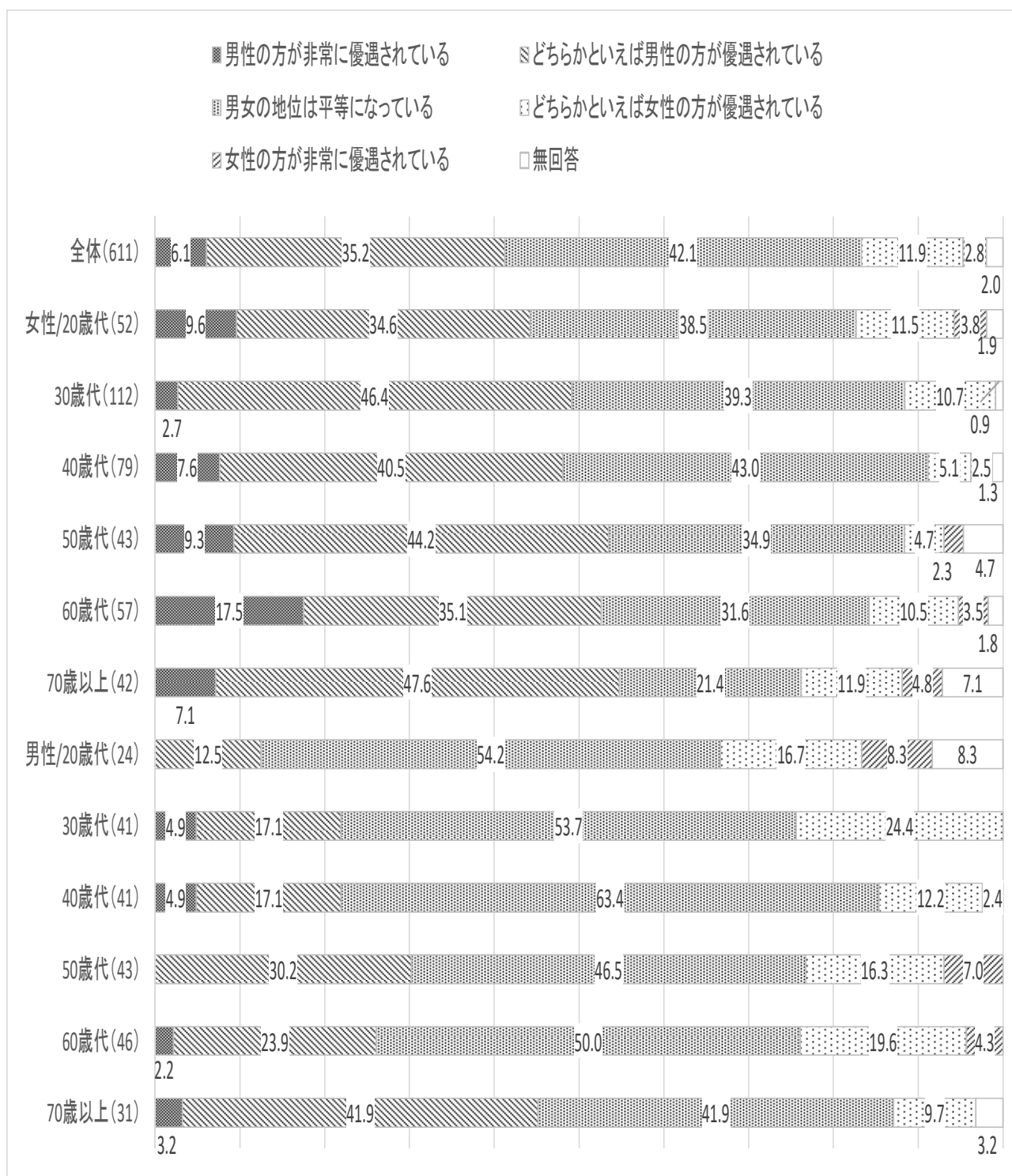


家庭について、性別で見ると、「男女の地位は平等になっている」が女性36.4%、男性51.8%と、男性で過半数となっている。女性では「男性の方が優遇（合計）」が49.9%を占める。

平成22年度調査と比較すると、大きな差はみられない。（図表 1-2）

図表 1 - 3 男女の地位の平等感 ア 家庭で

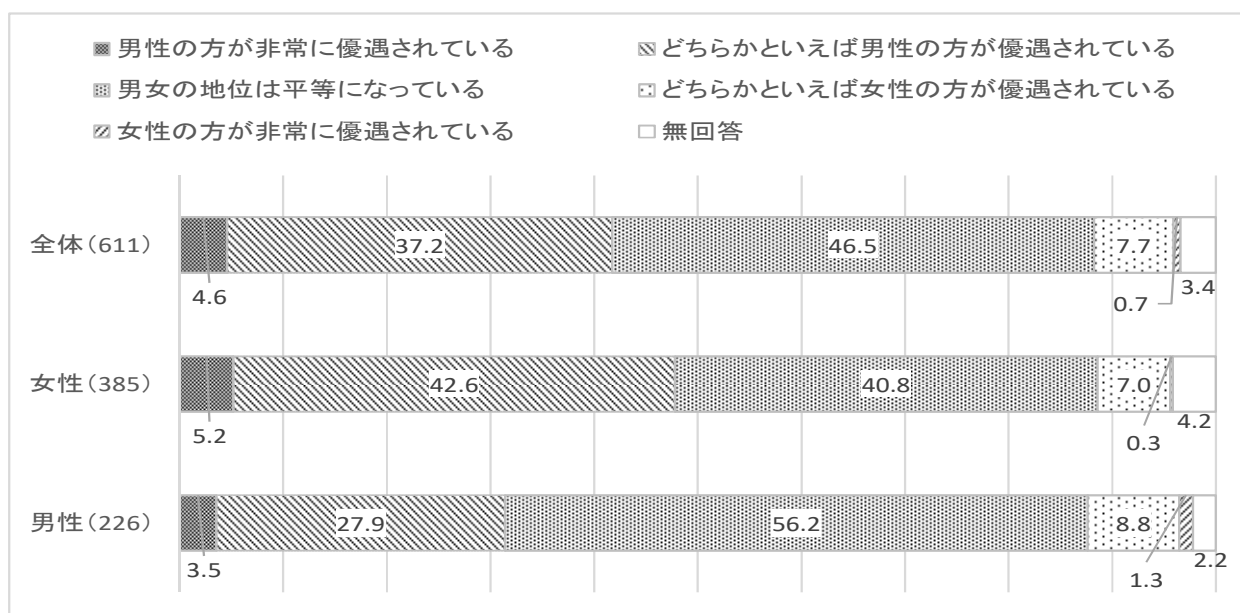
【性／年齢別】



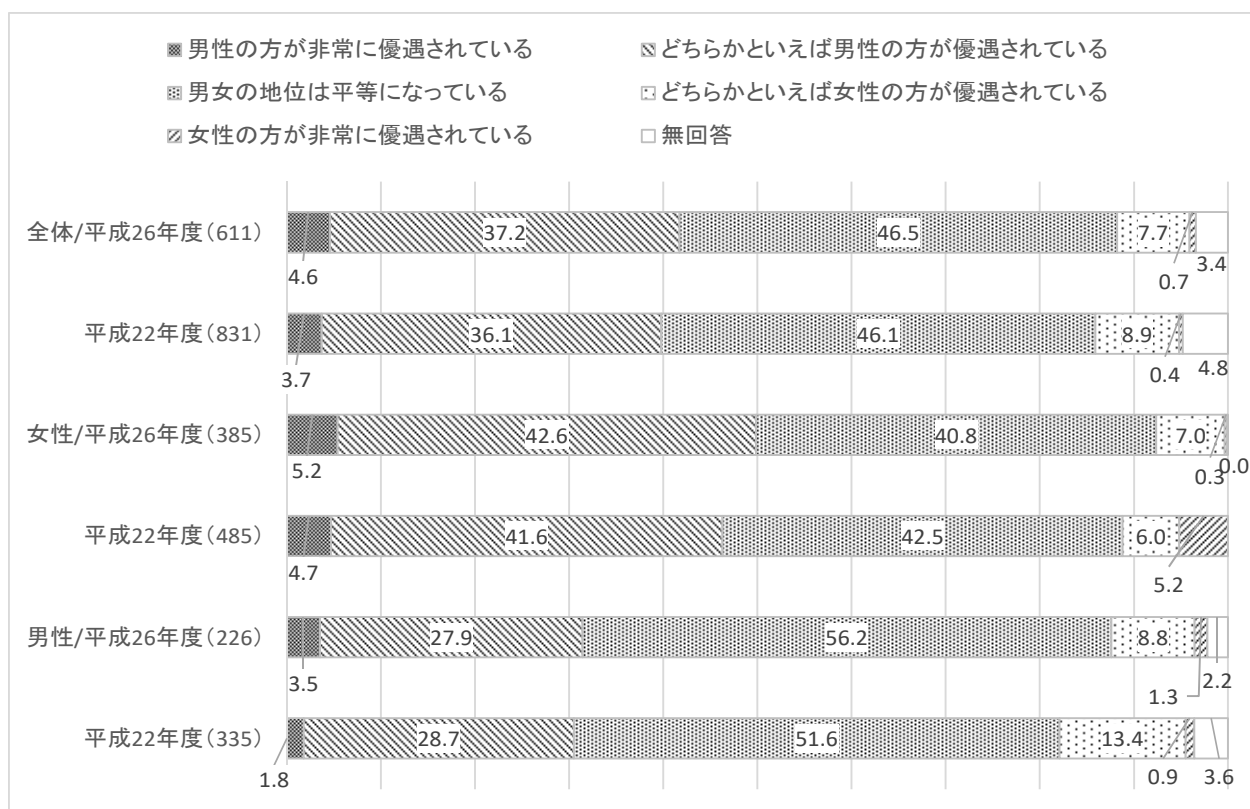
家庭について、性／年齢別で見ると、「男女の地位は平等になっている」は、男女ともに20～40歳代で高く、70歳以上で最も低くなっている。《男性の方が優遇（合計）》は、女性では50歳以上で過半数となっており、男性では70歳以上で半数近くとなっている。（図表 1 - 3）

図表 1-4 男女の地位の平等感 イ 地域で

【性別】



【経年比較】

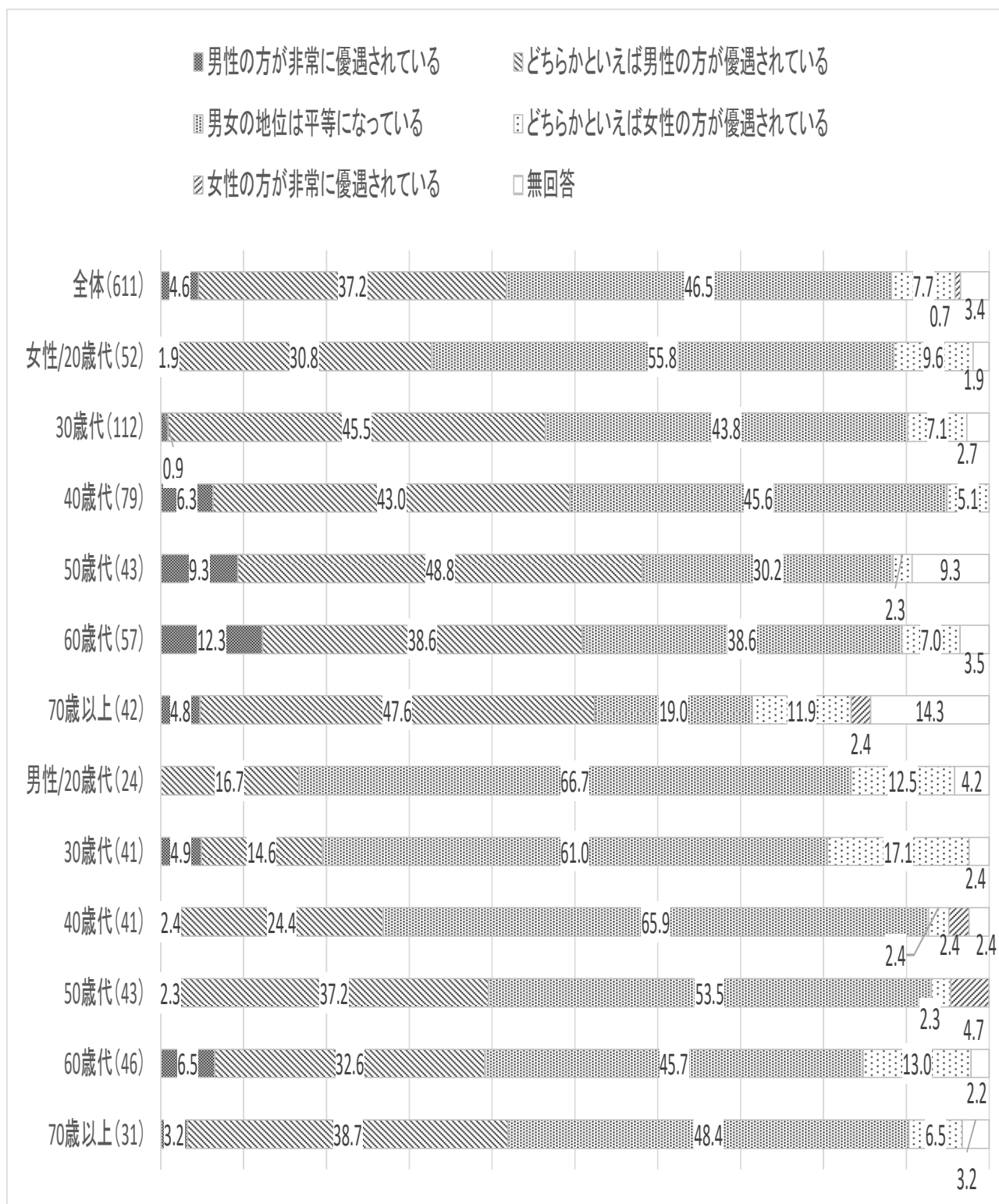


地域について、性別で見ると、「男女の地位は平等になっている」が女性40.8%、男性56.2%と、男性で過半数となっている。女性では「男性の方が優遇（合計）」が47.8%と半数近い。

平成22年度調査と比較すると、「男女の地位は平等になっている」は男性は増加しているが、女性は減少している。(図表 1-4)

図表 1-5 男女の地位の平等感 イ 地域で

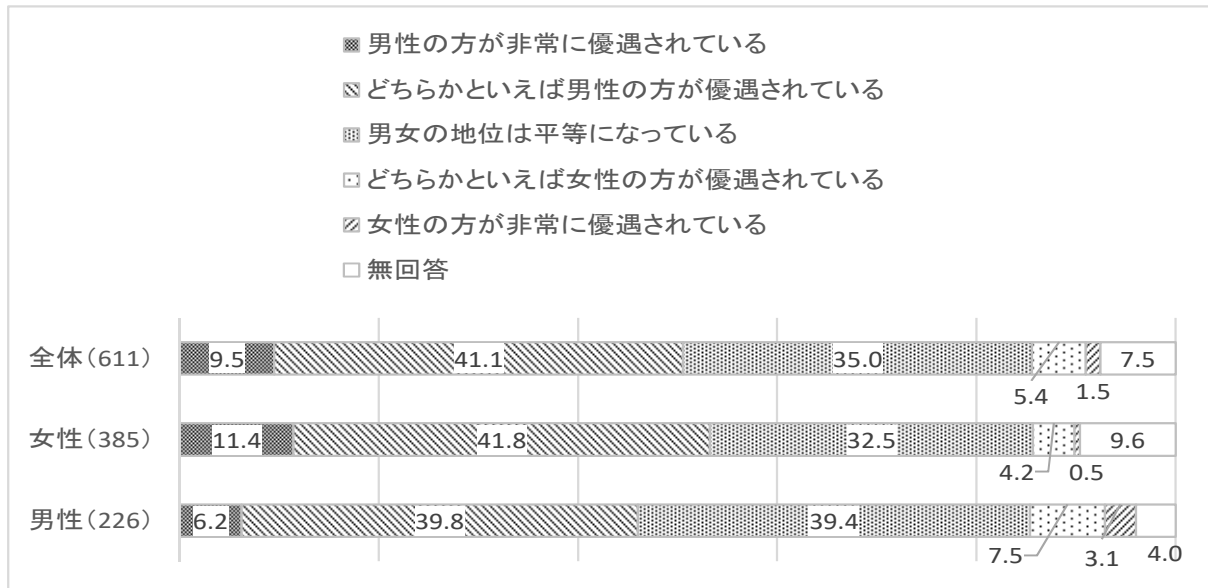
【性／年齢別】



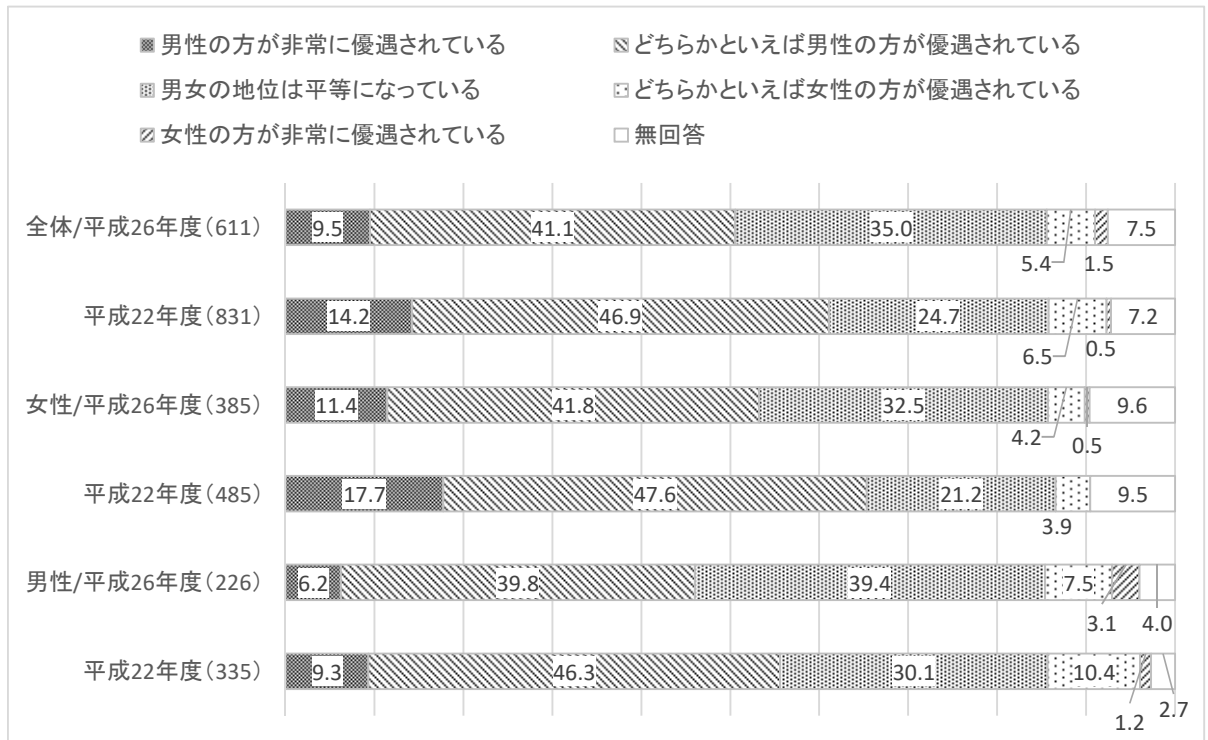
地域について、性／年齢別で見ると、「男女の地位は平等になっている」は、女性では20歳代で過半数となっており、70歳以上で最も低い。男性では20～50歳代で過半数となっている。《男性の方が優遇（合計）》は、女性では50～70歳以上で過半数となっている。男性では70歳以上で4割を超えている。（図表 1-5）

図表 1-6 男女の地位の平等感 ウ 職場で

【性別】



【経年比較】

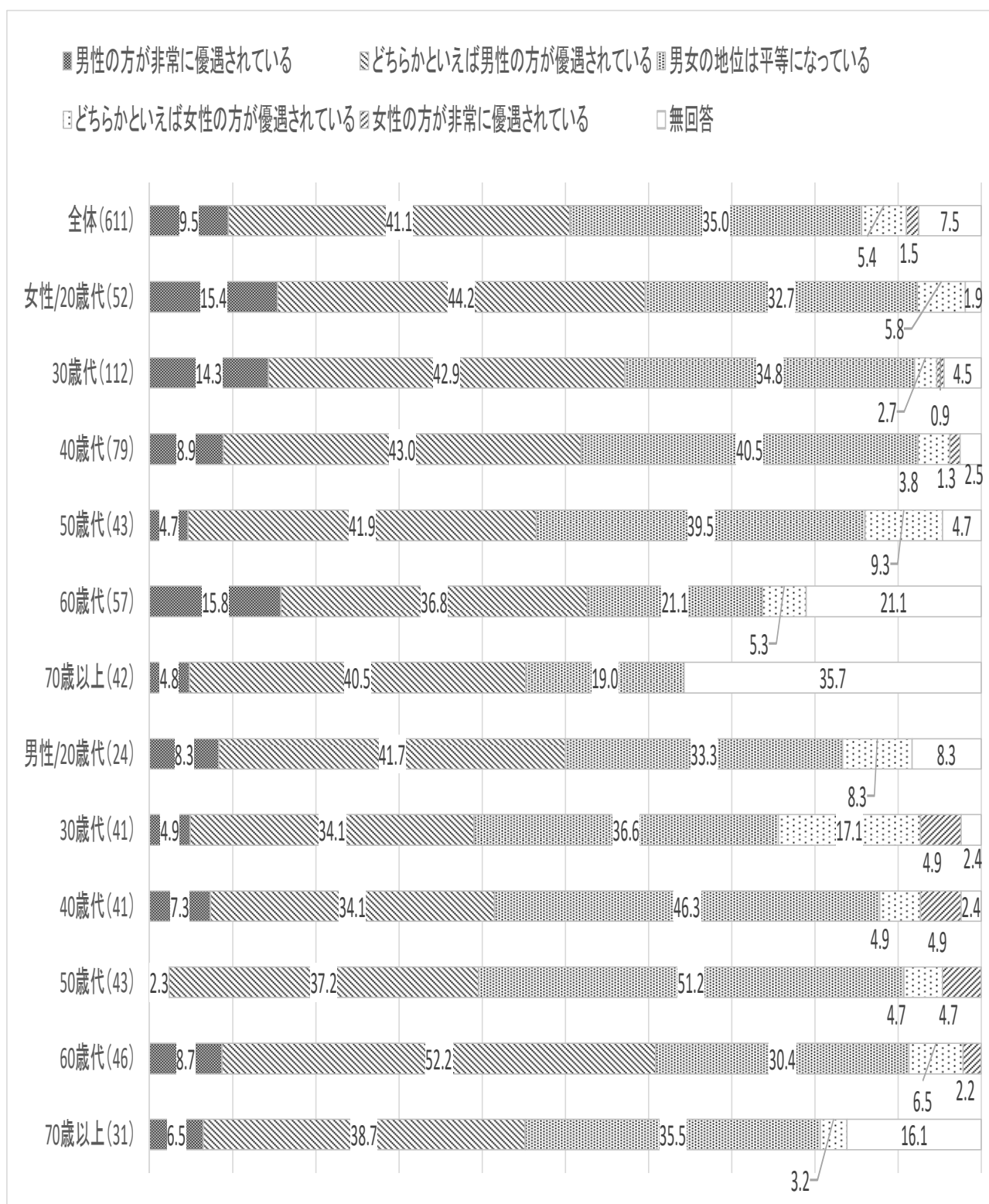


職場について、性別で見ると、「男女の地位は平等になっている」が女性32.5%、男性39.4%と、男性でやや高い。女性では「男性の方が優遇（合計）」が過半数となっている。

平成22年度調査と比較すると、男女ともに「男女の地位は平等になっている」が増加している。（図表 1-6）

図表 1-7 男女の地位の平等感 ウ 職場で

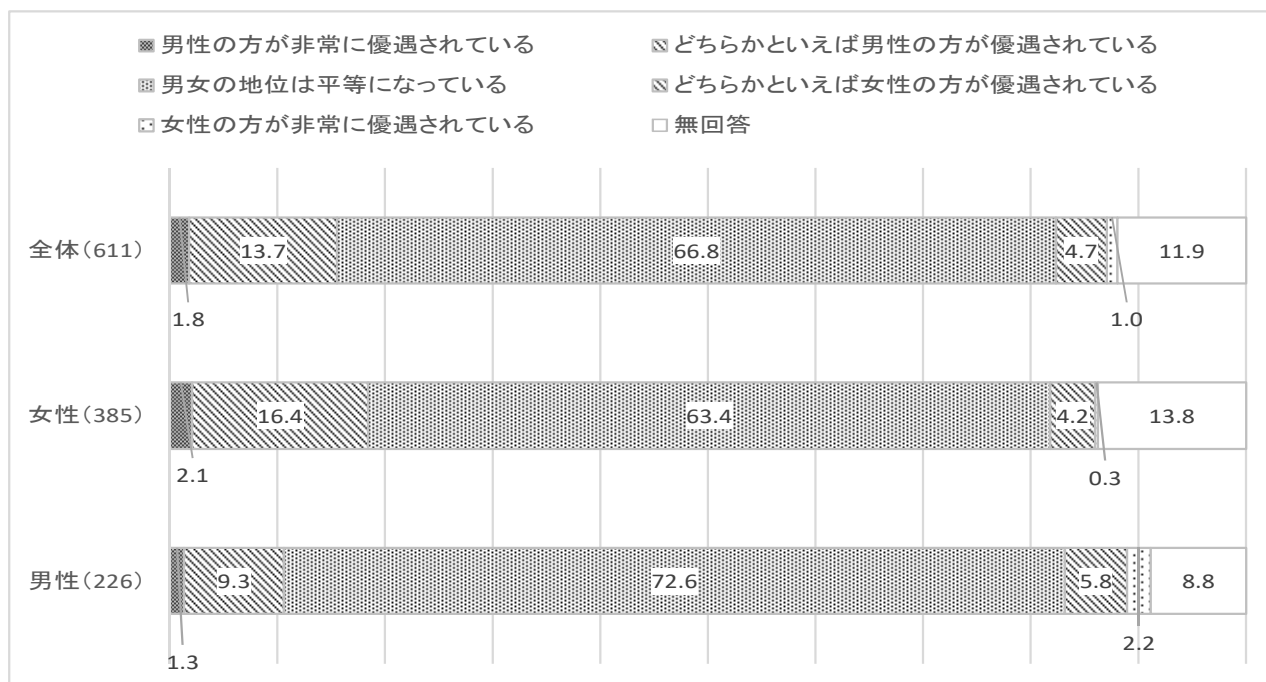
【性／年齢別】



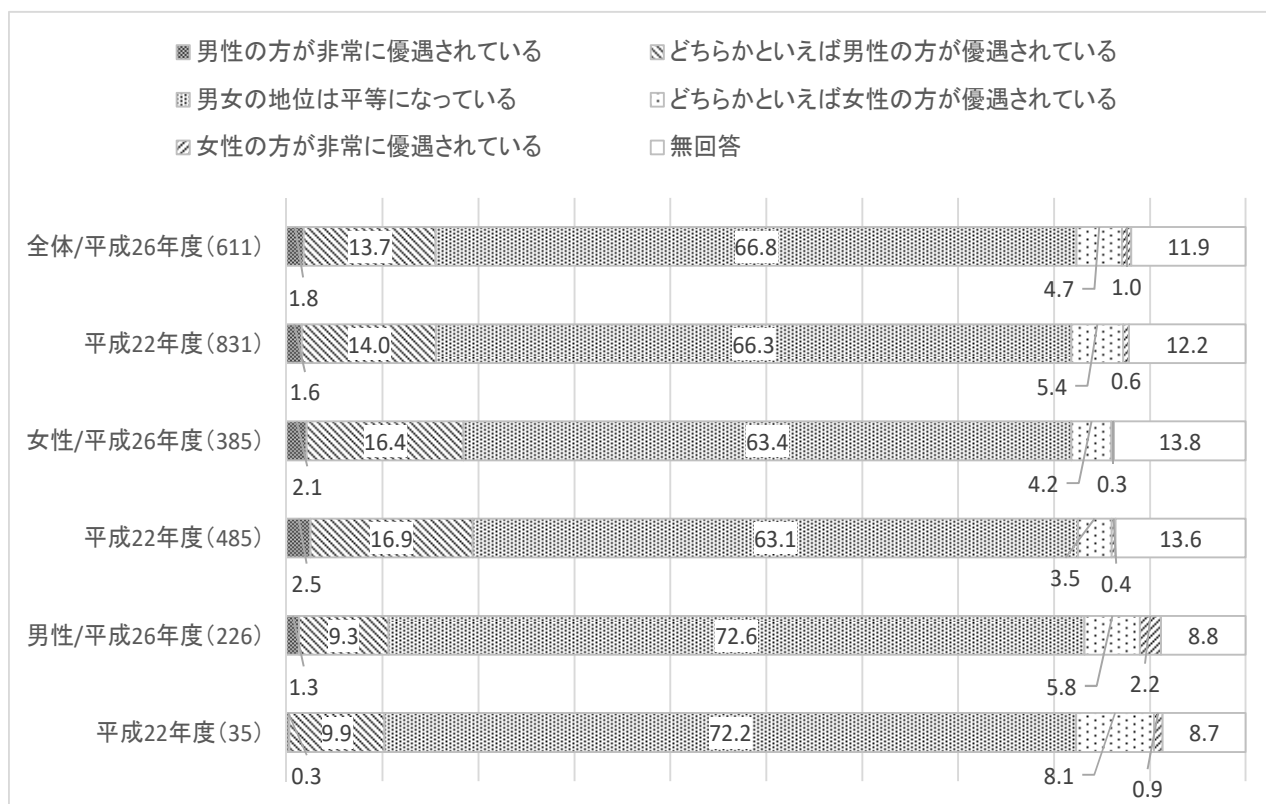
職場について、性／年齢別で見ると、「男女の地位は平等になっている」は、女性では40歳代で4割、男性では50歳代で過半数となっている。《男性の方が優遇（合計）》は、女性では20～40歳代で過半数となっている。男性では60歳代で6割を超えている。《女性の方が優遇（合計）》は、男性では30歳代で2割を超えている。（図表 1-7）

図表 1－8 男女の地位の平等感 エ 学校で

【性別】



【経年比較】

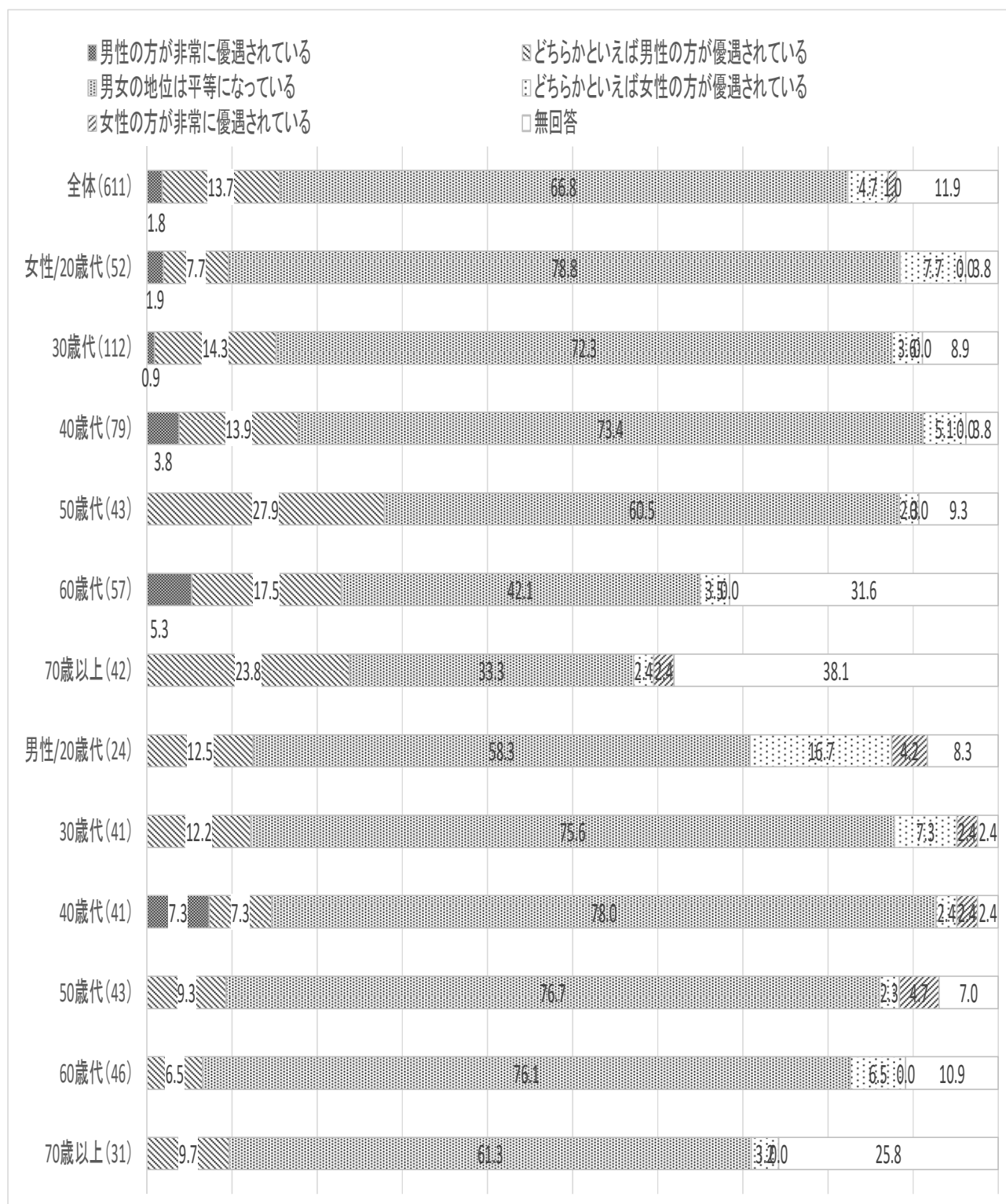


学校について、性別で見ると、「男女の地位は平等になっている」が女性63.4%、男性72.6%と、男女ともに多数を占めている。

平成22年度調査と比較すると、大きな差はみられない。(図表 1－8)

図表 1-9 男女の地位の平等感 エ 学校で

【性別／年齢別】

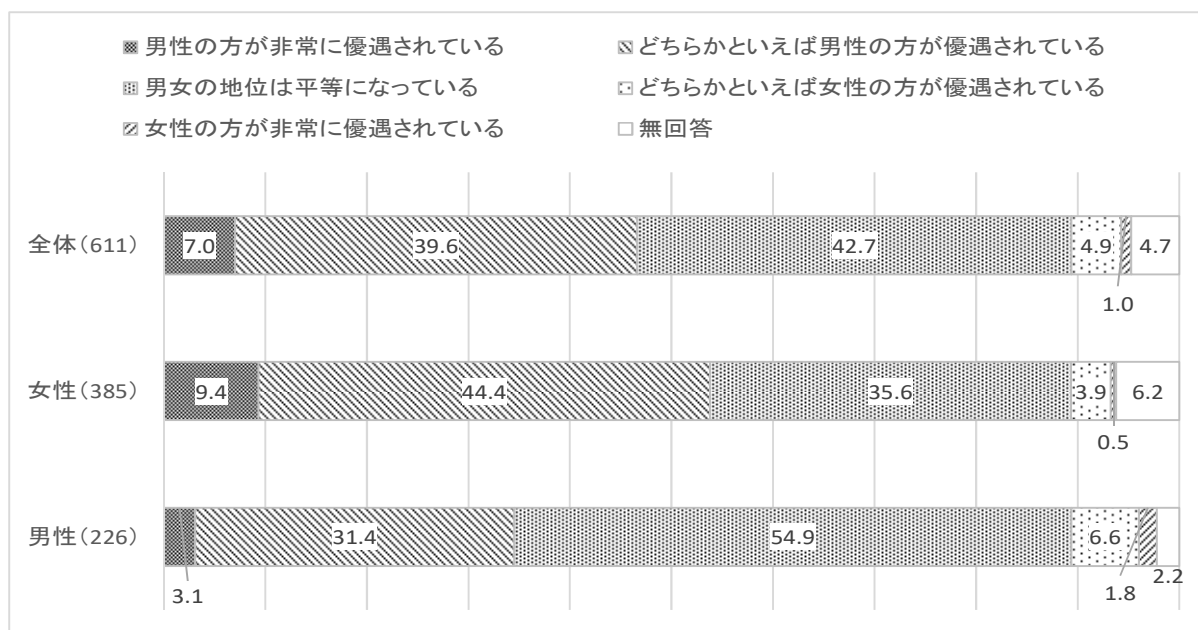


学校について、性／年齢別で見ると、「男女の地位は平等になっている」は、女性では20～40歳代、男性では30～60歳代で7割を超えている。《男性の方が優遇（合計）》は、女性では50～70歳以上で2割を超えている。《女性の方が優遇（合計）》は、男性では20歳代で2割を超えている。（図表 1-9）

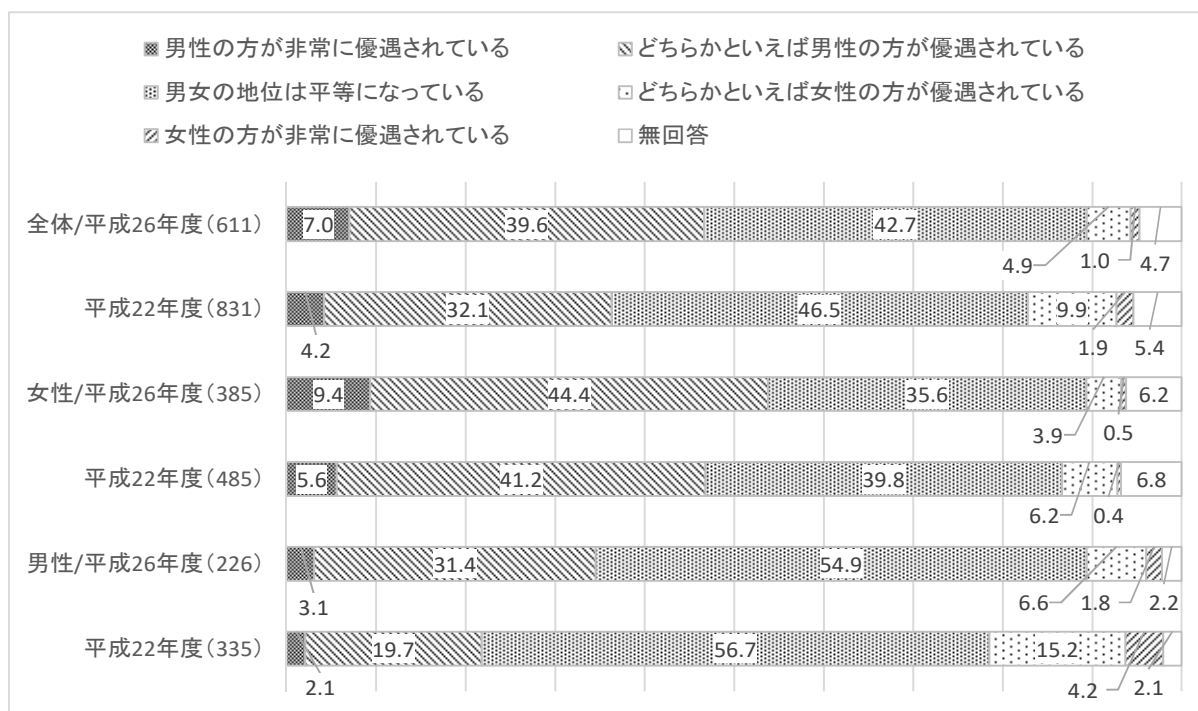


図表 1-10 男女の地位の平等感 才 法律や制度で

【性別】



【経年比較】

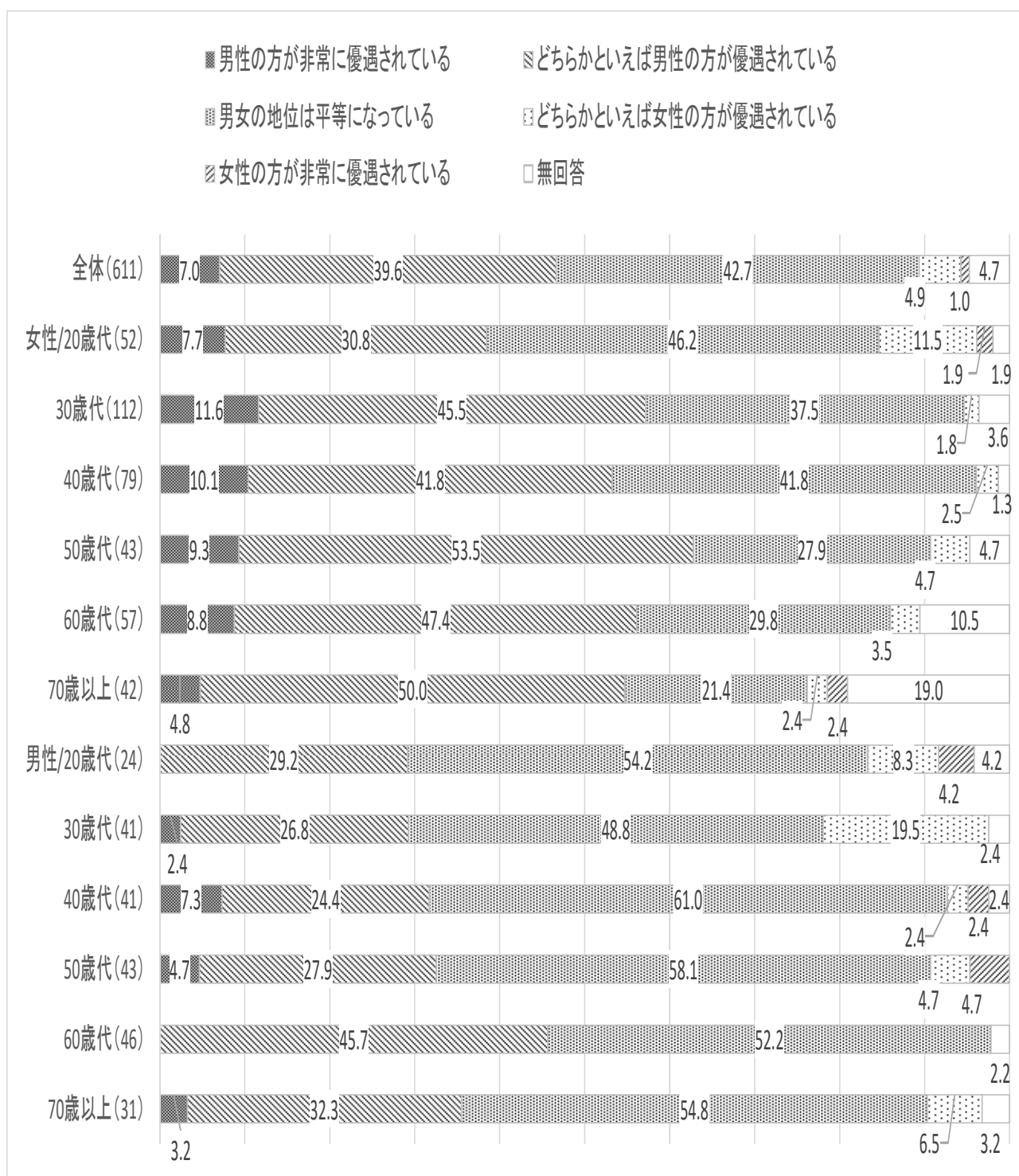


法律や制度について、性別で見ると、「男女の地位は平等になっている」が女性35.6%、男性54.9%と、男性で過半数となっている。女性では「男性の方が優遇（合計）」が53.8%と過半数となっている。

平成22年度調査と比較すると、男女ともに「男性の方が優遇（合計）」が増加している。（図表 1-10）

図表 1 - 1 1 男女の地位の平等感 才 法律や制度で

【性／年齢別】

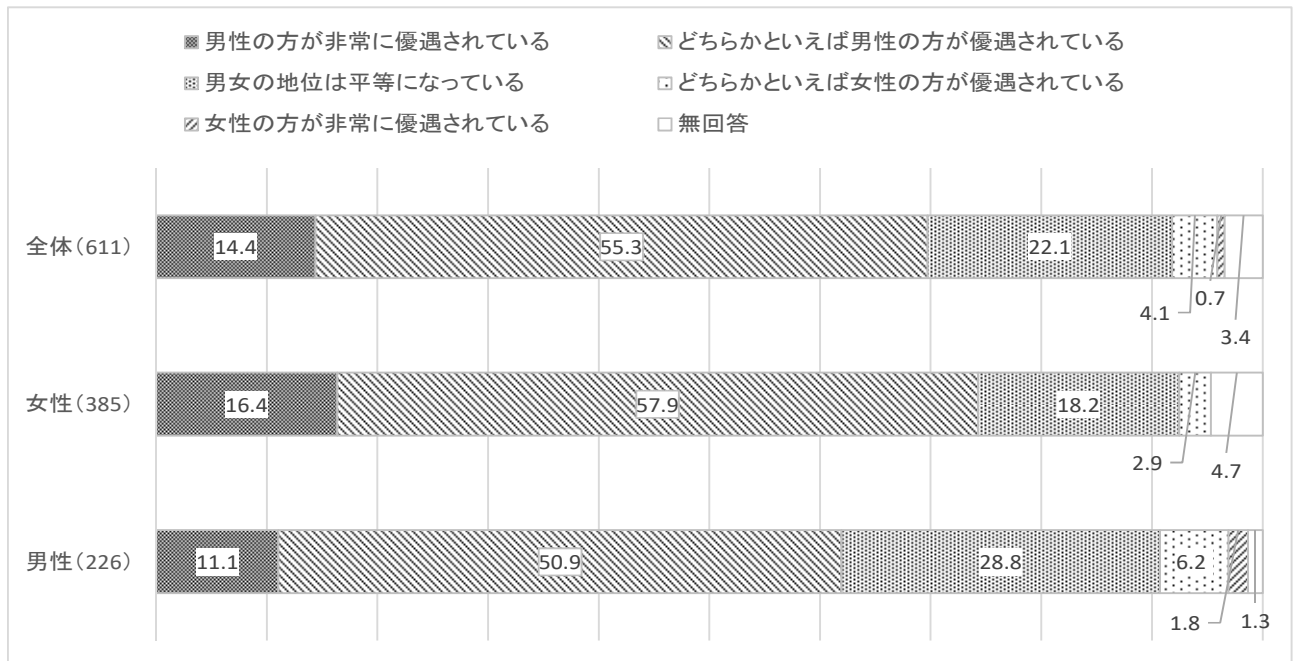


法律や制度について、性／年齢別でみると、「男女の地位は平等になっている」は、女性では20歳代で最も高くなっている。男性では40歳代で6割を占めている。《男性の方が優遇（合計）》は、女性では50歳代で6割を占め、20歳代を除き過半数となっている。

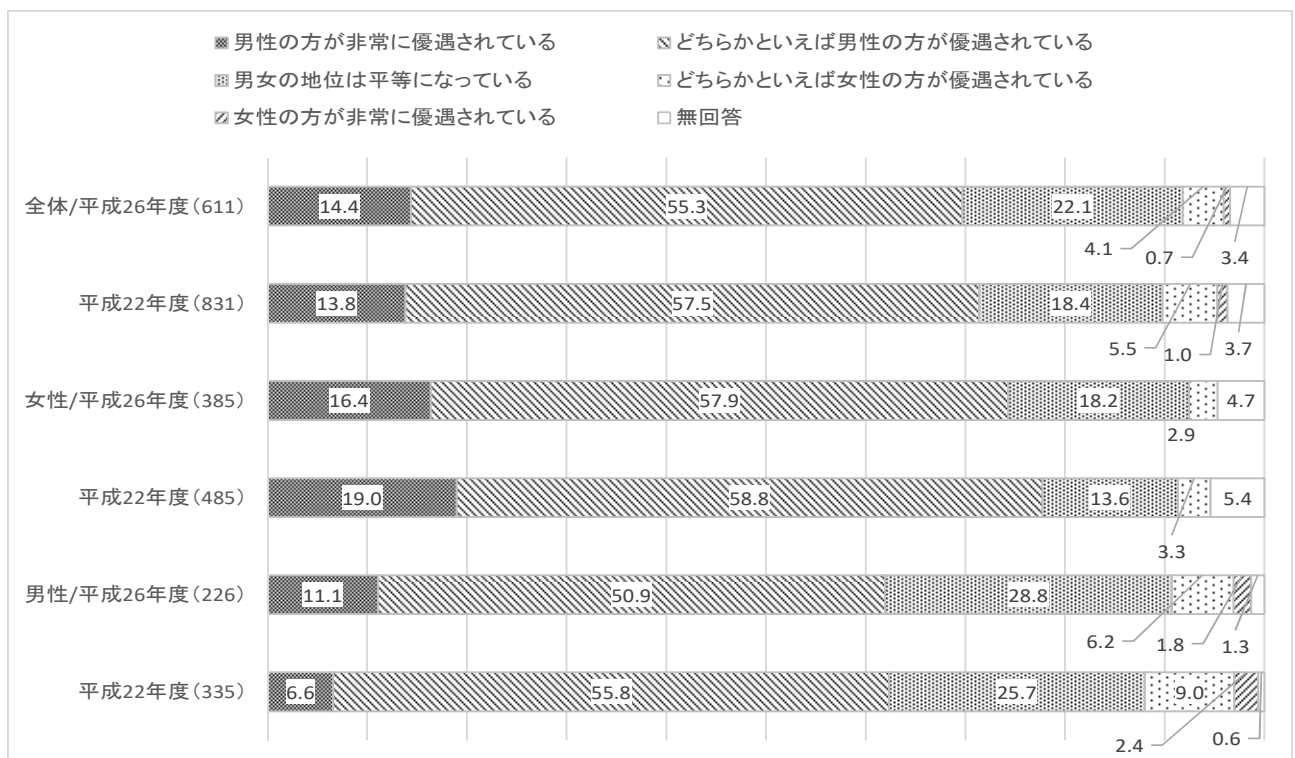
《女性の方が優遇（合計）》は、男性では30歳代で2割近くとなっている。（図表 1 - 1 1）

図表 1-12 男女の地位の平等感 力 社会通念・慣習などで

【性別】



【経年比較】

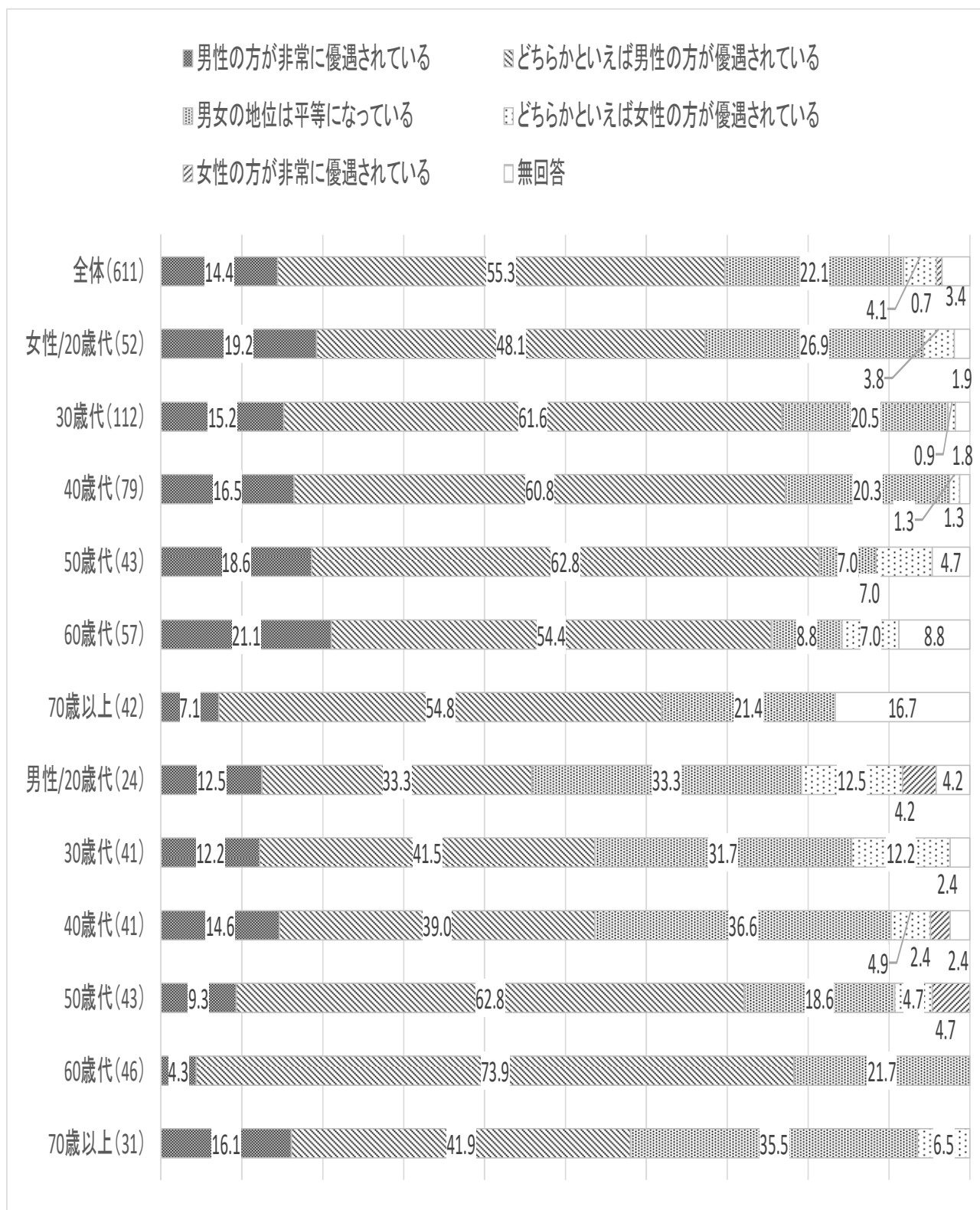


社会通念・慣習などについて、性別で見ると、《男性の方が優遇（合計）》が女性74.3%、男性62%と、男女ともに多数を占めている。

平成22年度調査と比較し、男女ともに「男女の地位は平等になっている」が増加している。(図表 1-12)

図表 1-13 男女の地位の平等感 カ 社会通念・慣習などで

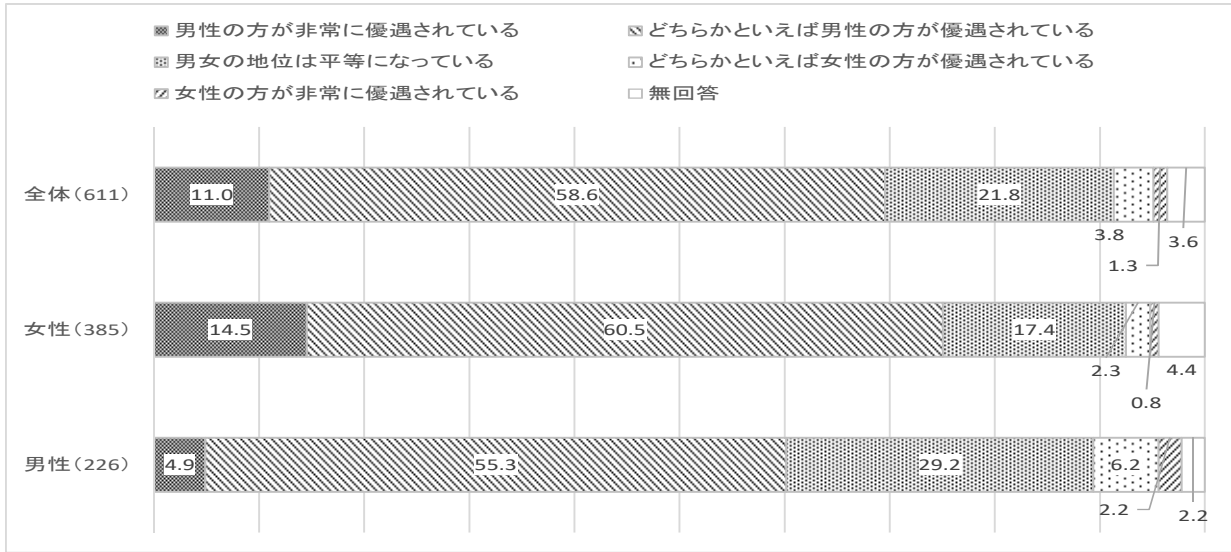
【性／年齢別】



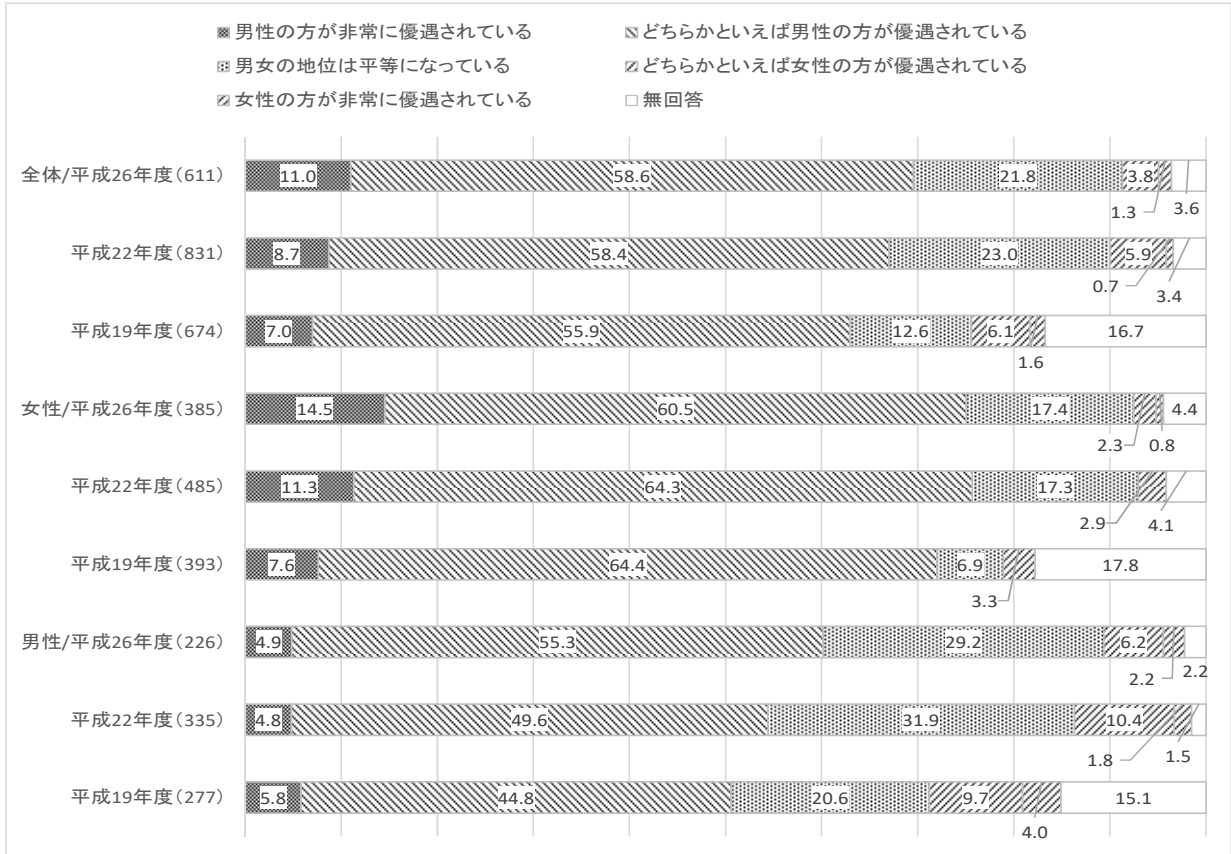
社会通念・慣習などについて、性／年齢別で見ると、「男女の地位は平等になっている」は、女性では20歳代、男性では20～40歳代、70歳以上で高くなっている。《男性の方が優遇（合計）》は、女性では50歳代で8割を超えている。男性では50～60歳代で7割を超えている。（図表 1-13）

図表1-14 男女の地位の平等感 キ 社会全体で

【性別】



【経年比較】

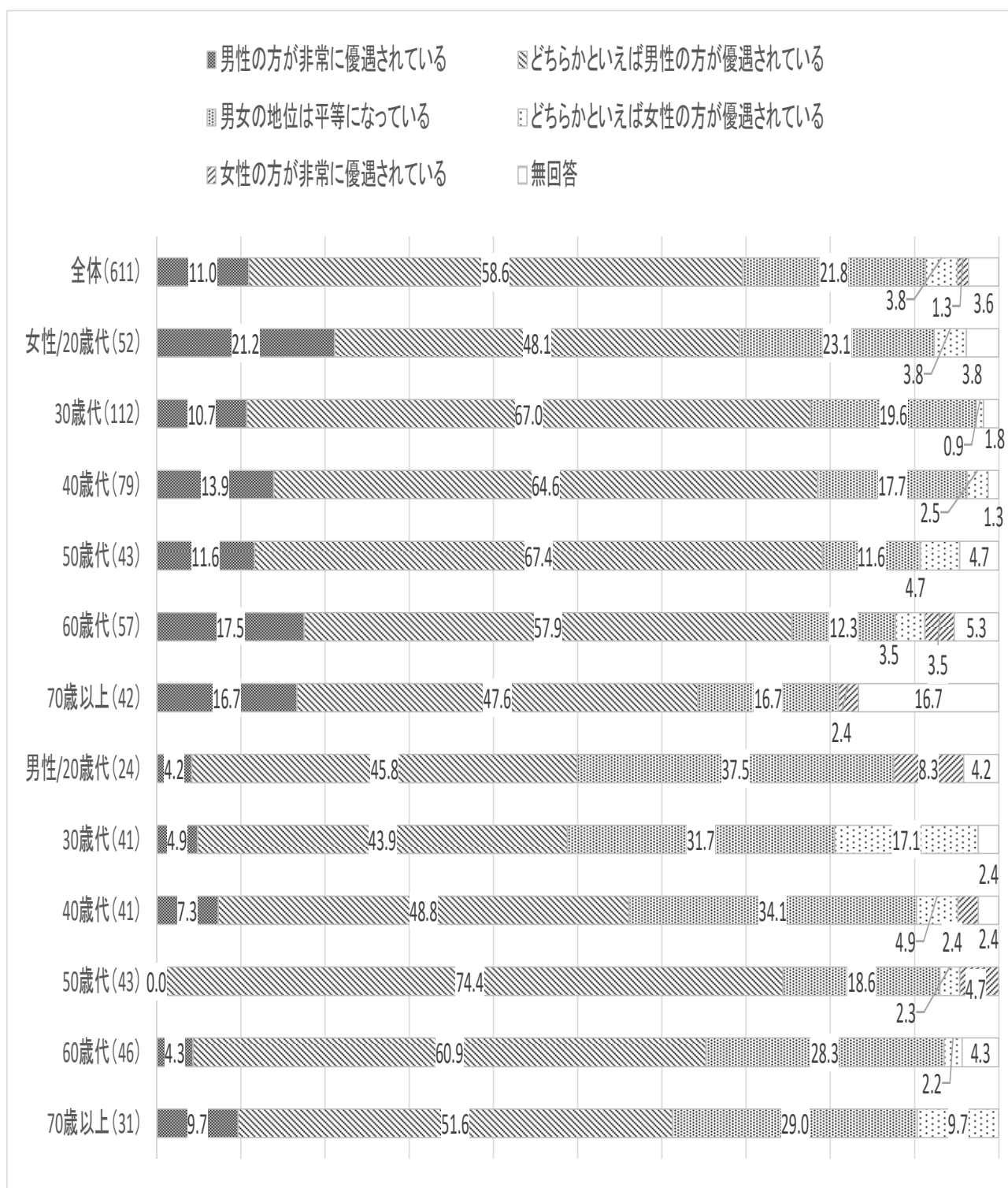


社会全体について、性別でみると、「男性の方が優遇（合計）」が女性75.0%、男性60.2%と、女性で多数を占め、男性で6割となっている。

平成22年度調査と比較すると、「男女の地位は平等になっている」は、大きな差はみられない。（図表1-14）

図表 1 - 1 5 男女の地位の平等感 キ 社会全体で

【性／年齢別】



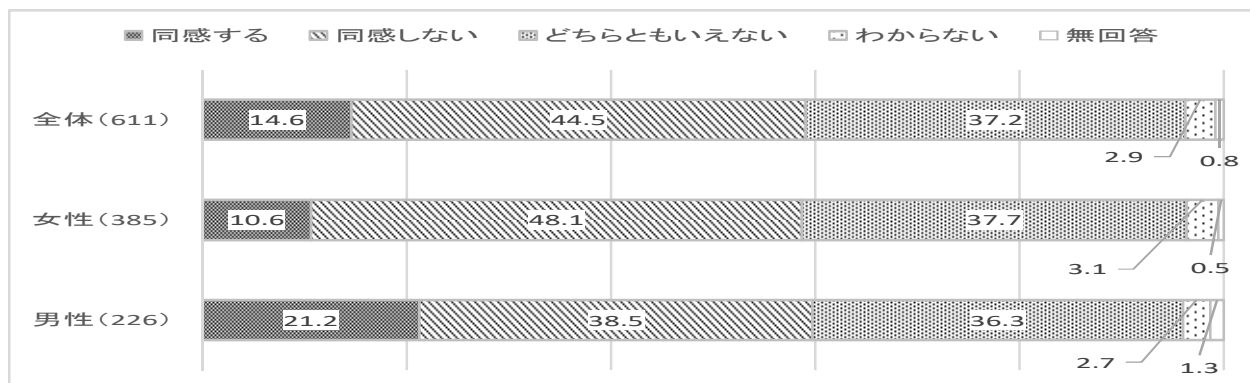
社会全体について、性／年齢別でみると、「男女の地位は平等になっている」は、女性では20歳代で2割を超え、男性では20～40歳代で3割を超えている。《男性の方が優遇（合計）》は、女性では30～40歳代で約8割となっている。男性では50歳代で7割を超えている。（図表 1 - 1 5）

## (2) 性別役割分担意識

問2 「男は仕事、女は家庭」という性別による固定的な役割分担意識に同意しますか。  
(〇は1つ)

図表1-16 性別役割分担意識

【性別】

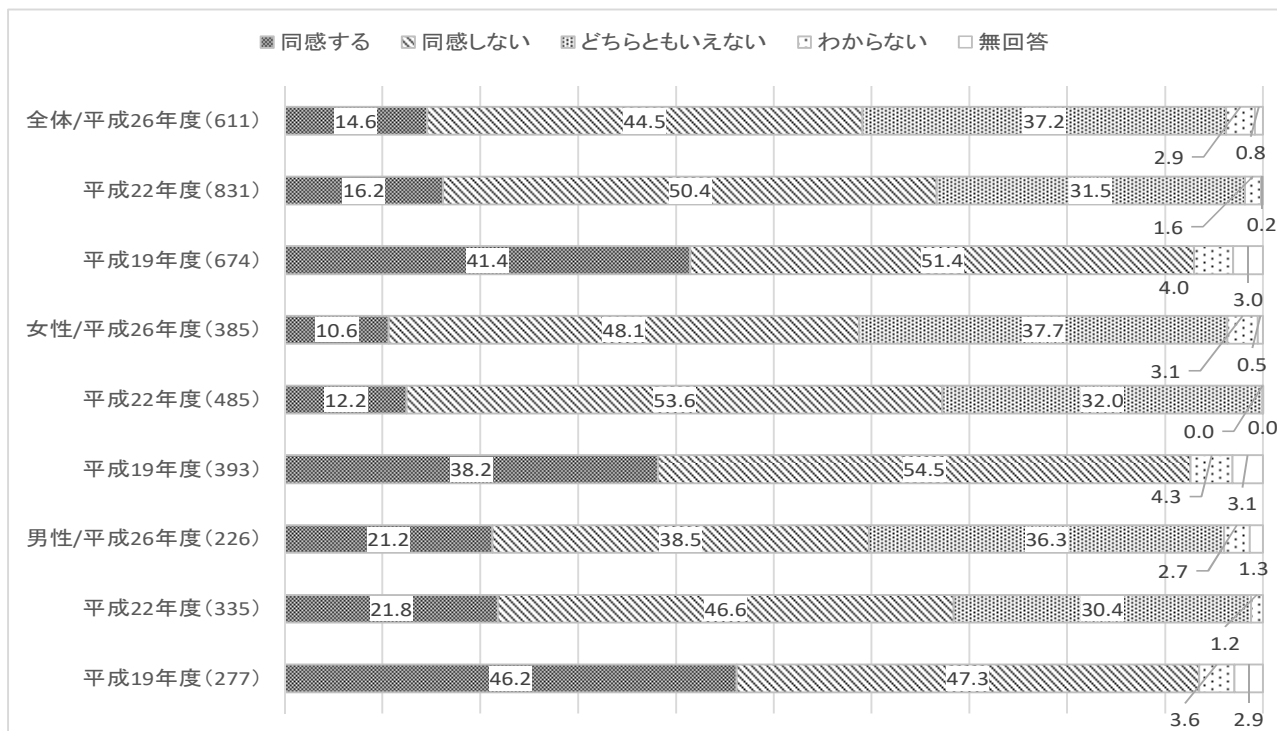


性別役割分担については、「同意しない」が44.5%を占めており、「同意する」が14.6%となっている。また、「どちらともいえない」が37.2%である。

性別で見ると、「同意する」が女性10.6%、男性21.2%と、男性が女性を上回っている。一方、「同意しない」が女性48.1%、男性38.5%と、女性が男性を上回っている。(図表1-16)

図表1-17 性別役割分担意識

【経年比較】

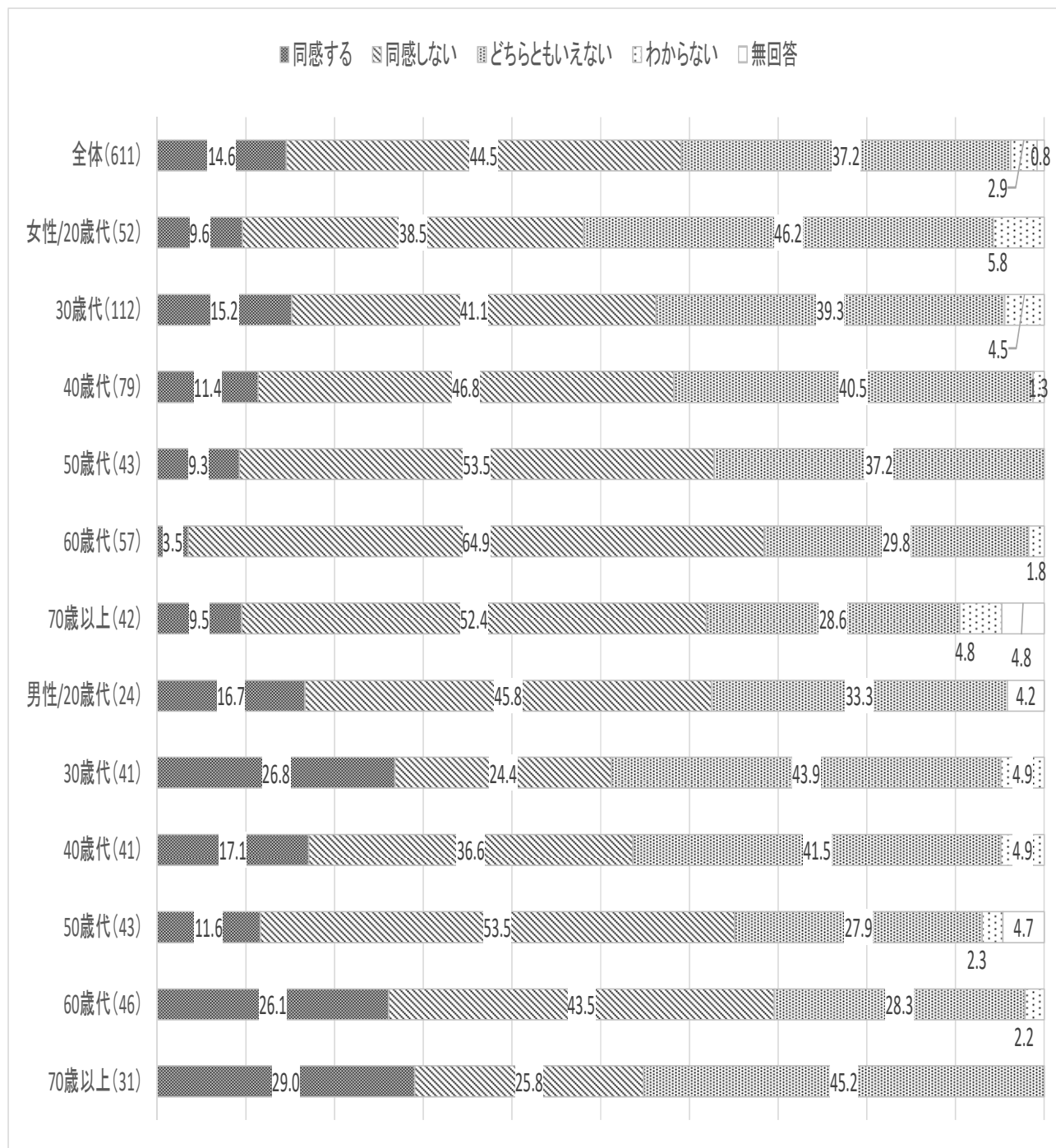


※ 平成19年度調査には「どちらともいえない」がない。

経年で比較すると、選択肢が異なる為に参考程度とするが、「同感する」は平成19年度から26年度にかけて、男女ともに大きく減少している。一方、「同感しない」は男女ともに減少し、「どちらともいえない」が男女ともに増加している。(図表1-17)

図表1-18 性別役割分担意識

【性／年齢別】



性／年齢別で見ると、「同感する」は、女性では30歳代で高く、男性では70歳以上で3割近い。また、「同感しない」は、女性では50歳代と70歳以上で半数を超え、50歳代で6割を超えている。男性では50歳代で過半数となっている。(図表1-18)

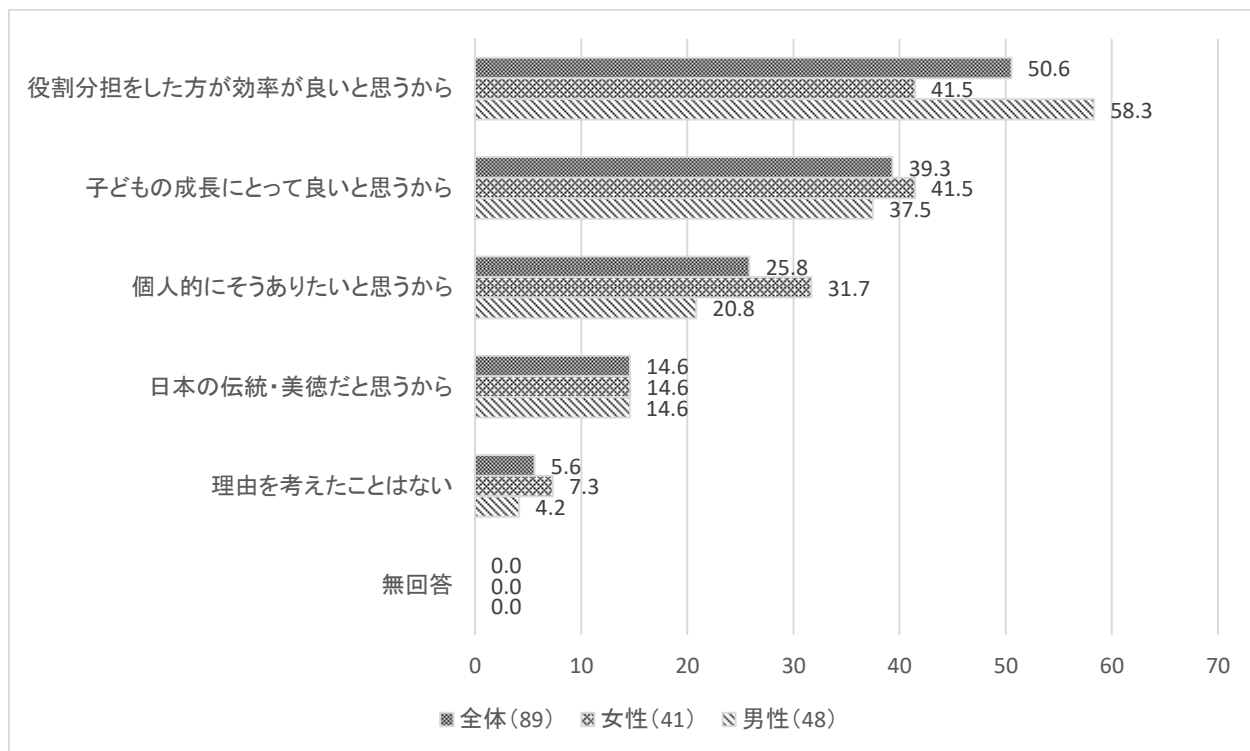


### (3) 性別役割分担意識に同感する理由

問2で「同感する」と回答された方のみにおたずねします。  
 問2-1 同感する理由は何ですか。(〇は2つまで)

図表1-19 性別役割分担意識に同感する理由

【性別】



性別役割分担意識に同感する理由としては、「役割分担をした方が効率が良いと思うから」が50.6%と最も多くなっている。次いで「子どもの成長にとって良いと思うから」が39.3%、「個人的にそうありたいと思うから」が25.8%となっている。

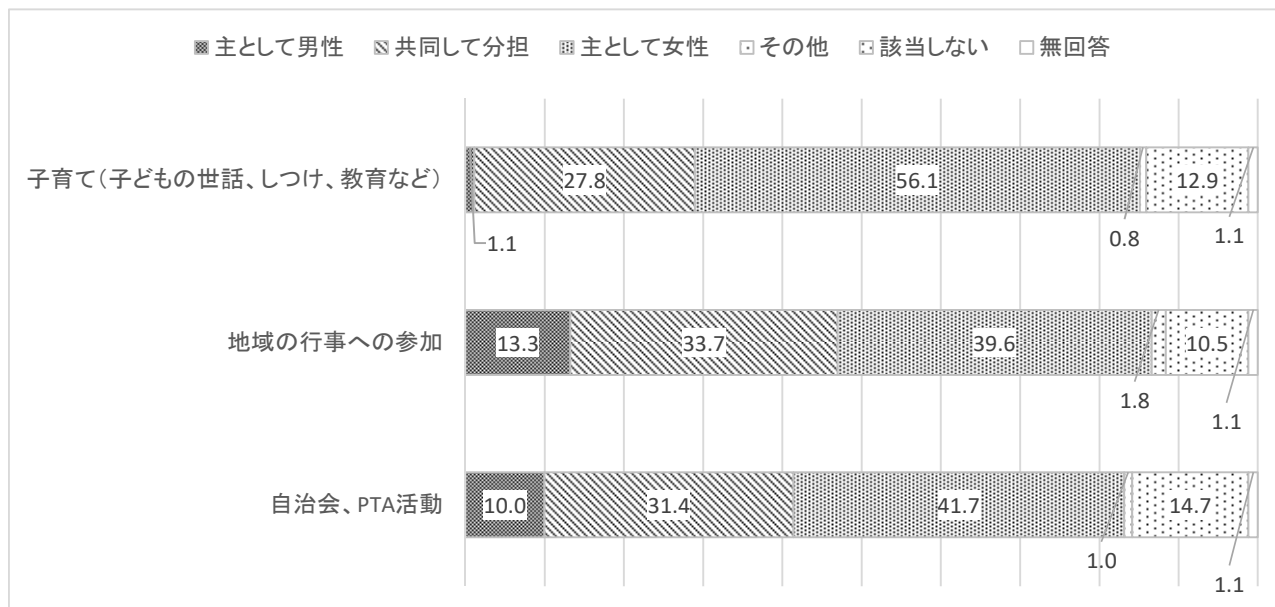
性別で見ると、男性では「役割分担をした方が効率が良いと思うから」(58.3%)が女性に比べて高くなっている。(図表1-19)

## 2. 家庭生活について

### (1) 家庭生活での役割分担

問3 あなたの家庭では次のことについて、主にどなたが行っていますか。  
(○はそれぞれ1つずつ)

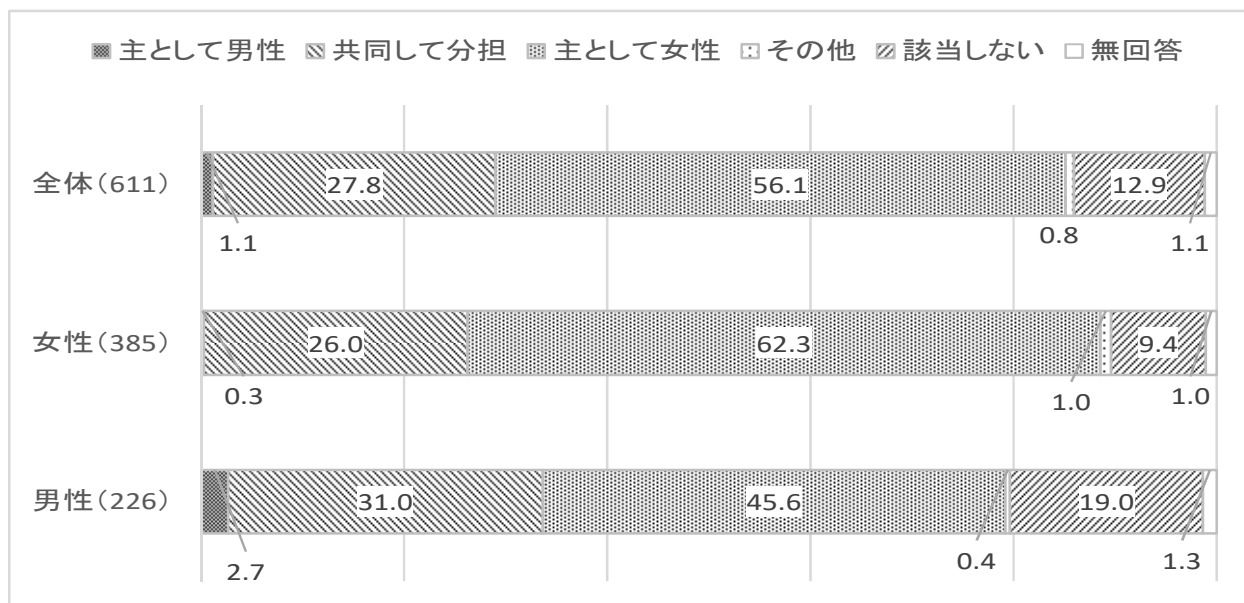
図表2-1 家庭生活での役割分担



家庭生活での役割分担については、「共同して分担」は「地域の行事への参加」(33.7%)で3割を超えている。「主として女性」は子育て(子どもの世話、しつけ、教育など)(56.1%)が過半数となっている。(図表2-1)

図表2-2 家庭生活での役割分担 ア 子育て(子どもの世話、しつけ、教育など)

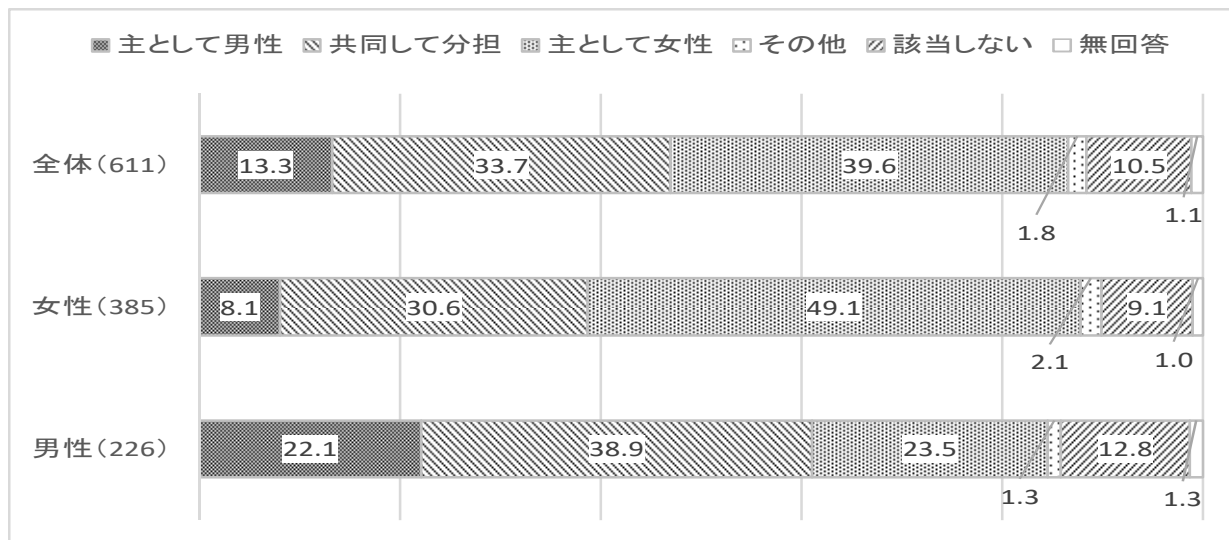
【性別】



子育て（子どもの世話、しつけ、教育など）について、性別で見ると、「主として女性」は女性で62.3%を占めている。「共同して分担」（女性26.0%、男性31.0%）は、男性が女性をやや上回っている。（図表2-2）

図表2-3 家庭生活での役割分担 イ 地域の行事への参加

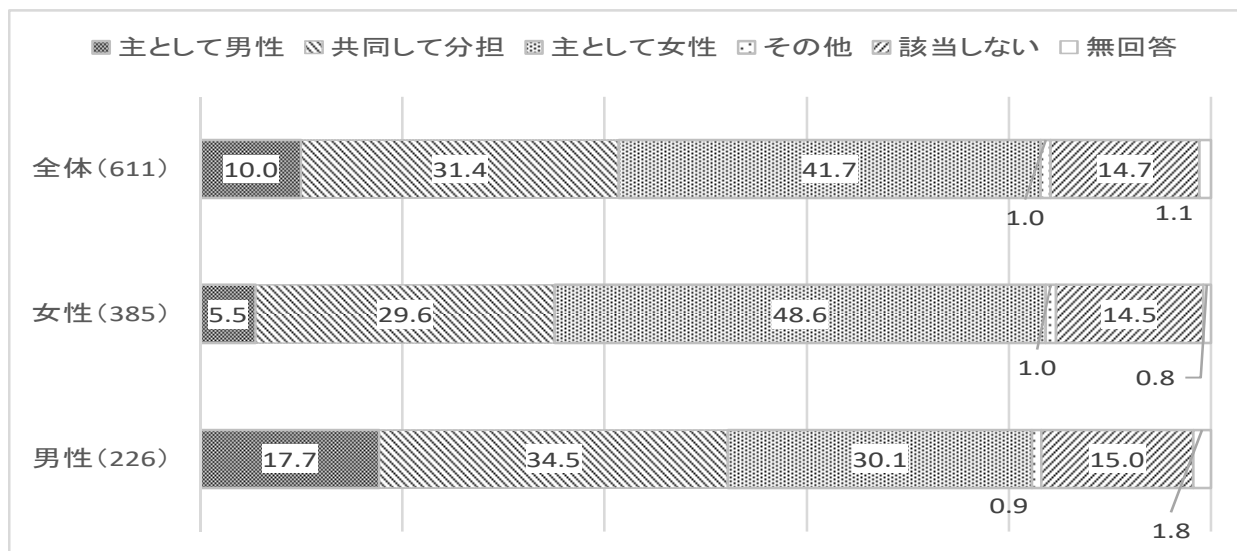
【性別】



地域の行事への参加について、性別で見ると、「主として女性」は女性で49.1%を占めている。「主として男性」（女性8.1%、男性22.1%）、「共同して分担」（女性30.6%、男性38.9%）は、男性が女性を上回っている。（図表2-3）

図表2-4 家庭生活での役割分担 ウ 自治会、PTA活動

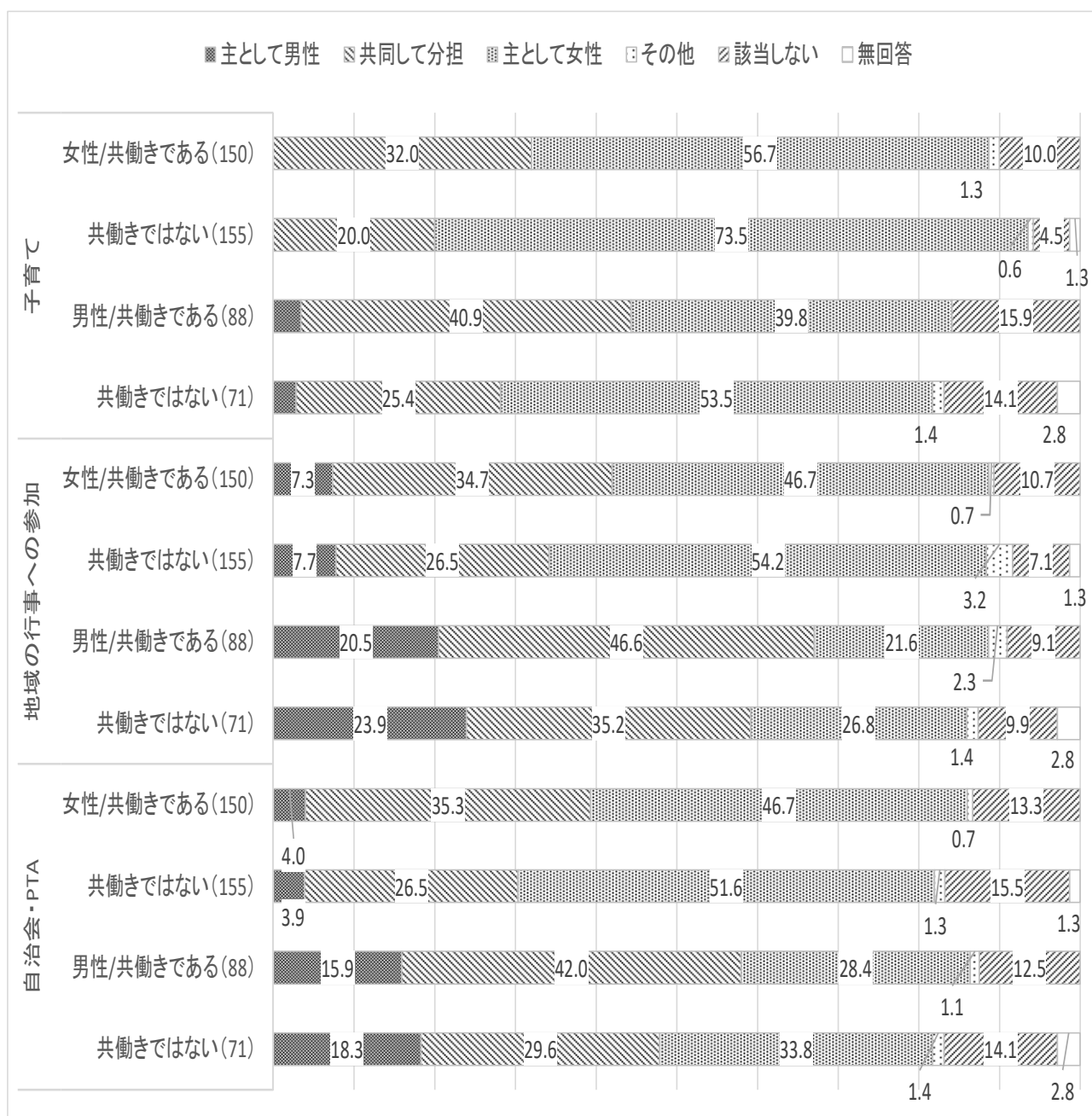
【性別】



自治会、PTA活動について、性別で見ると、「主として女性」は女性で48.6%を占めている。「主として男性」（女性5.5%、男性17.7%）、「共同して分担」（女性29.6%、男性34.5%）は、男性が女性を上回っている。（図表2-4）

図表 2-5 家庭生活での役割分担

【性／共働きの有無別】



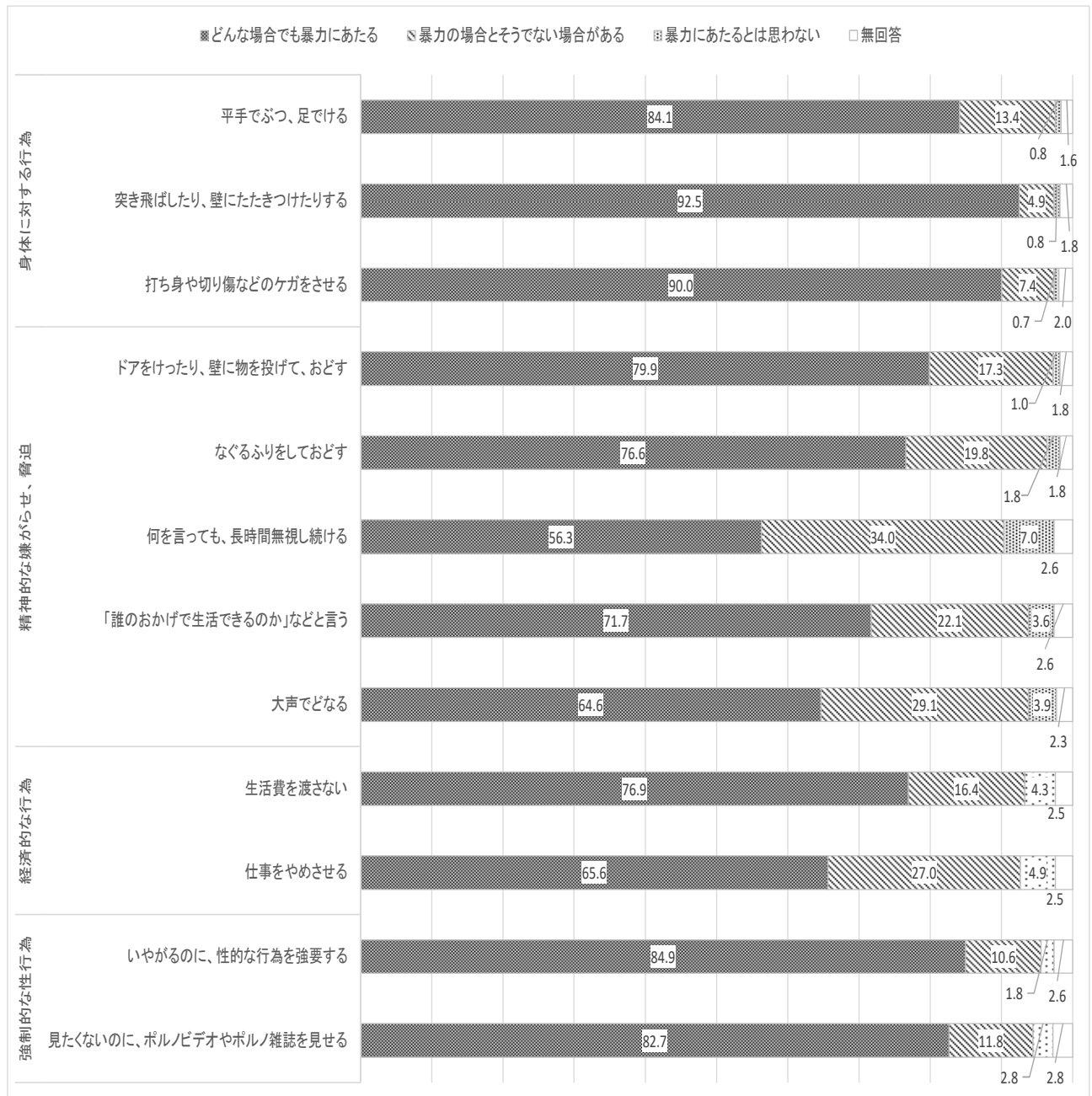
性／共働きの有無別で見ると、子育て（子どもの世話、しつけ、教育など）では、女性で「共同して分担」は共働きである人が共働きでない人を上回り、男女ともに「主として女性」は共働きである人が共働きでない人を下回っている。地域の行事への参加では、女性で「主として女性」が共働きである人が共働きでない人を下回っている。自治会、PTA活動では、女性で「共同して分担」は共働きである人が共働きでない人を上回っている。（図表 2-5）

### 3. 配偶者や恋人からの暴力について

#### (1) 夫婦・恋人間の暴力と認識される行為

問4 あなたは、次のようなことが夫婦（事実婚や別居中を含む）や恋人の間で行われた場合、それを暴力であると思いますか。（○はそれぞれ1つずつ）

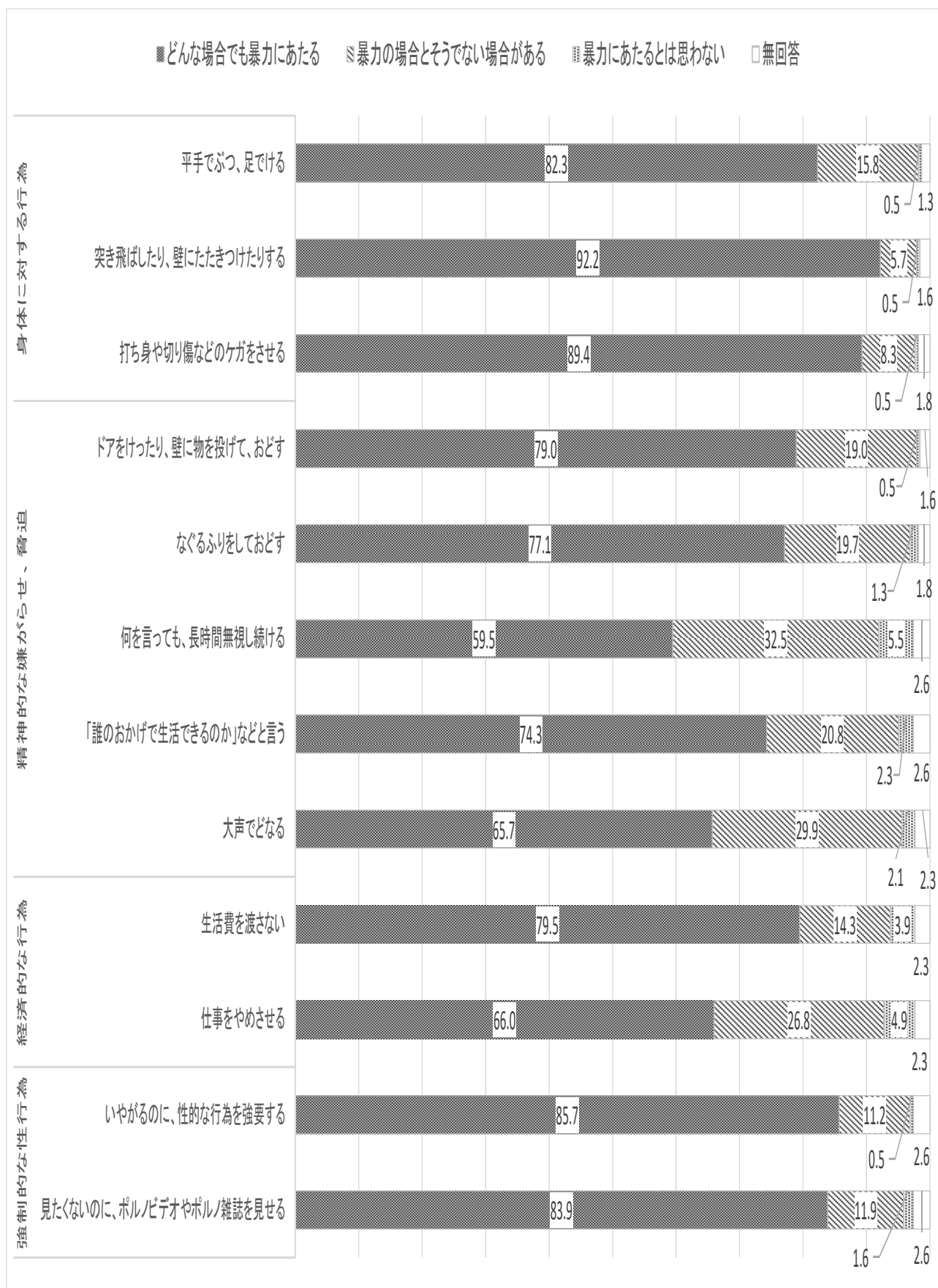
図表3-1 夫婦・恋人間の暴力と認識される行為



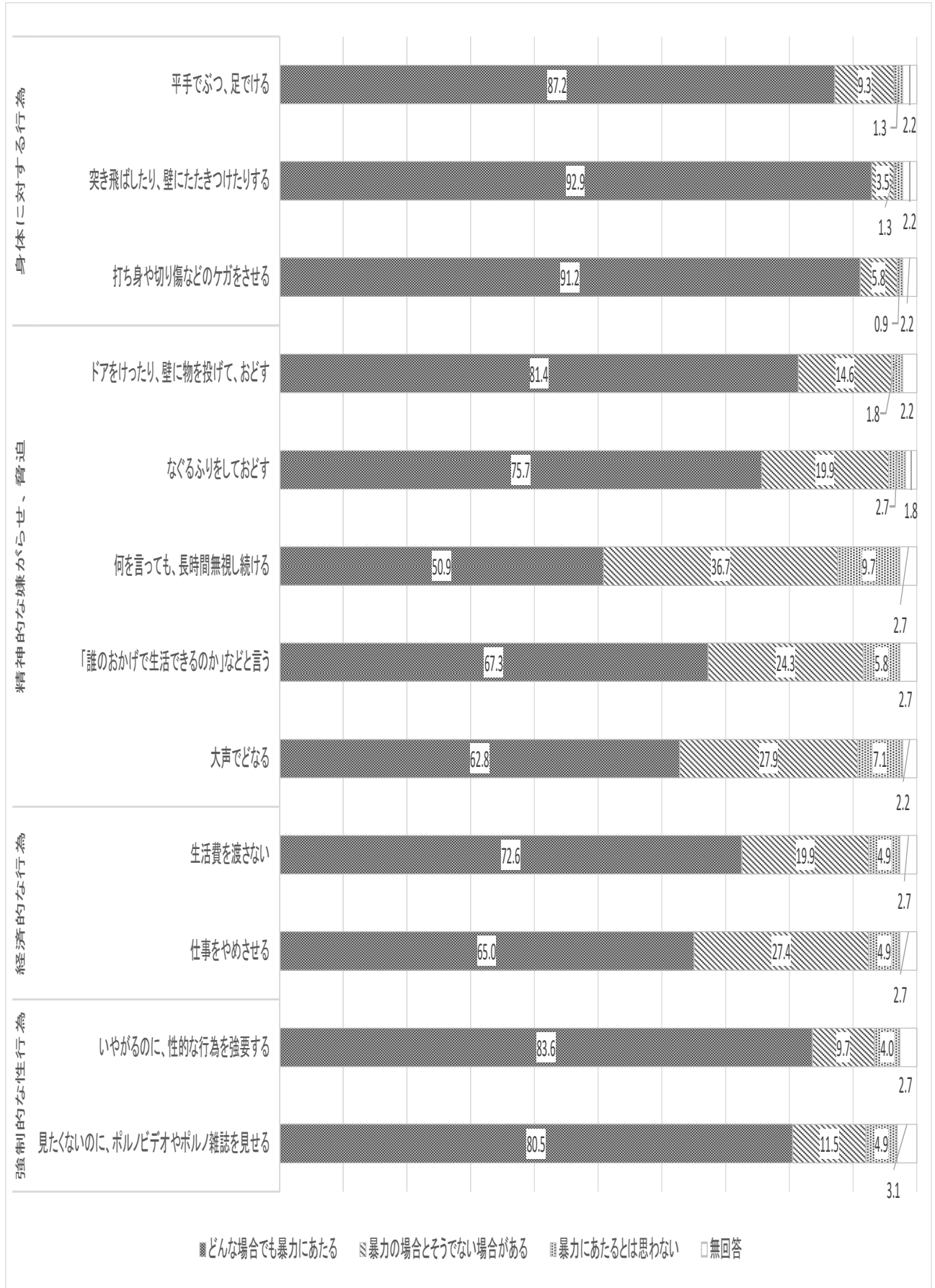
夫婦・恋人間の暴力と認識される行為を聞いたところ、「どんな場合でも暴力にあたる」は『身体に対する行為』では突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする、『精神的な嫌がらせ、脅迫』ではドアをけったり、壁に物を投げて、おどす、『経済的な行為』では生活費を渡さない、『強制的な性行為』ではいやがるのに、性的な行為を強要するが多くなっている。（図表3-1）

図表 3-2 夫婦・恋人間の暴力と認識される行為

【性別】 [女性]

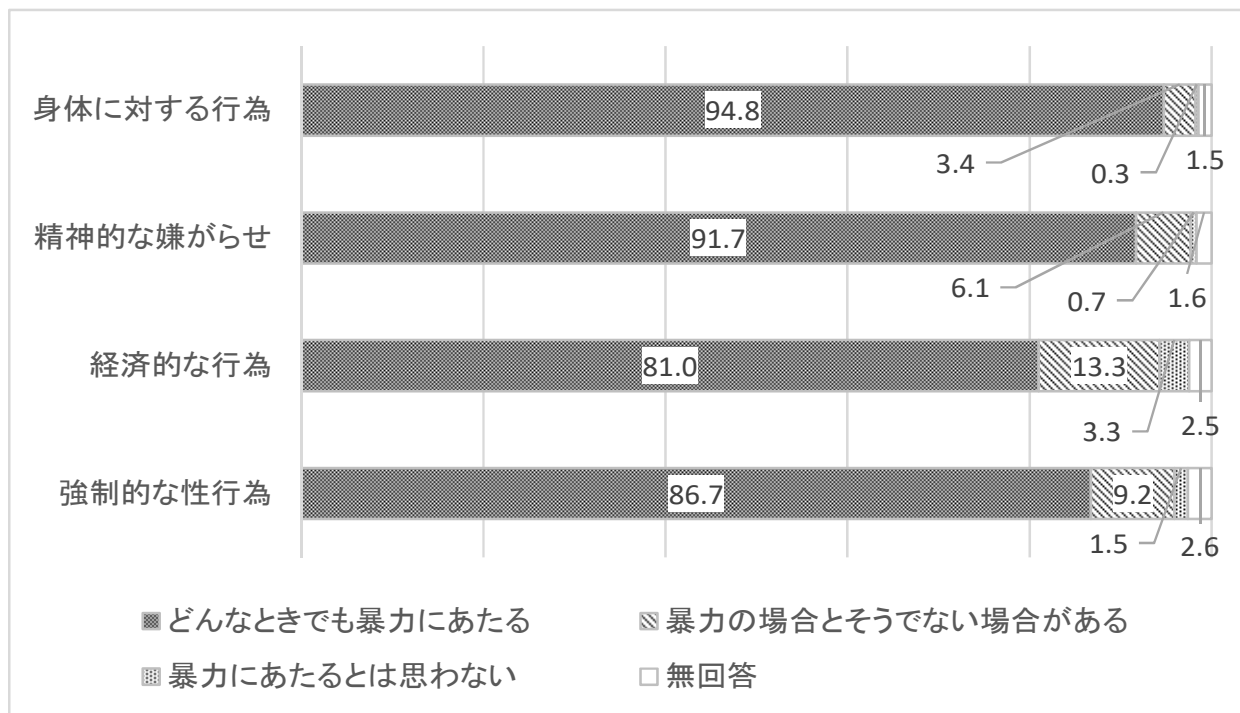


[男性]

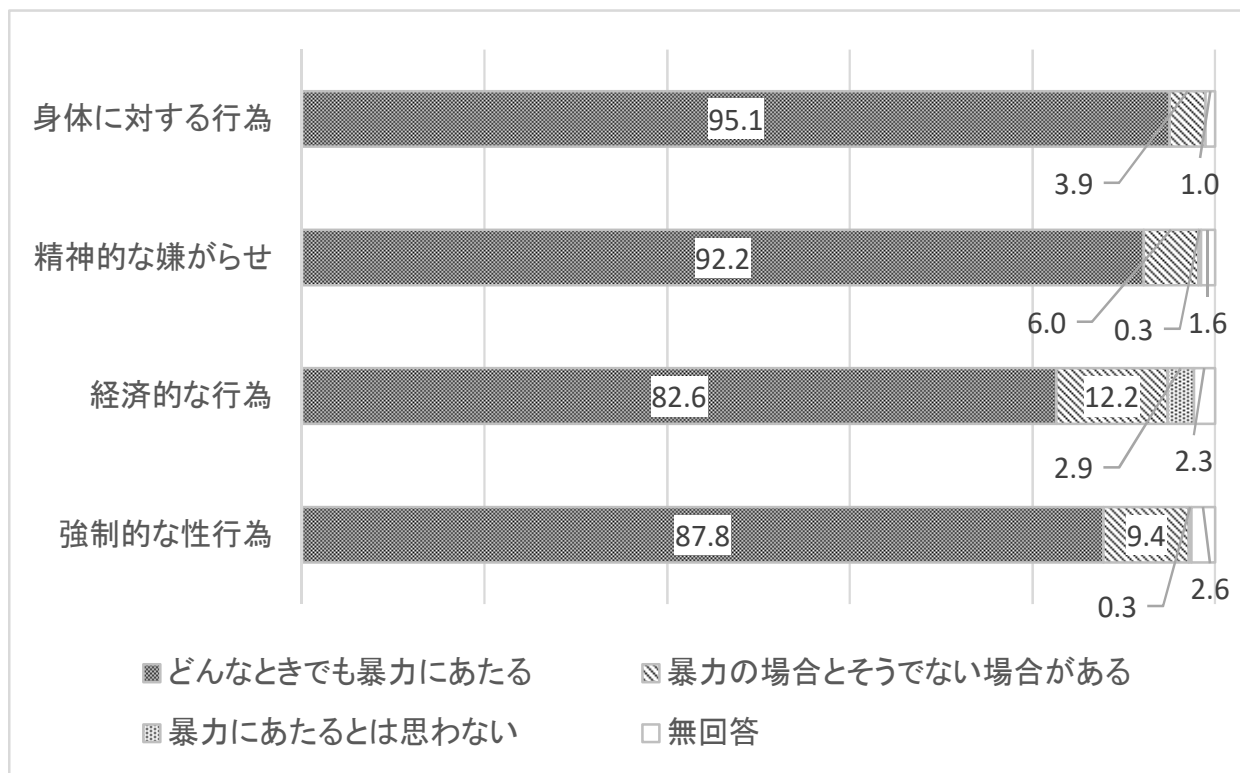


性別で見ると、「どんな場合でも暴力にあたる」は、『身体に対する行為』の突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりするで、男女ともに9割を超えている。(図表4-2)

図表3-3 夫婦・恋人間の暴力と認識される行為(まとめ)

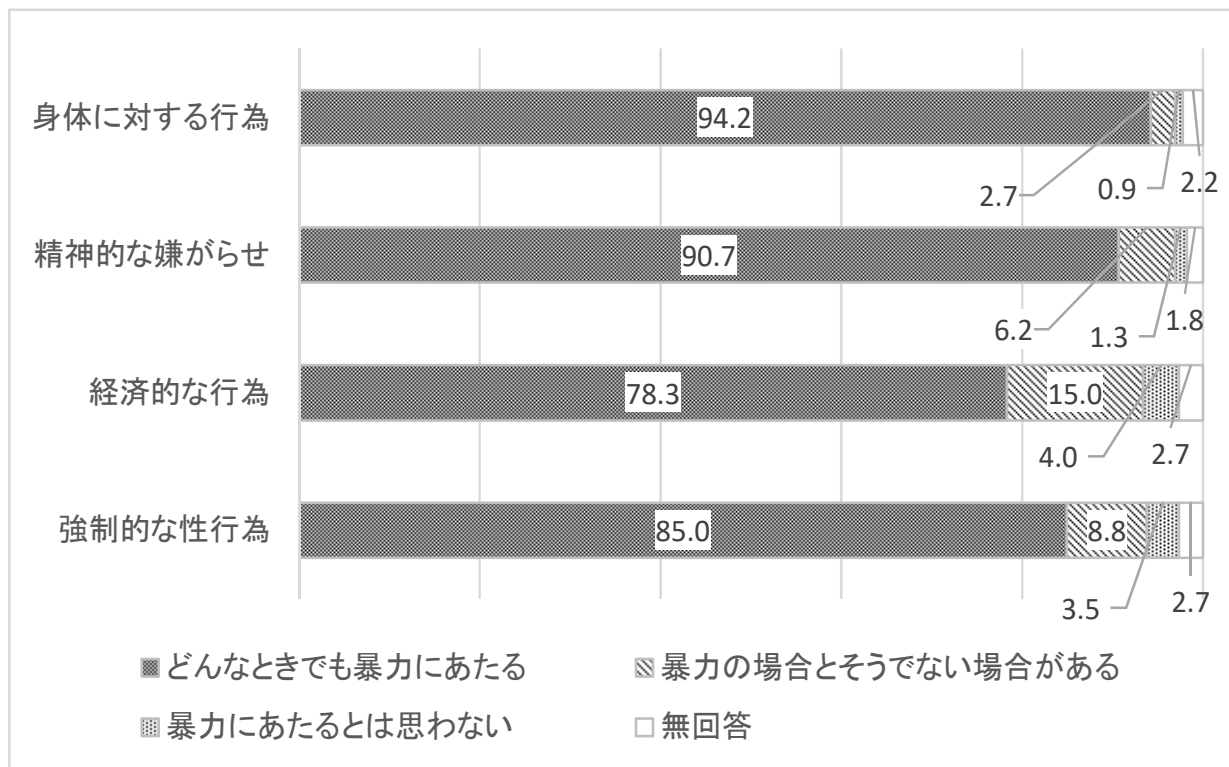


【性別】[女性]





[男性]

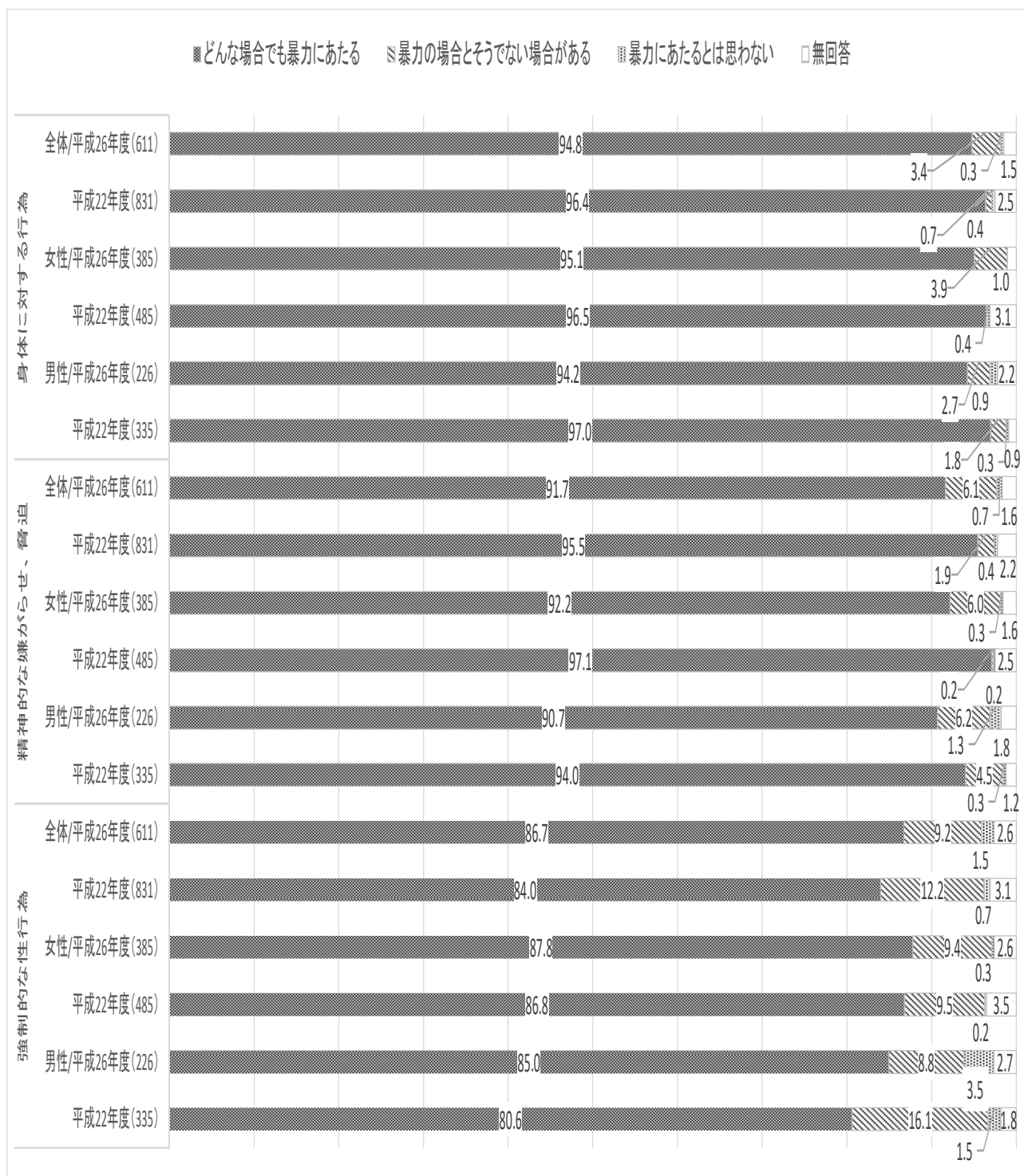


夫婦・恋人間の暴力と認識される行為について、『身体に対する行為』、『精神的な嫌がらせ、脅迫』、『経済的な行為』、『強制的な性行為』の4つの行為にまとめた。全体で見ると、『身体に対する行為』、『精神的な嫌がらせ、脅迫』で「どんな場合でも暴力にあたる」が9割を超えている。

性別で見ると、『身体に対する行為』、『精神的な嫌がらせ、脅迫』で男女ともに9割を超えているが、『経済的な行為』では、女性82.6%、男性78.3%と、女性が男性を上回っている。(図表3-3)

図表 3-4 夫婦・恋人間の暴力と認識される行為（まとめ）

【経年比較】



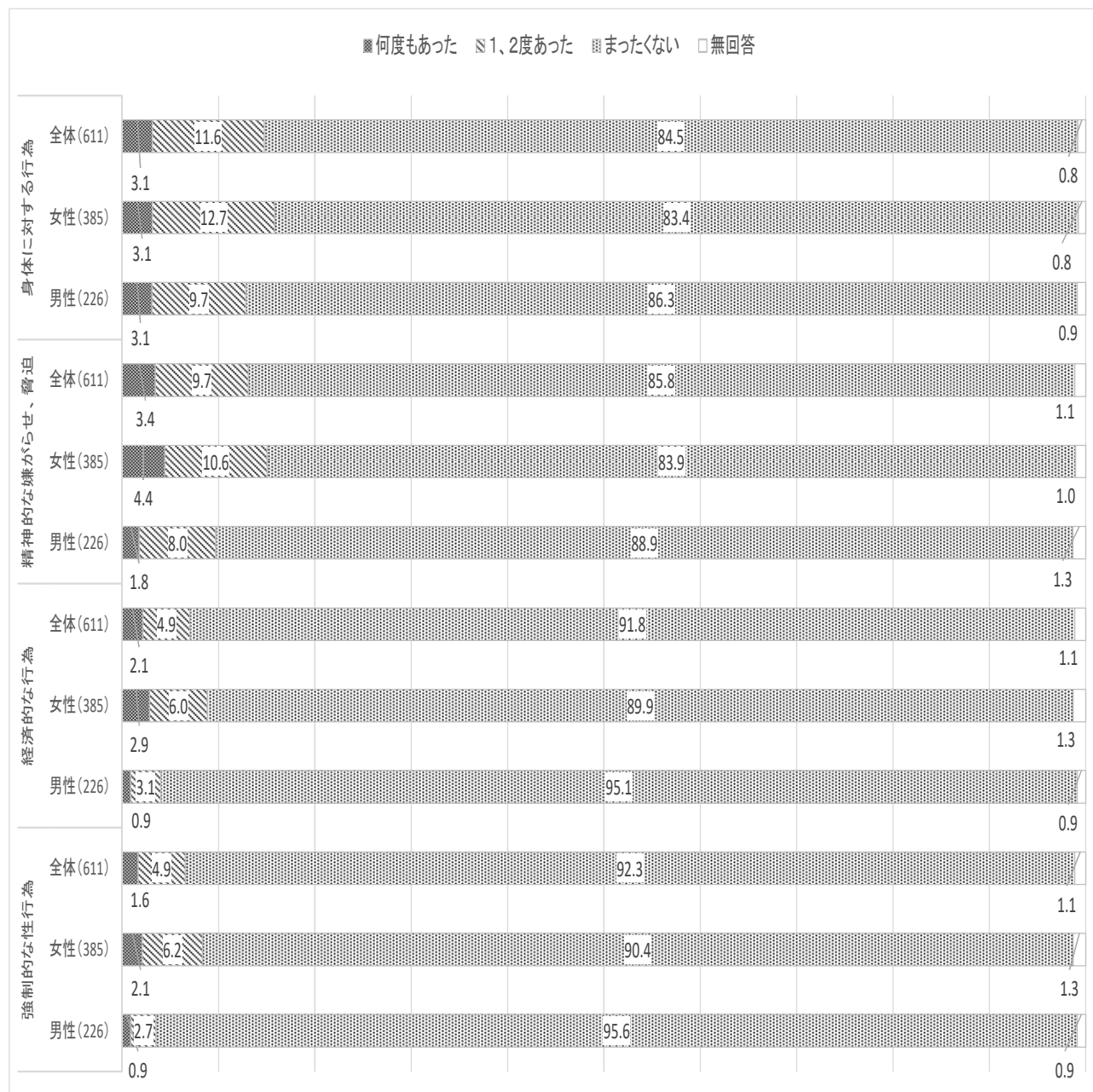
平成22年度調査と比較すると、大きな差はみられない。(図表 3-4)

## (2) 配偶者・恋人からの被害経験の有無

問5 あなたはこれまでに、あなたの配偶者や恋人から、次のような行為をされたことがありますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

図表3-5 配偶者・恋人からの被害経験の有無

【性別】



※説明を簡略化するため、以下のように各行為を略称している。

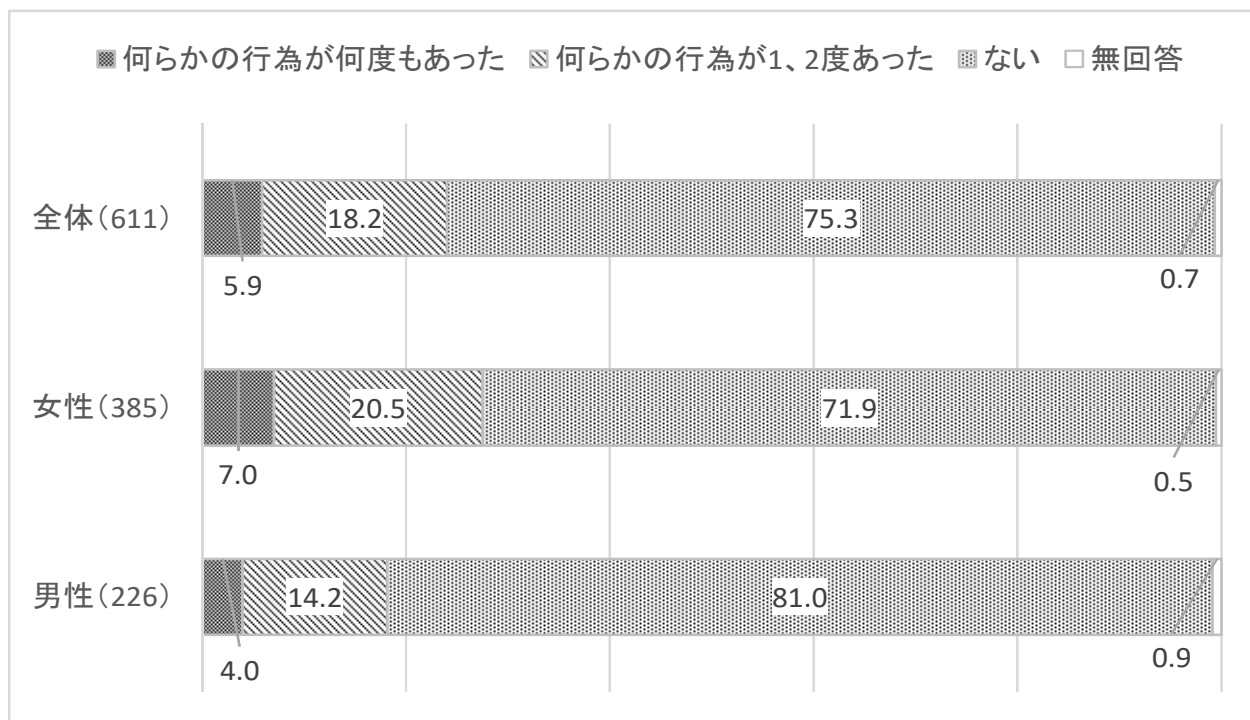
行為	略称
なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する行為を受けた	身体に対する行為
人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	精神的な嫌がらせ、脅迫
生活費を渡さない、お酒、ギャンブル、異性に生活費を使い込む、お金の使途を細かくチェックする、仕事をやめさせるなどの行為を受けた	経済的な行為
いやがっているのに、性的な行為を強要された	強制的な性行為

配偶者・恋人からの被害経験の有無を聞いたところ、「何度もあった」と「1、2度あった」を合わせた《経験がある（合計）》は『身体に対する行為』14.7%、『精神的な嫌がらせ、脅迫』13.1%で多くなっている。

性別でみると、《経験がある（合計）》は、女性では『身体に対する行為』、『精神的な嫌がらせ、脅迫』で1割台半ばとなっている。また、すべての項目において、《経験がある（合計）》は、女性が男性を上回っている。（図表3-5）

図表3-6 配偶者・恋人からの被害経験の有無（何らかの被害経験の有無）

【性別】



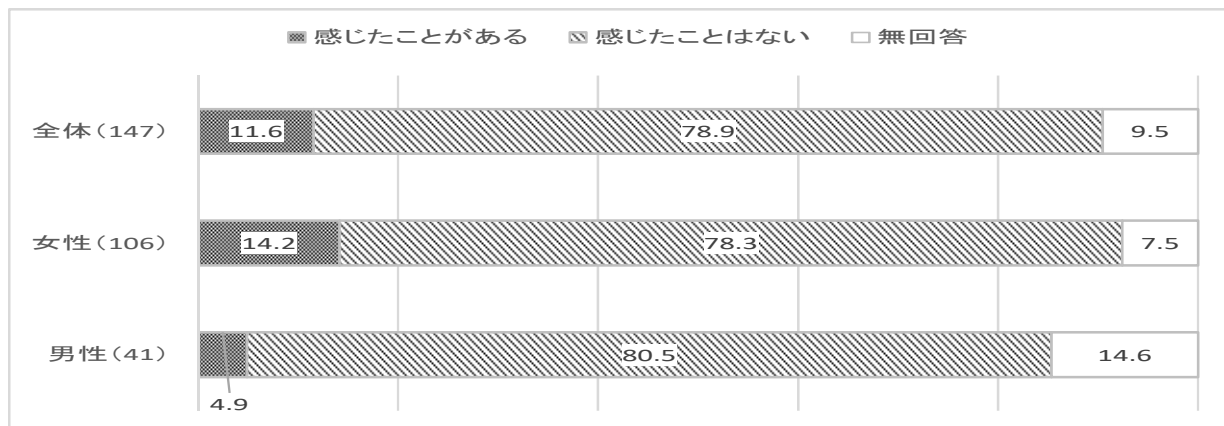
4つの行為のうち、何らかの被害経験がある人をまとめたところ、「何らかの行為が何度もあった」、「何らかの行為が1、2度あった」を合わせた《経験がある（合計）》人は、全体で24.1%、女性で27.5%となっている。（図表3-6）

### (3) 命の危険を感じたこと

問5-1 あなたはこれまでに、その相手の行為によって、命の危険を感じたことがありますか。(〇は1つ)

図表3-7 命の危険を感じたこと

【性別】

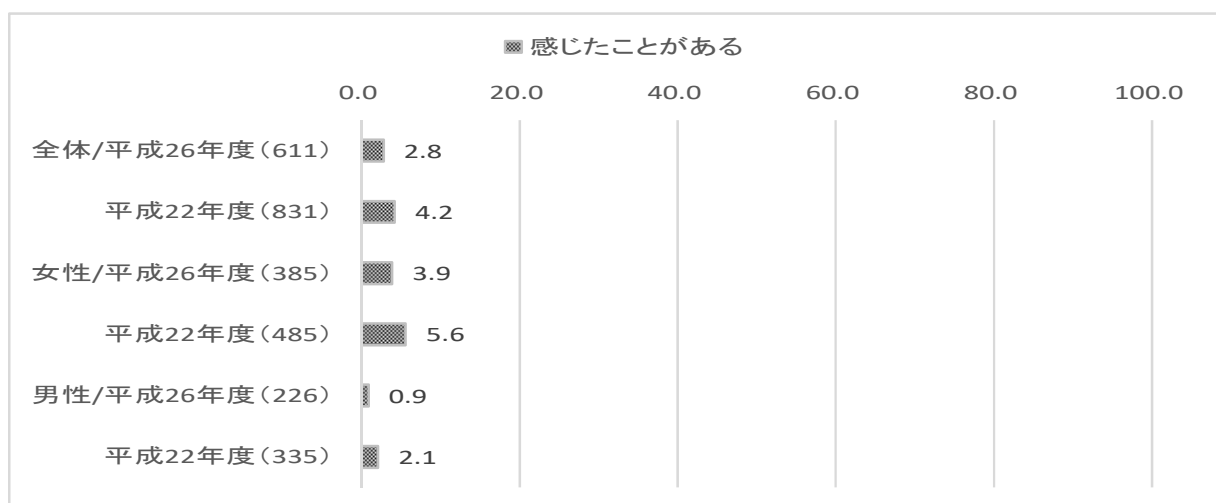


相手の行為により、命の危険を感じたことがあるかどうかでは、「感じたことはない」が78.9%を占め、「感じたことがある」は11.6%となっている。

性別で見ると、「感じたことがある」が女性14.2%、男性4.9%と、女性が男性を上回っている。(図表3-7)

図表3-8 命の危険を感じたこと

【経年比較】



命の危険を「感じたことがある」人の割合を、調査対象全体に対する割合として再集計した。

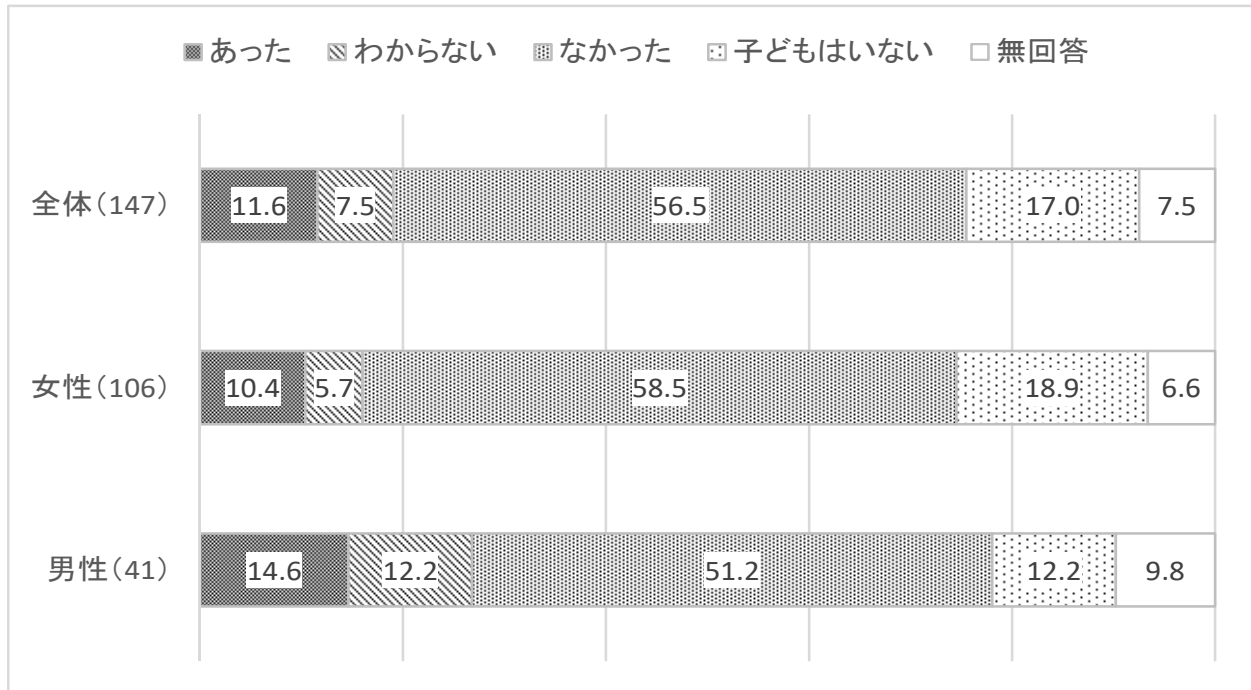
平成22年度調査と比較すると、男女ともに「感じたことがある」人の割合が減少している。(図表3-8)

#### (4) 子どもへの行為

問5-2 その相手は、あなたのお子さんに対して、あなたがされていたのと同じ行為をした  
 がありましたか。(〇は1つ)

図表3-9 子どもへの行為

【性別】



その相手が子どもに対しても同様な行為をしたかどうかについては、「あった」が11.6%、「なかった」が56.5%となっている。

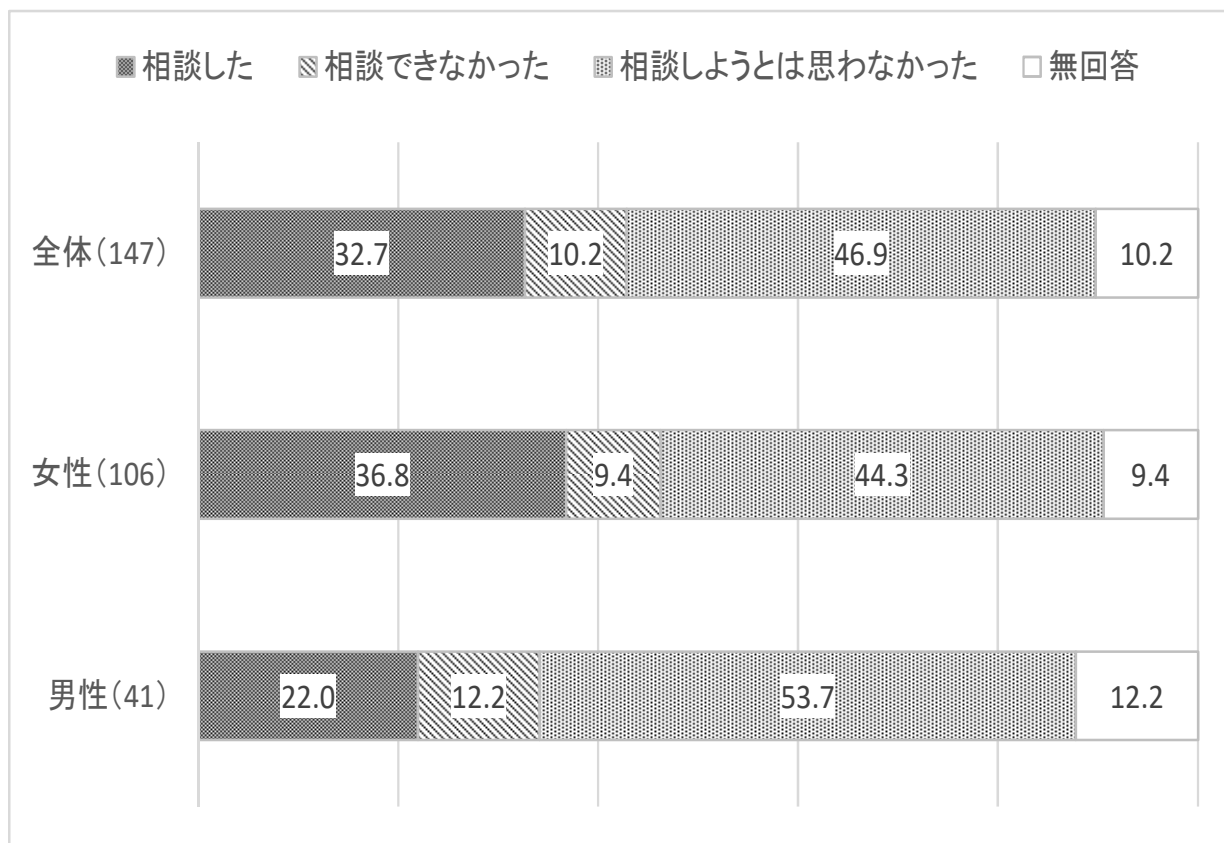
性別で見ると、「あった」が女性10.4%、男性14.6%と、男性が女性をやや上回っている。(図表3-9)

## (5) 暴力に関する相談

問5-3 あなたは問5であげたような行為を受けたことについて、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(〇は1つ)

図表3-10 暴力に関する相談

【性別】

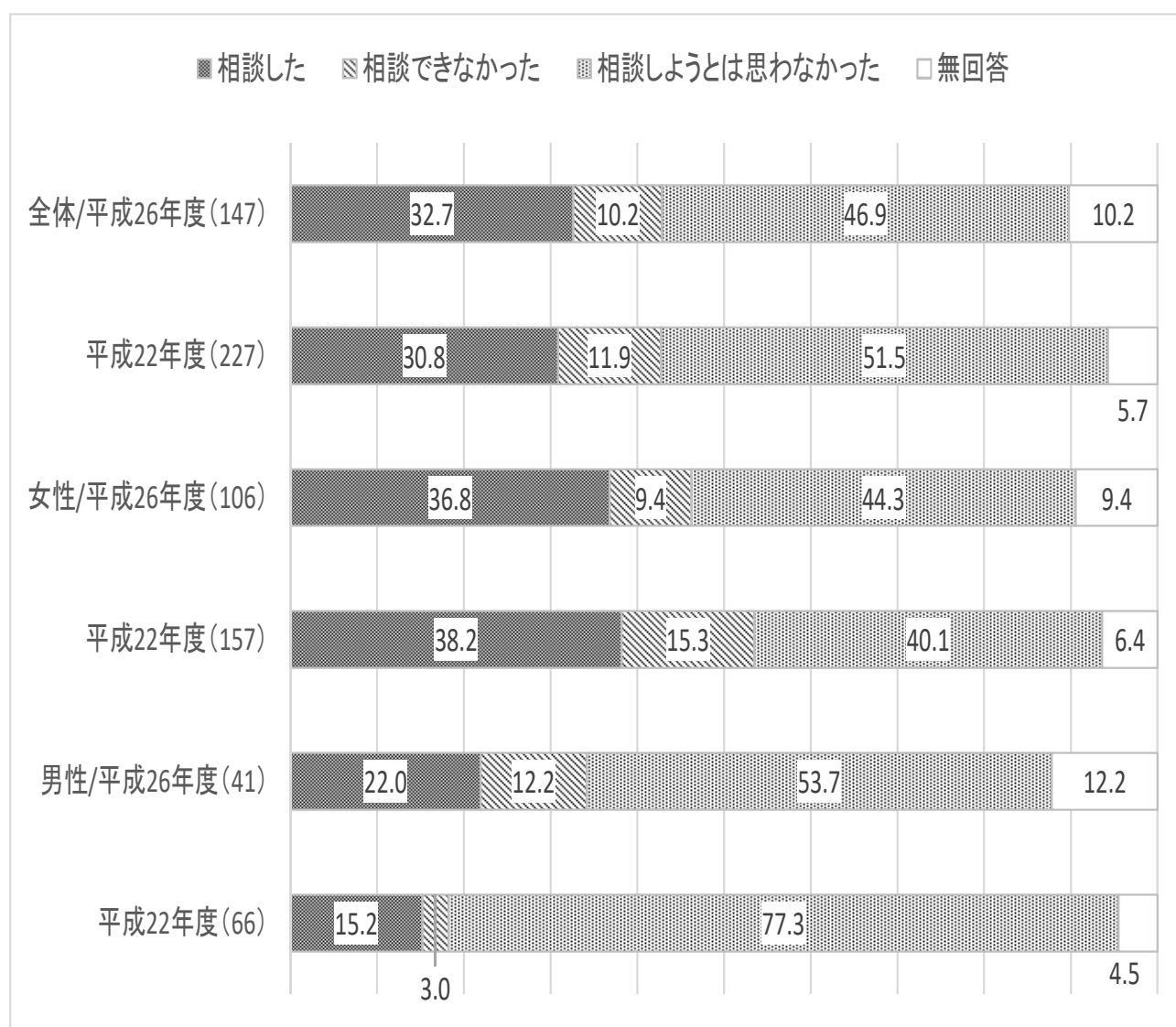


相手から受けた行為について「相談した」が32.7%である。一方、「相談しようとは思わなかった」が46.9%を占めており、「相談できなかった」が10.2%となっている。

性別で見ると、「相談した」が女性36.8%、男性22.0%と、女性が男性を上回っている。一方、「相談しようとは思わなかった」が女性44.3%、男性53.7%と、男性が女性を上回っている。(図表3-10)

図表 3-1-1 暴力に関する相談

【経年比較】



平成22年度調査と比較すると、「相談した」は男性で、やや増加している。また、女性では「相談できなかった」が減少し、「相談しようとは思わなかった」が増加している。  
 (図表 3-1-1)



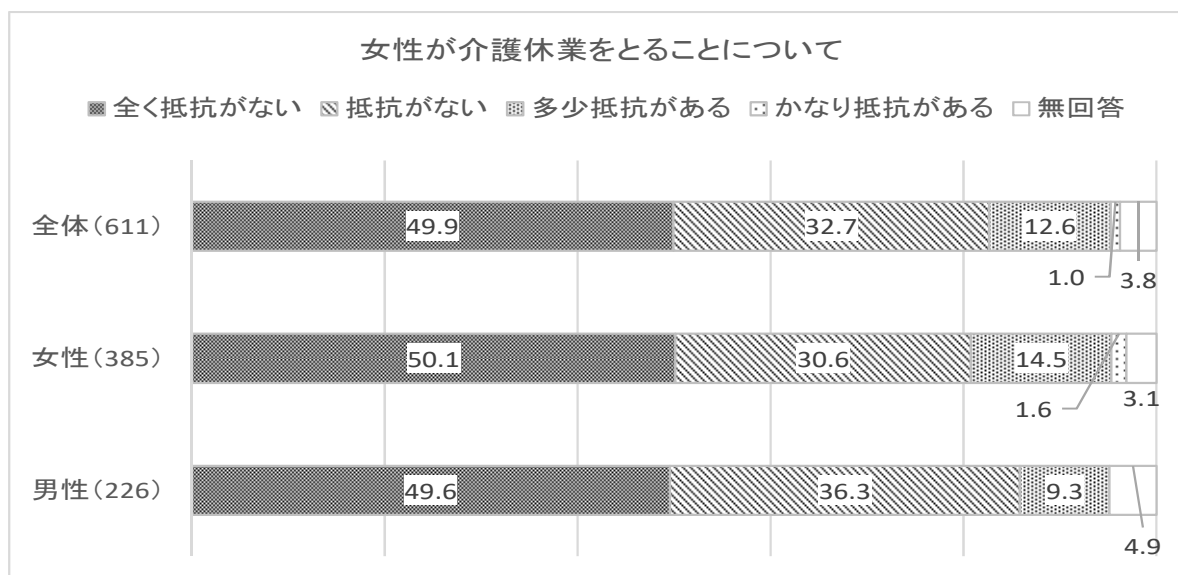
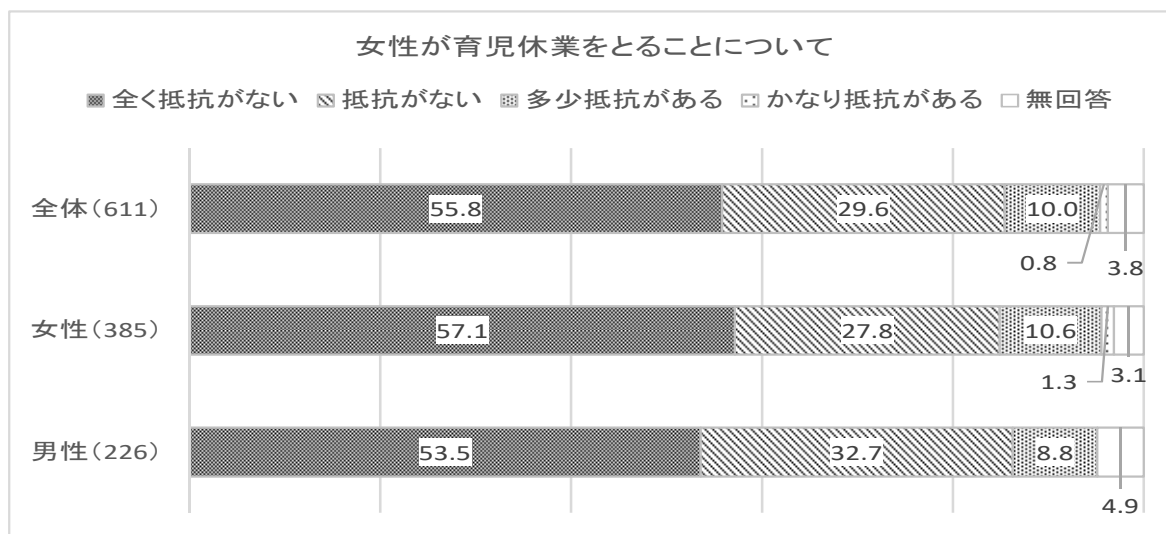
## 4. 仕事について

### (1) 育児休業や介護休業を取得することへの抵抗感

問6 育児休業や介護休業は男女ともに利用できる制度ですが、あなたの職場の人がこれらの制度を利用することについて、あなたはどのように思いますか。現在お勤めでない方は過去の経験からお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

図表4-1 育児休業や介護休業を取得することへの抵抗感

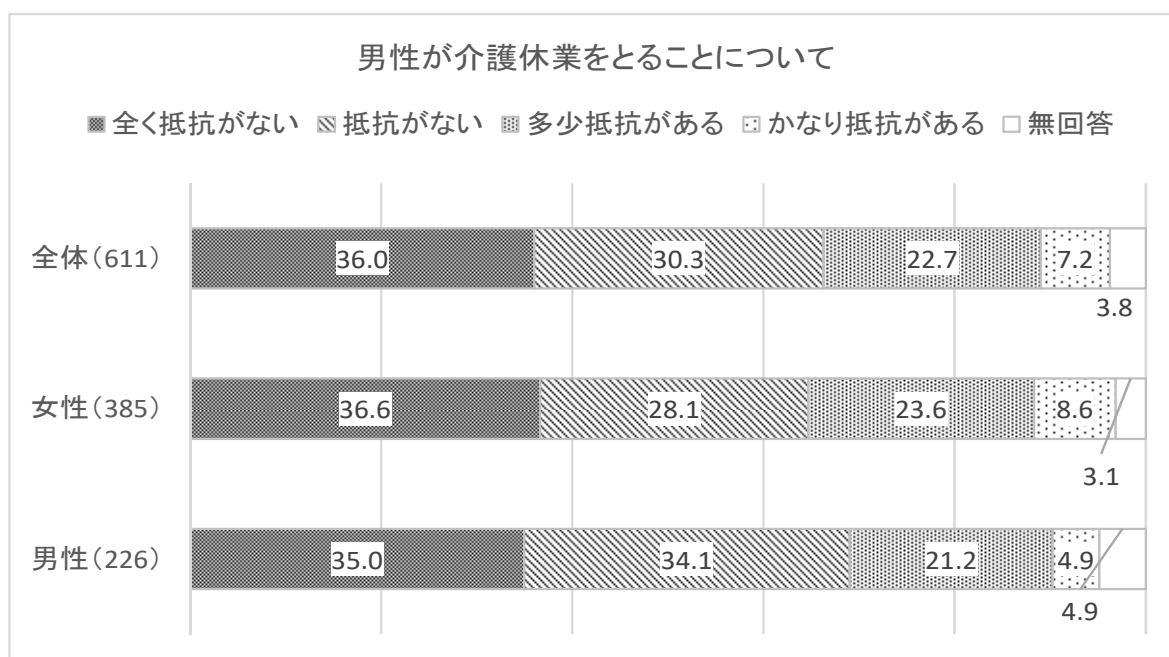
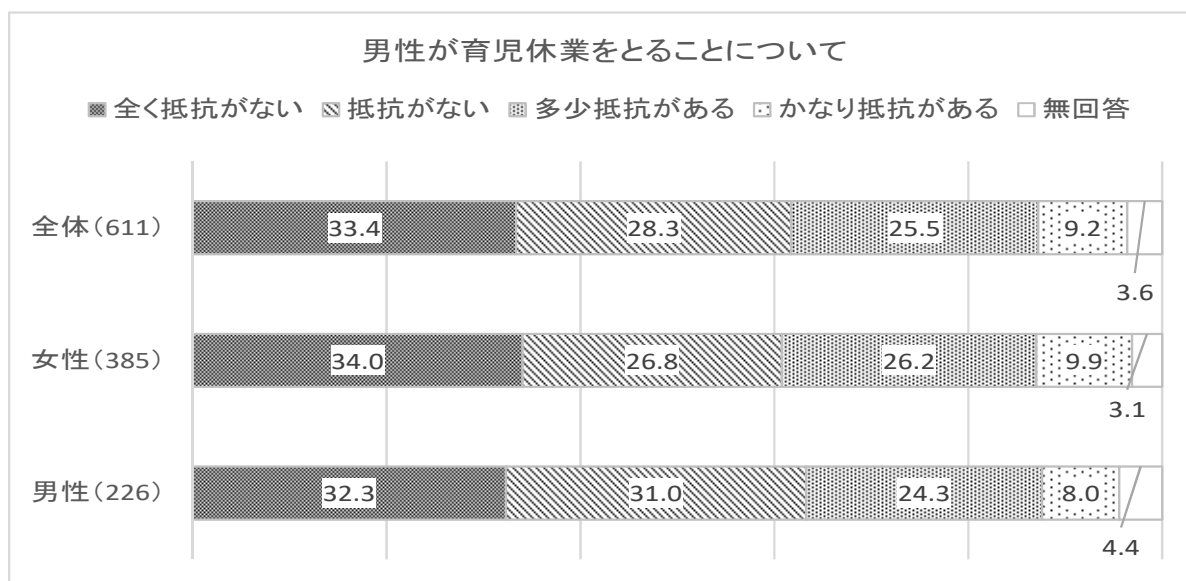
【性別】



女性が育児休業、介護休業を取得することへの抵抗感については、全体では、「全く抵抗がない」と「抵抗がない」を合わせた《抵抗がない(合計)》は、育児休業(85.4%)、介護休業(82.6%)ともに8割を超えている。性別で見ると、《抵抗がない(合計)》は、男性で育児休業(86.2%)、介護休業(85.9%)ともに8割台を超え、女性に比べて高くなっている。(図表4-1)

図表 4-2 育児休業や介護休業を取得することへの抵抗感

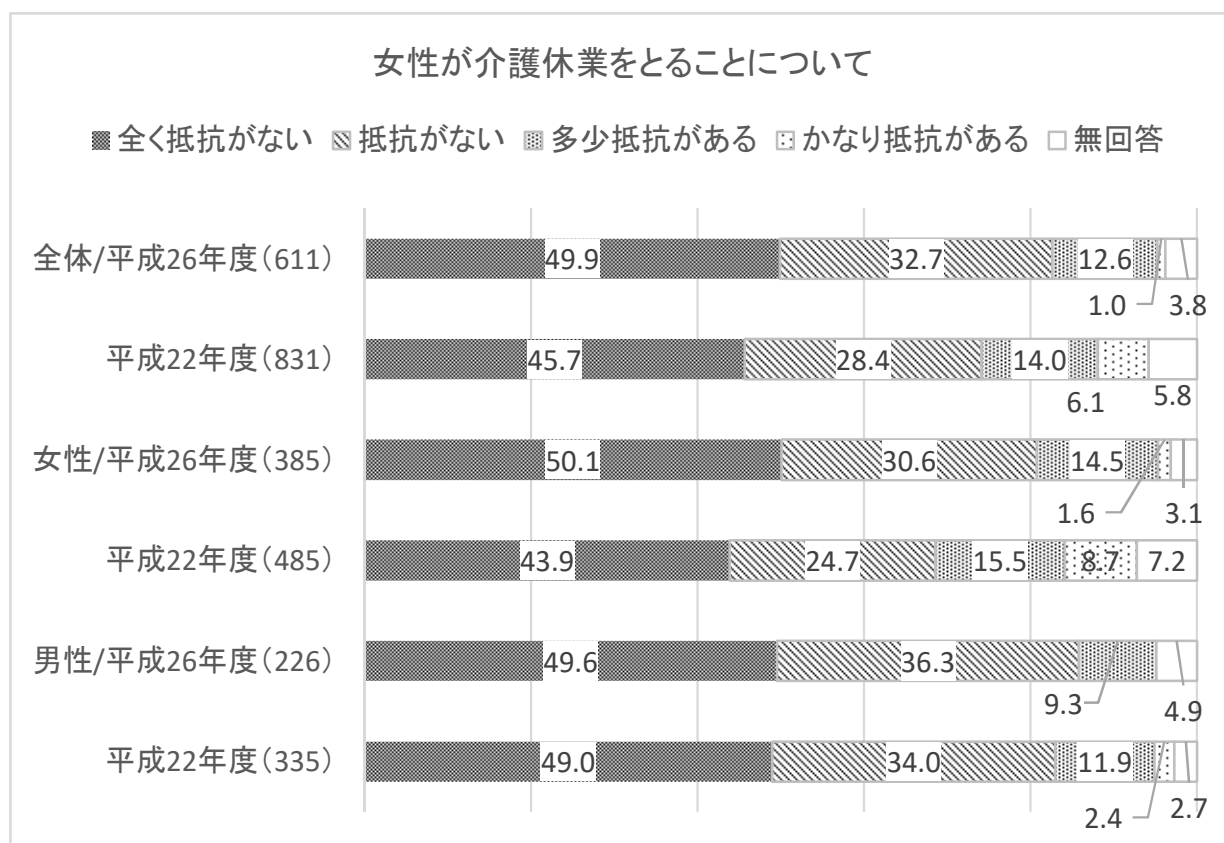
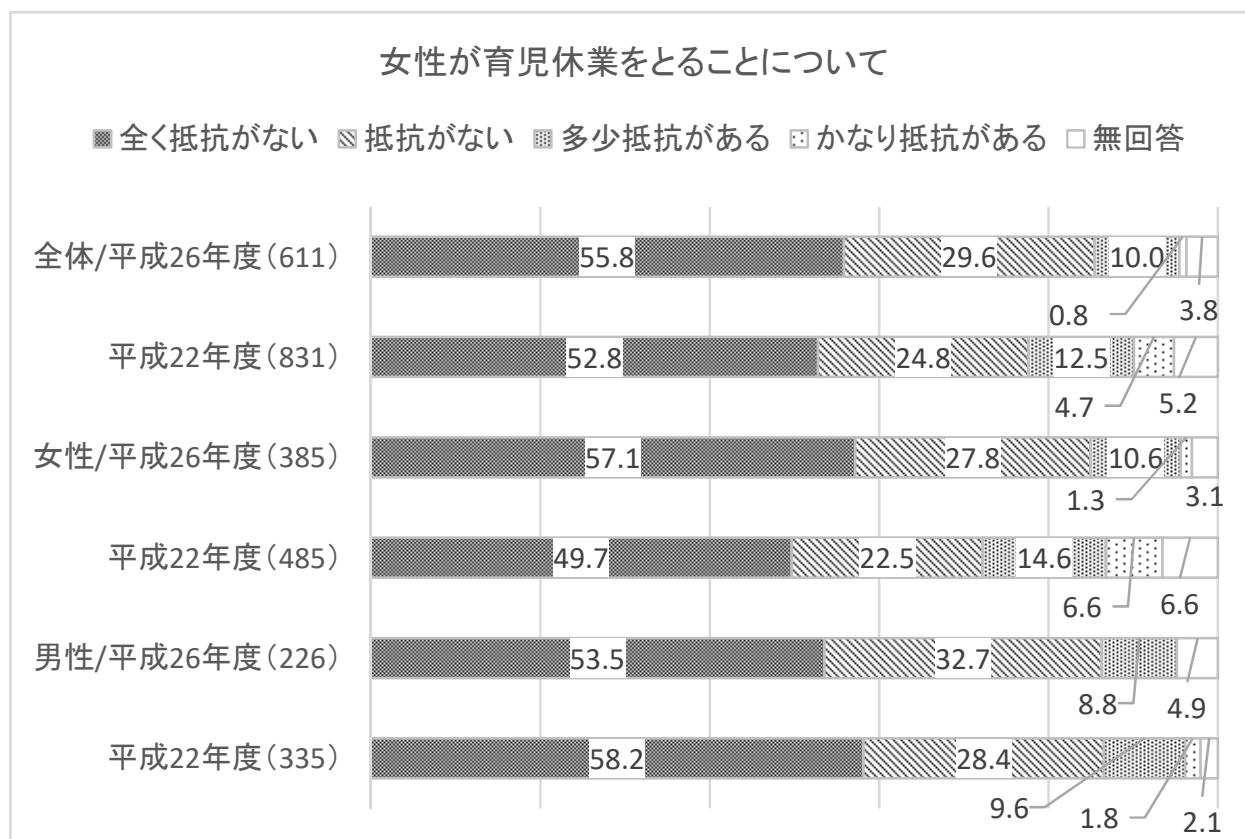
【性別】



男性が育児休業、介護休業を取得することへの抵抗感については、全体では、「全く抵抗がない」と「抵抗がない」を合わせた《抵抗がない（合計）》は、育児休業（61.7%）、介護休業（66.3%）ともに6割を超えている。性別で見ると、《抵抗がない（合計）》は育児休業、介護休業ともに、大きな差は見られない。「多少抵抗がある」と「かなり抵抗がある」を合わせた《抵抗がある（合計）》は、女性で育児休業（36.1%）、介護休業（32.2%）となっており、男性に比べてやや高くなっている。（図表4-2）

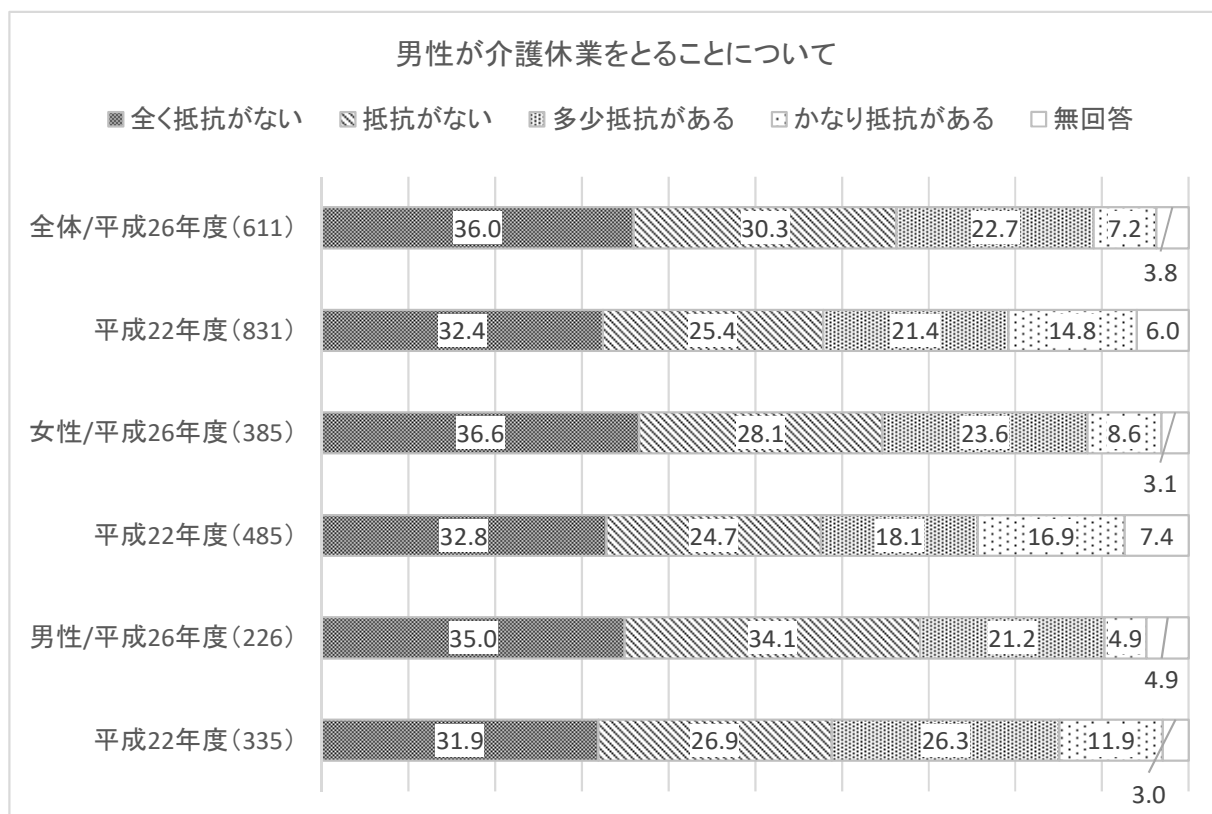
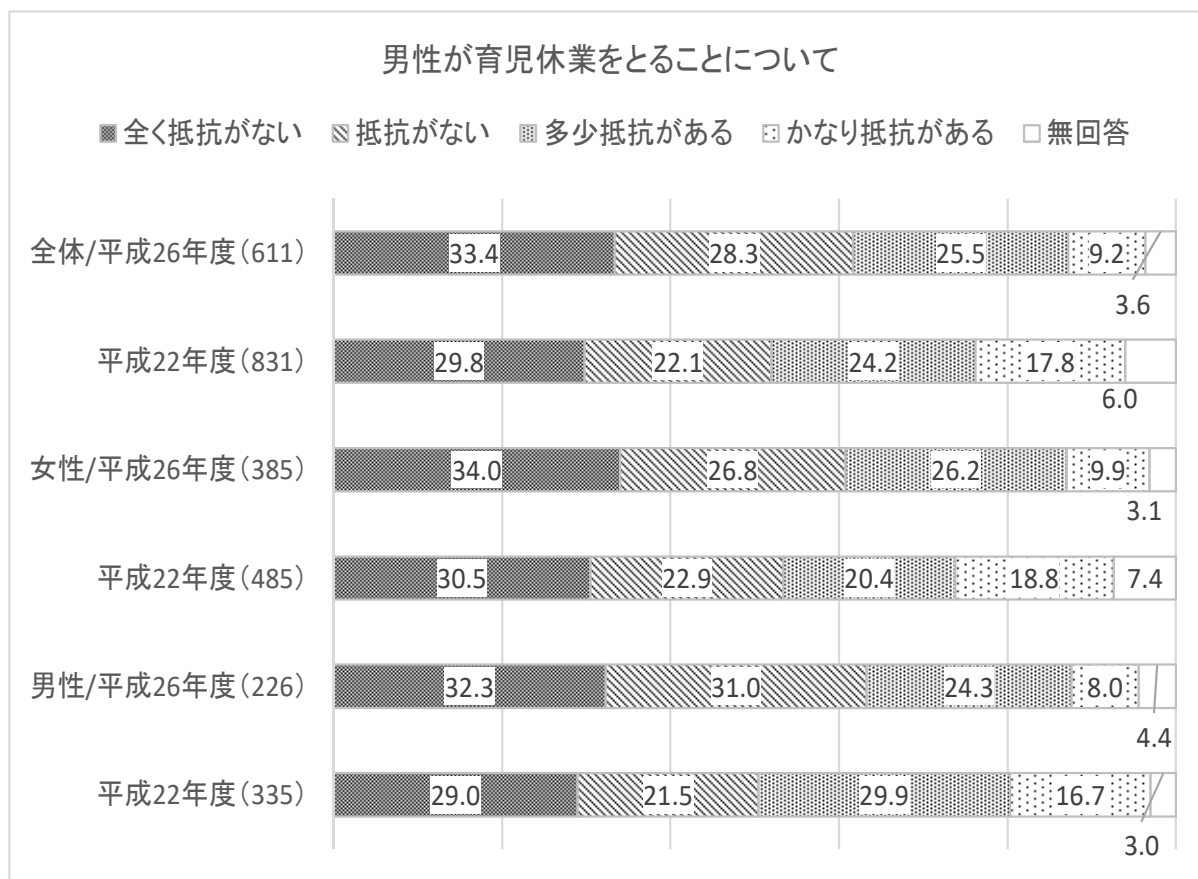
図表 4-3 育児休業や介護休業を取得することへの抵抗感

【経年比較】



図表 4-4 育児休業や介護休業を取得することへの抵抗感

【経年比較】



経年で比較すると、女性の育児休業については、平成22年度から26年度にかけて、女性では、《抵抗がない（合計）》が増加、《抵抗がある（合計）》が減少し、女性の介護休業についても、《抵抗がない（合計）》が増加、《抵抗がある（合計）》が減少している。（図表4-3）

男性の育児休業については、平成22年度から26年度にかけて、女性では、《抵抗がない（合計）》が増加し、《抵抗がある（合計）》が減少している。男性の介護休業については、平成22年度から26年度にかけて、男女とも、《抵抗がない（合計）》が増加、《抵抗がある（合計）》が減少している。（図表4-4）

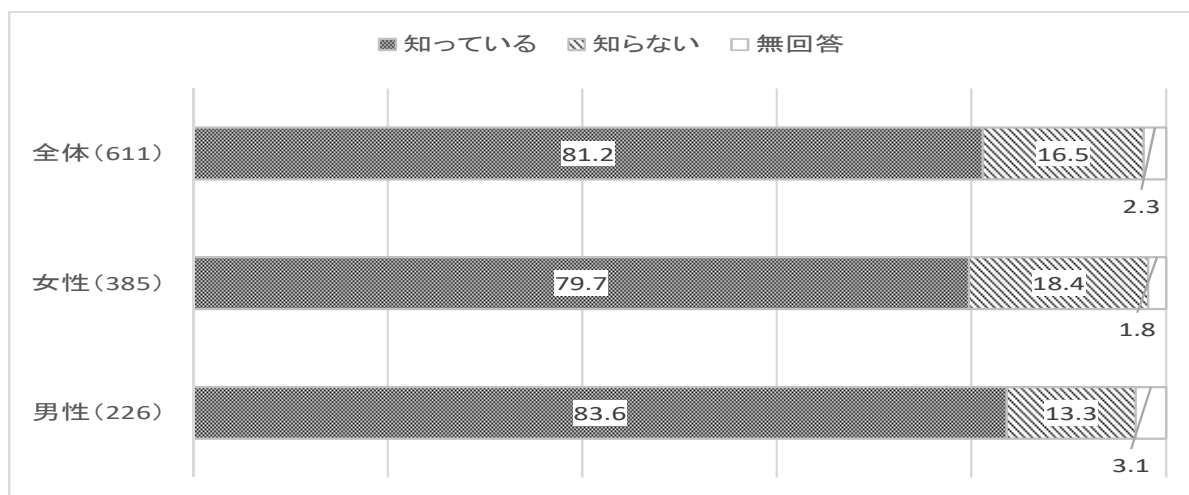
## 5. 健康について

### (1) 性感染症の予防方法の認知状況

問7 あなたは、性感染症の予防方法を知っていますか。(〇は1つ)

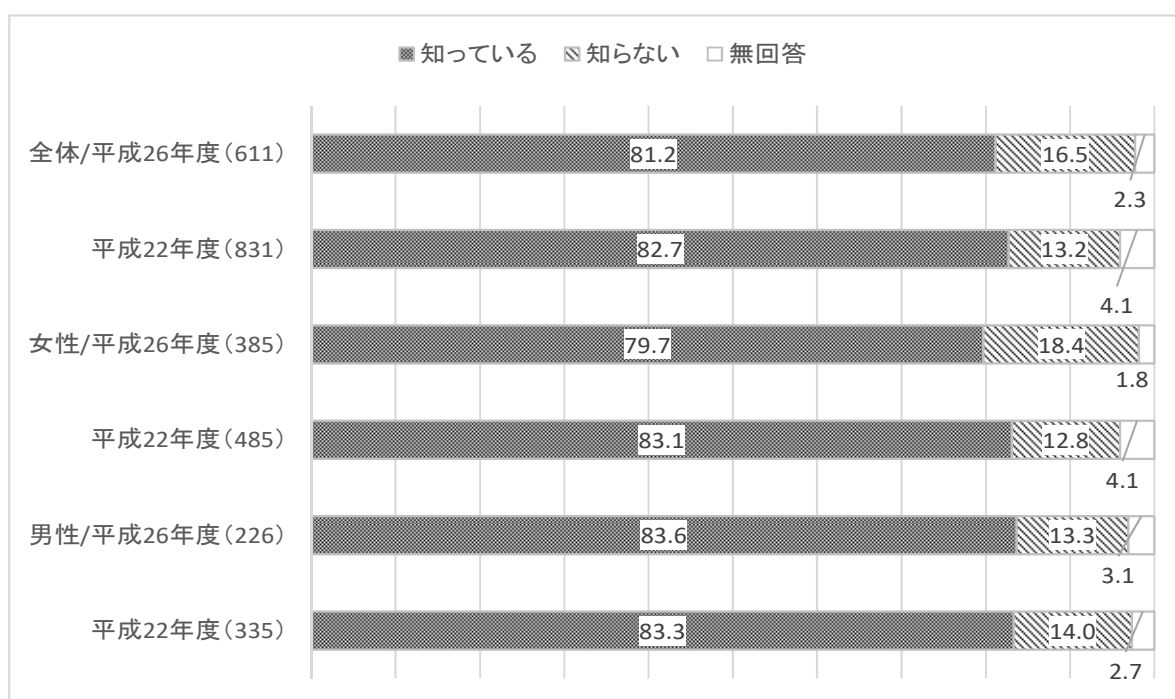
図表5-1 性感染症の予防方法の認知状況

【性別】



性感染症の予防方法について、「知っている」が81.2%を占めている。(図表5-1)

図表5-2 性感染症の予防方法の認知状況



平成22年度調査と比較すると、大きな差はみられない。(図表5-2)

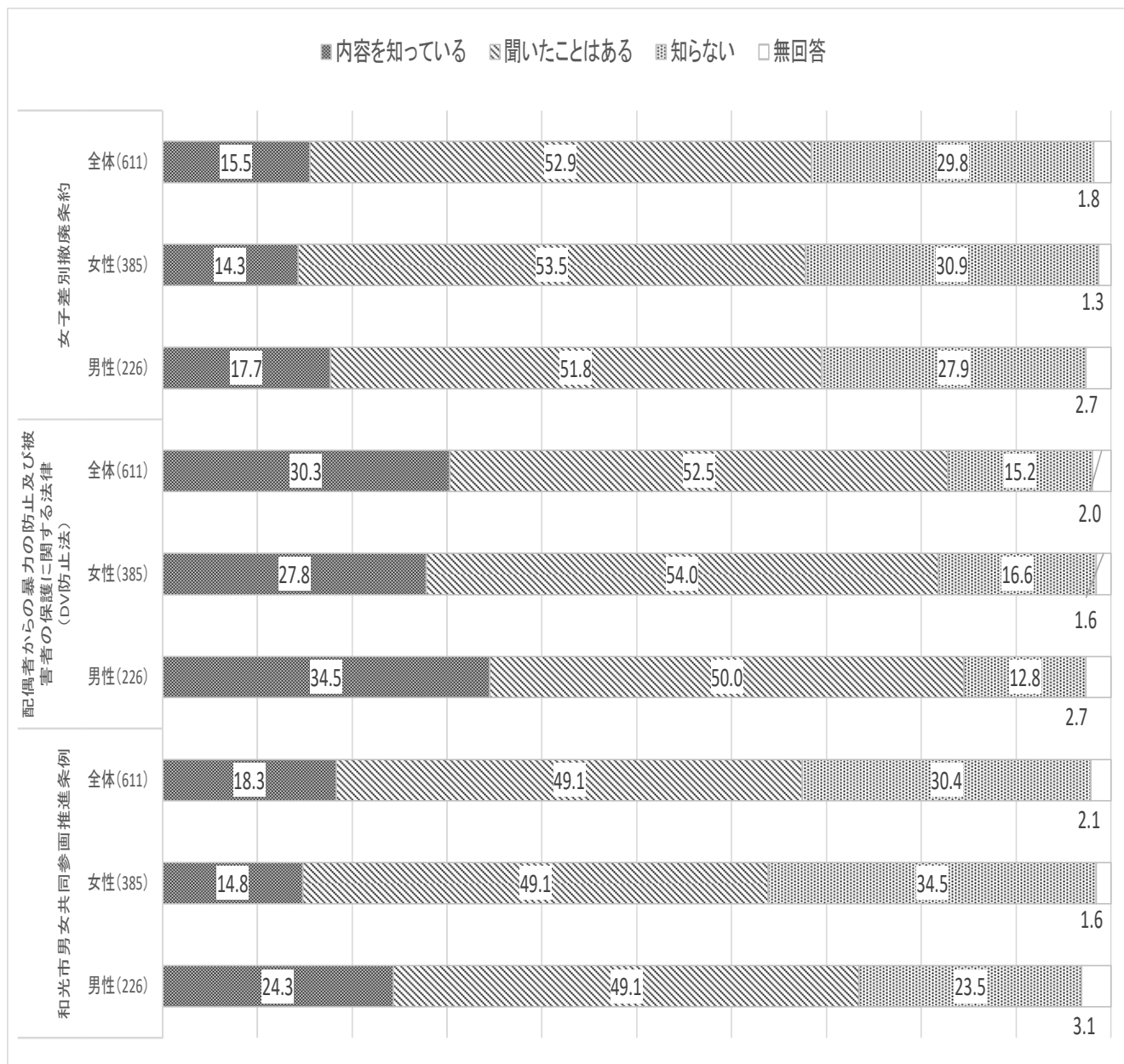
## 6. 男女共同参画の取り組みについて

### (1) 男女共同参画に関する言葉の認知度

問8 次にあげる男女共同参画に関する社会の動きや言葉について、見たり聞いたりしたことがありますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

図表6-1 男女共同参画に関する言葉の認知度

【性別】



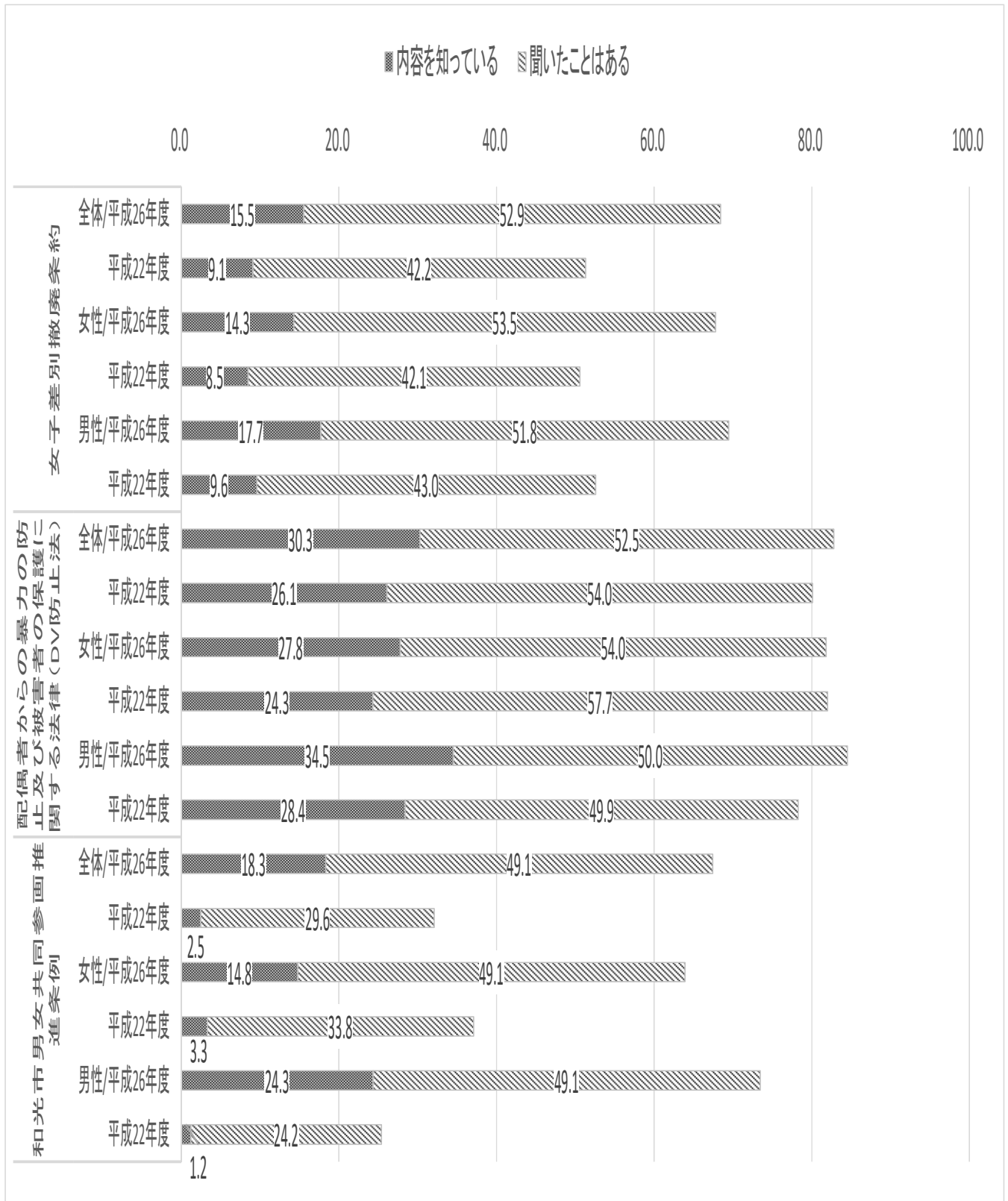
男女共同参画に関する社会の動きや言葉について、「内容を知っている」は、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）で3割となっている。「内容を知っている」と「聞いたことはある」を合わせた「認知度」は、配偶者からの暴力の

防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）で8割を超えている。一方、「知らない」は、和光市男女共同参画推進条例で3割である。



図表6-2 男女共同参画に関する言葉の認知度

【経年比較】



平成22年度調査と比較すると、男女ともに各項目で認知度が上がっている。特に「和光市男女共同参画推進条例」が男性で認知度が大きく増加している。(図表6-2)

## 7. 自由意見

和光市の男女共同参画の取組についてご意見がございましたら、お書きください。

### ◇ 代表的な意見

- 市が具体的に何をしているのかこちらから情報収集しない限り見えてきません。もし、今後さらに積極的に推進されるのであれば、それが、男性の目に触れるような努力をしていただけると嬉しいです。
- DV対策、シングルマザー支援、保育所増設など女性への様々な支援が不足。女性が子育てしながら安心して働ける環境を作ってほしい。
- 市の職員が積極的に新しい取り組みを進めて、男女平等の社会の実現に近づけてくださることを望みます。

## 第3章 中学生意識調査結果の分析

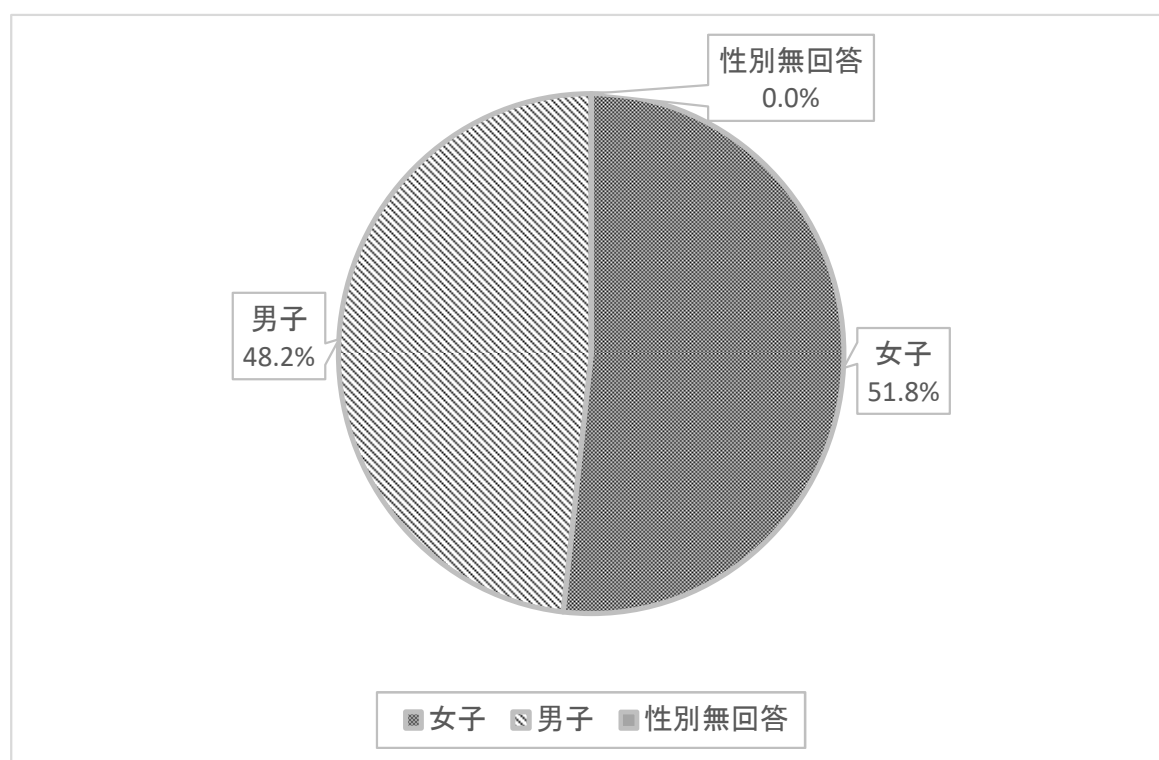


## (1) 回答者の性別

問1 あなたの性別は。(〇は1つ)

図表1 回答者の性別

	基数	構成比
女子	161	51.8%
男子	150	48.2%
性別無回答	0	0.0%
全体	311	100.0%



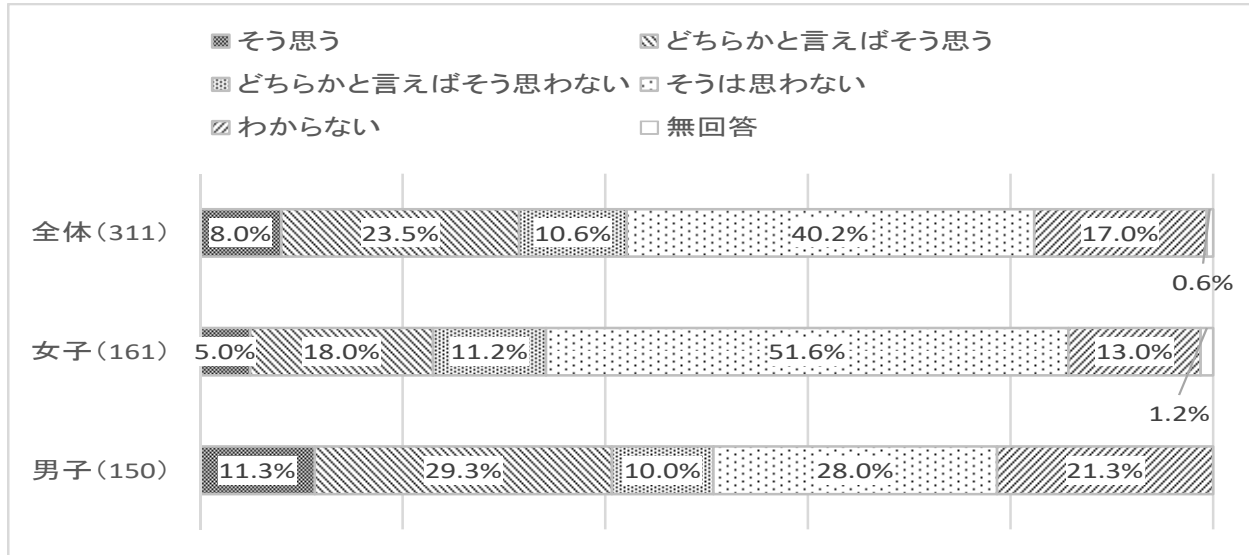
回答者の性別は、女子が51.8%、男子が48.2%である。(図表1)

## (2) 性別役割分担について

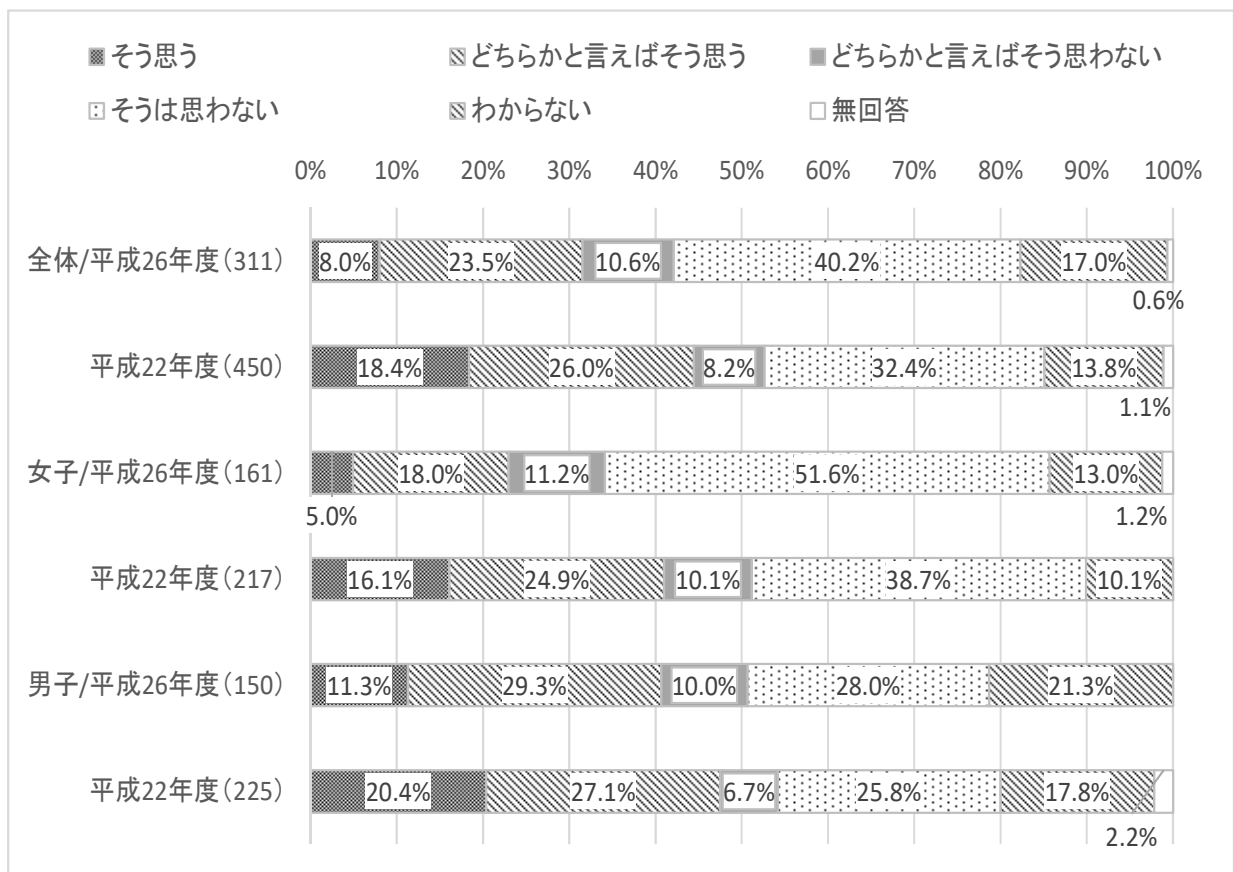
問2 「男は仕事・女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思いますか。(〇は1つ)

図表2 性別役割分担について

[性別]



[経年比較]



性別役割分担については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた《そう思う（合計）》が31.5%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた《そう思わない（合計）》が50.8%となっている。性別で見ると、《そう思う（合計）》が女子23.0%、男子40.6%と男子が女子を大きく上回っている。一方、《そう思わない（合計）》が女子62.8%、男子38.0%と、女子が男子を大きく上回っている。

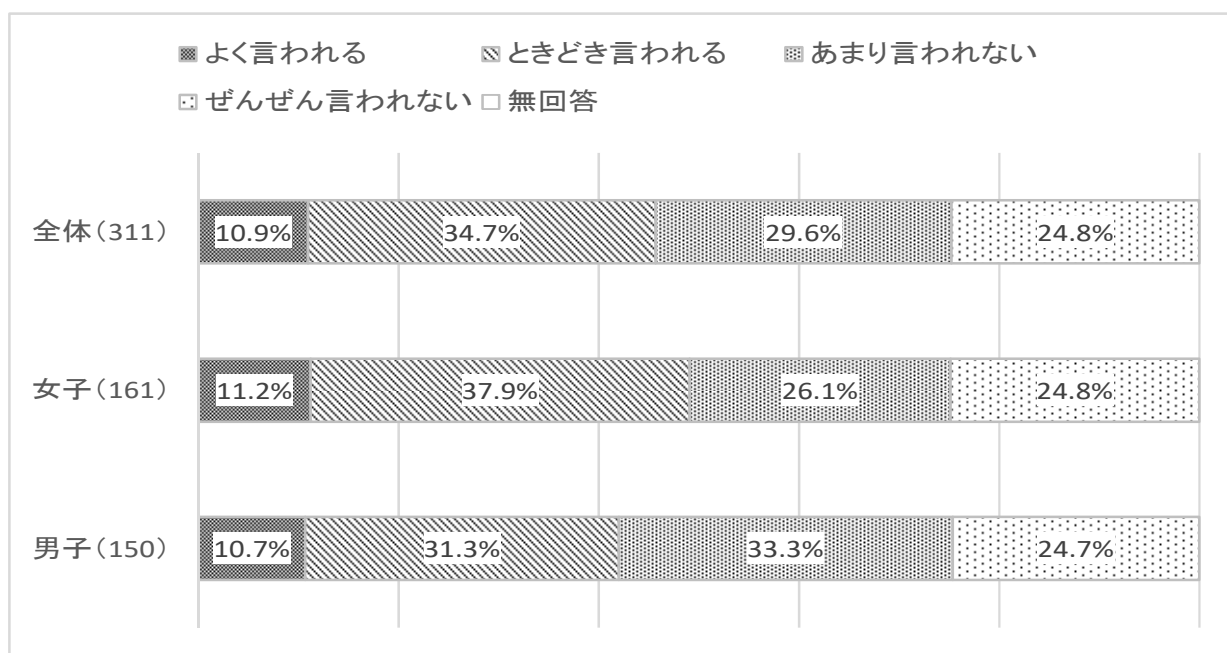
平成22年度調査と比較すると、男女ともに《そう思わない（合計）》が増加している。  
(図表2)

### (3) 性別役割意識に対する大人の言動

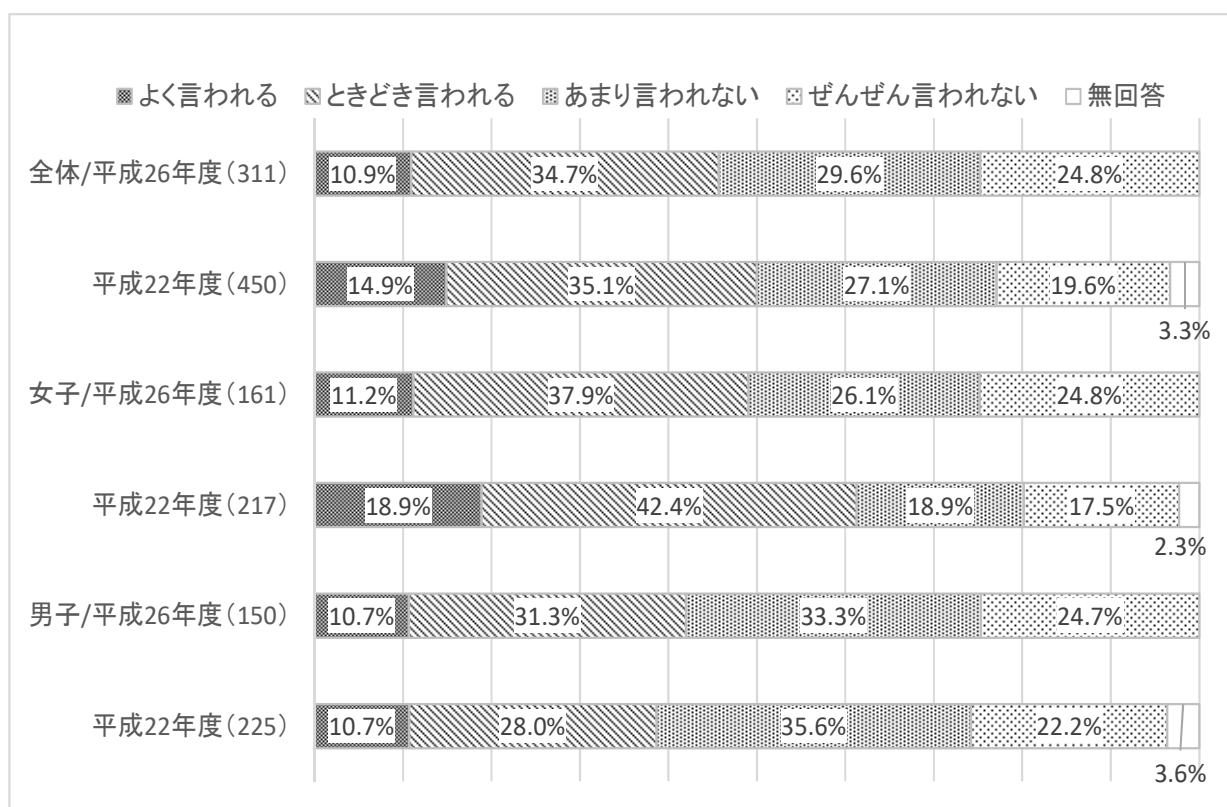
問3 あなたはおとなの人に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。(〇は1つ)

図表3 性別役割意識に対する大人の言動

【性別】



【経年比較】





性別役割意識に対する大人の言動については、全体では「よく言われる」と「ときどき言われる」を合わせた《言われる（合計）》が45.6%、「あまり言われたい」と「ぜんぜん言われたい」を合わせた《言われたい（合計）》が54.4%となっている。性別で見ると、女子では《言われる（合計）》が49.1%、男子では《言われたい（合計）》が58.0%となっている。

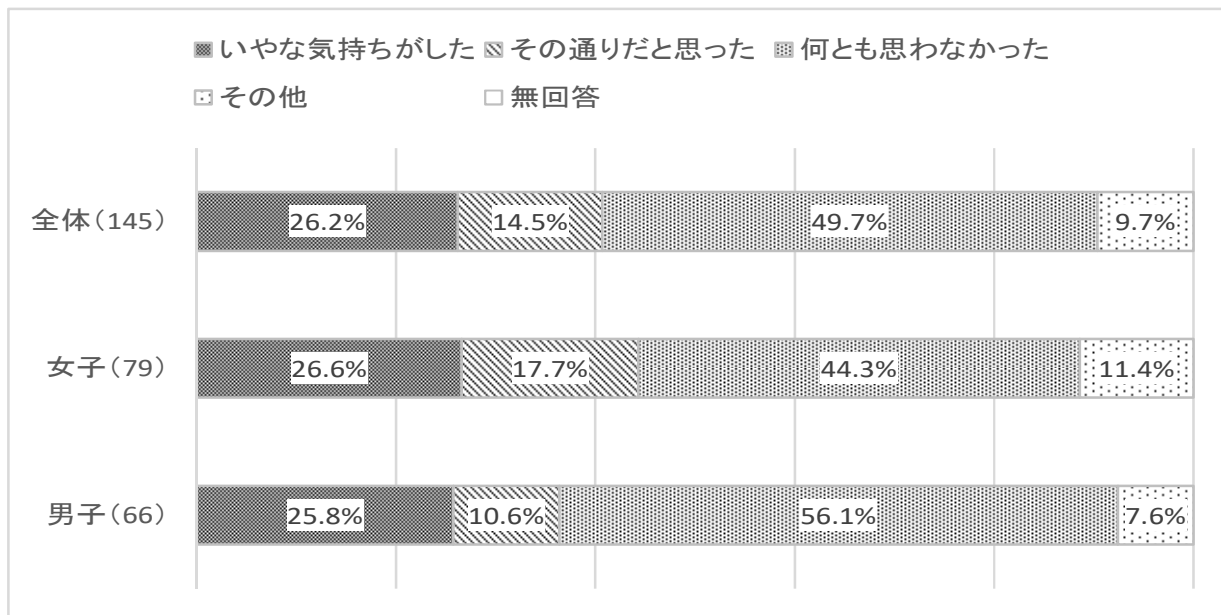
平成22年度調査と比較すると、女子では《言われる（合計）》が減少している。男子では大きな差はみられない。（図表3）

#### (4) 性別役割意識に対する大人の言動による影響

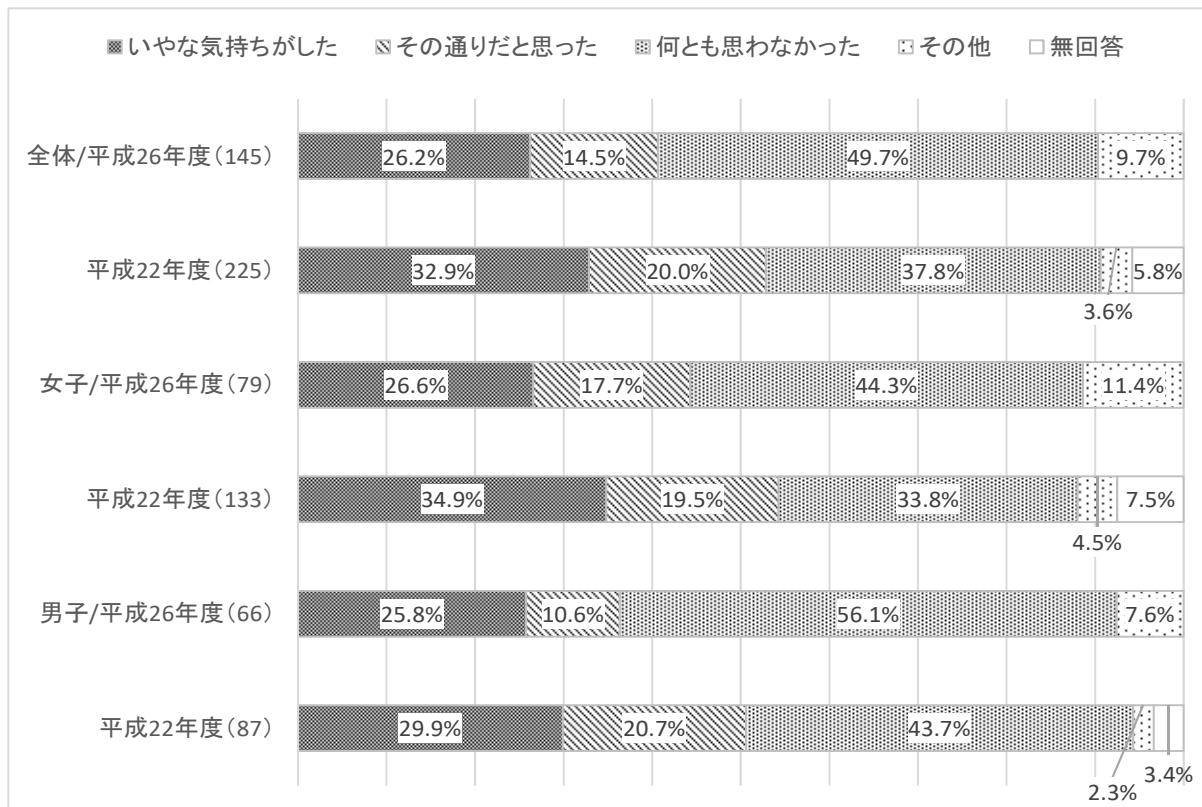
問3 問2で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた方に聞きます。あなたは  
その時どんな気持ちがしましたか。(〇は1つ)

図表4 性別役割意識に対する大人の言動による影響

【性別】



【経年比較】



性別役割意識に対する大人の言動による影響は、全体では、「いやな気持ちが出た」が26.2%、「その通りだと思った」が14.5%、「何とも思わなかった」は49.7%となっている。性別で見ると、女子では「いやな気持ちが出た」が26.6%、男子では「何とも思わなかった」が56.1%である。

平成22年度調査と比較すると、男女ともに「いやな気持ちが出た」が減少しているが、「その通りだと思った」も男子で減少、女子でもやや減少している。男子では「何とも思わなかった」が増加している。(図表4)

## 第4章 小生意識調査結果の分析

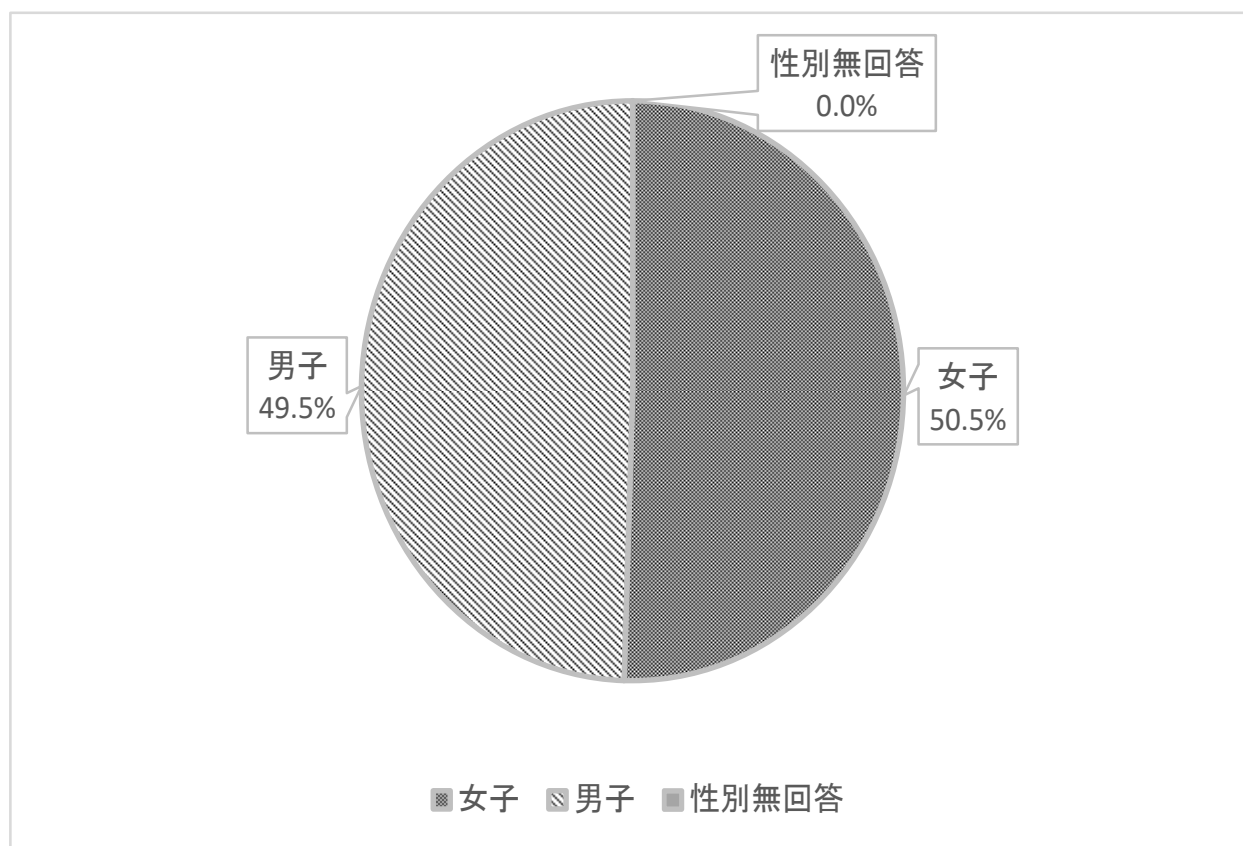


## (1) 回答者の性別

問1 あなたの性別は。(〇は1つ)

図表1 回答者の性別

	基数	構成比
女子	152	50.5%
男子	149	49.5%
性別無回答	0	0.0%
全体	301	100.0%



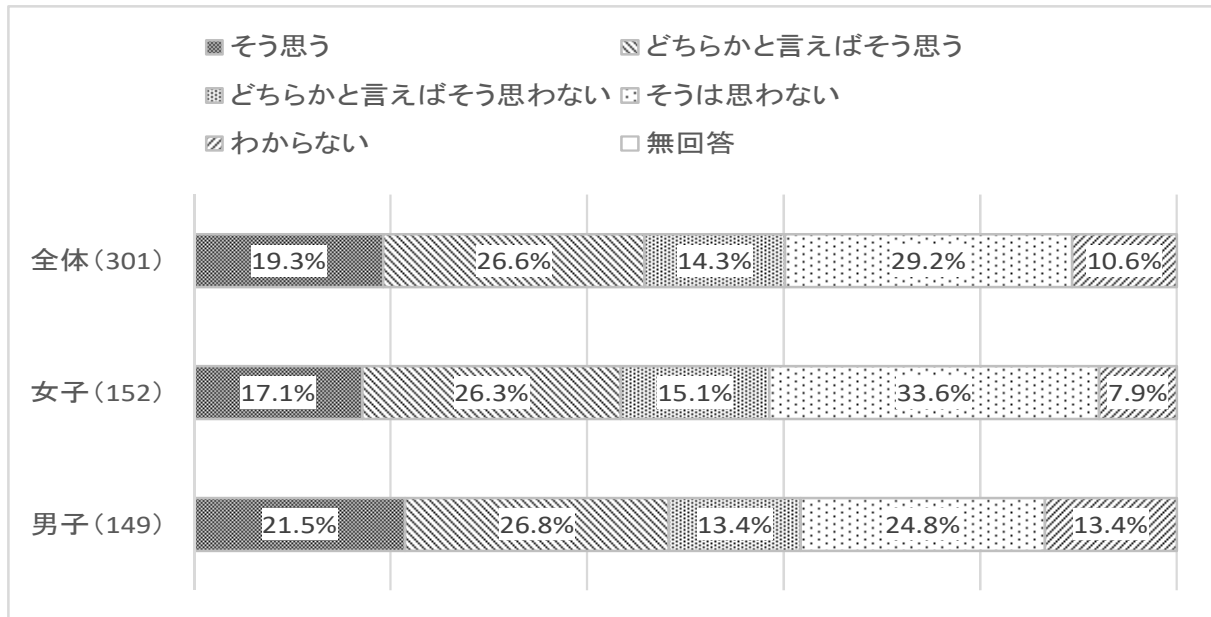
回答者の性別は、女子が50.5%、男子が49.5%である。(図表1)

## (2) 性別役割分担について

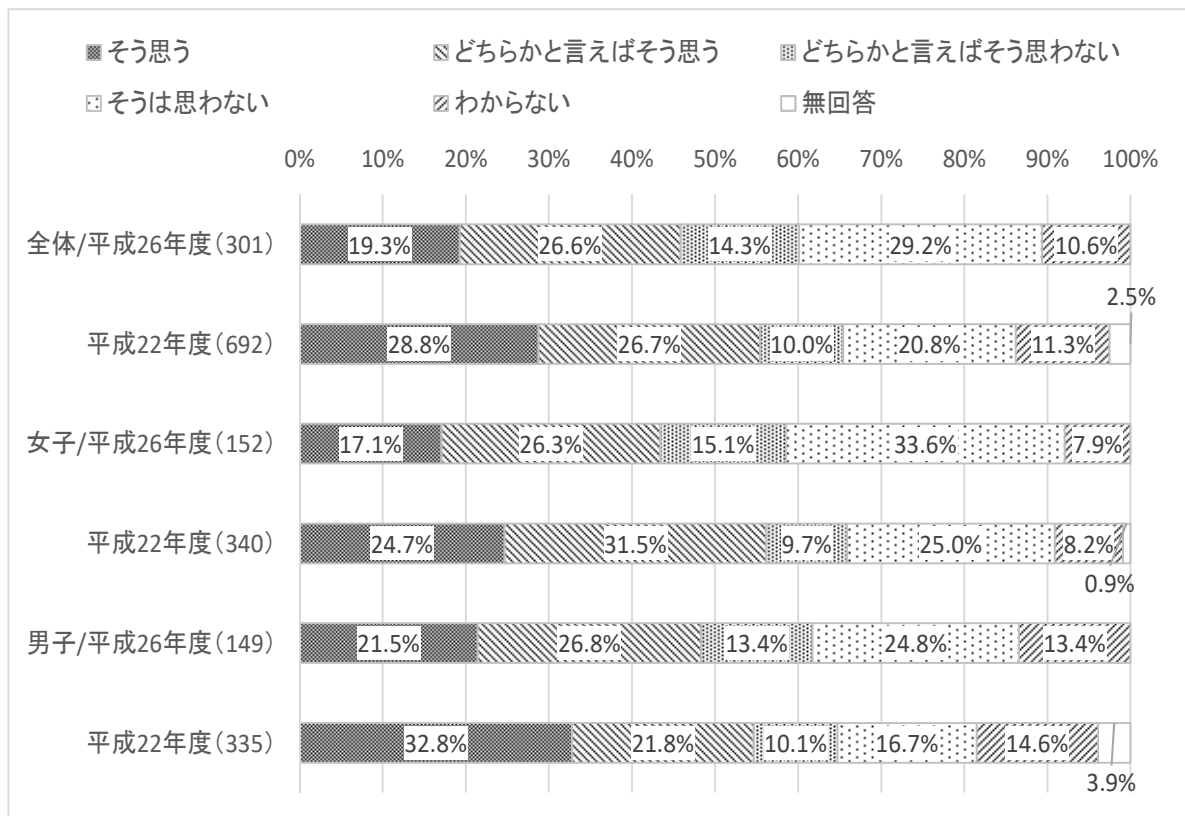
問2 「男は仕事・女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思いますか。(〇は1つ)

図表2 性別役割分担について

【性別】



【経年比較】



性別役割分担については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた《そう思う（合計）》が45.9%、「どちらかといえばそう思わない」と「そうは思わない」を合わせた《そう思わない（合計）》が43.5%となっている。性別で見ると、《そう思わない（合計）》は女子48.7%、男子38.2%と、女子が男子を上回っている。

平成22年度調査と比較すると、女子では《そう思う（合計）》が減少し、《そう思わない（合計）》が増加している。（図表2）

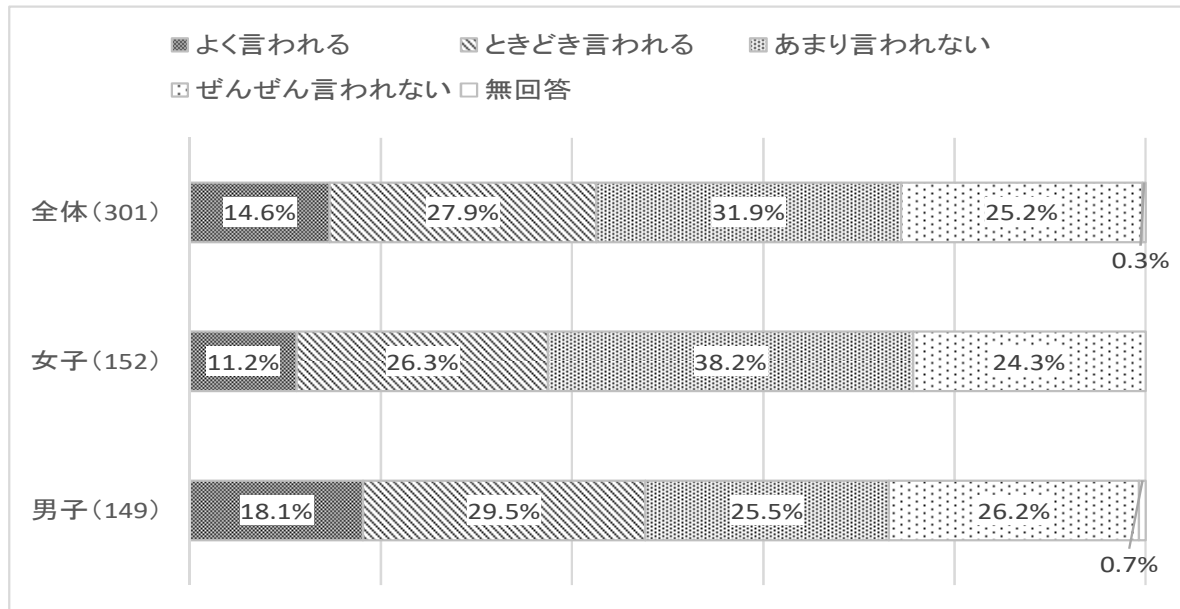


### (3) 性別役割意識に対する大人の言動

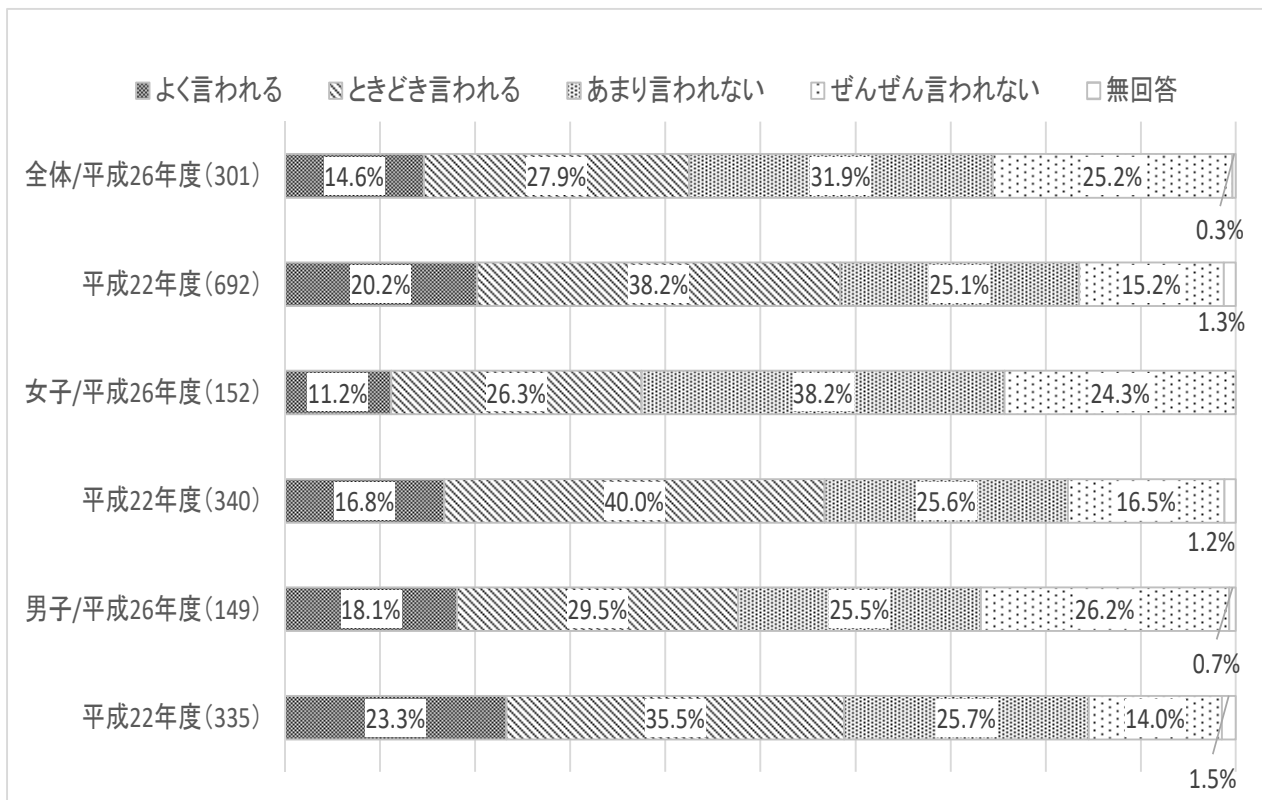
問3 あなたはおとなの人に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。(〇は1つ)

図表3 性別役割意識に対する大人の言動

【性別】



【経年比較】



性別役割意識に対する大人の言動については、全体では「よく言われる」と「ときどき言われる」を合わせた《言われる（合計）》が42.5%、「あまり言われない」と「ぜんぜん言われない」を合わせた《言われない（合計）》が57.1%となっている。性別で見ると、女子では《言われる（合計）》が37.5%、男子では《言われない（合計）》が51.7%となっている。

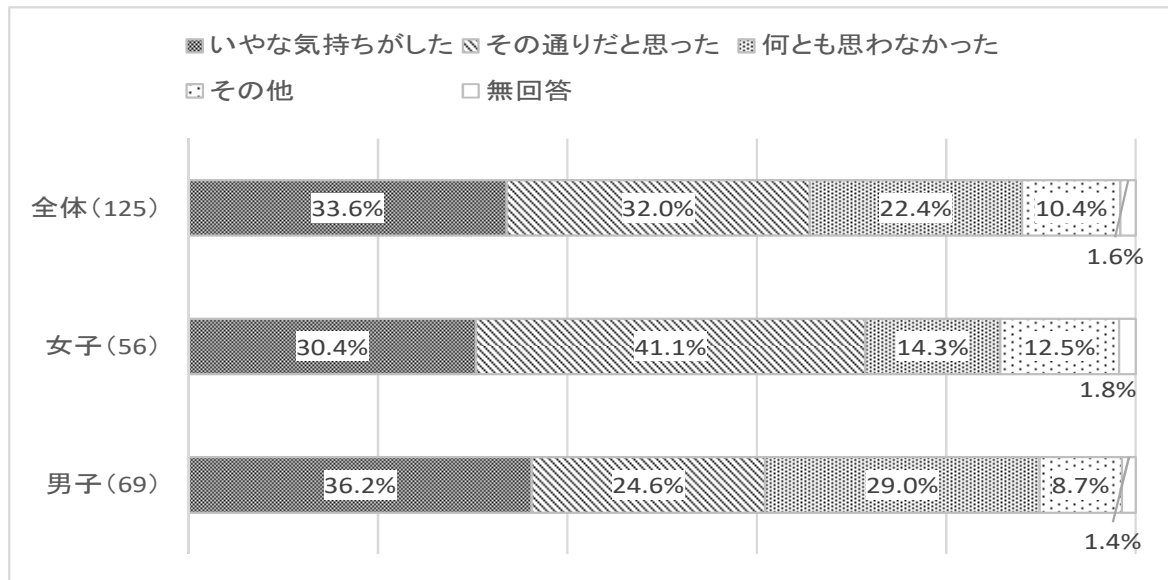
平成22年度調査と比較すると、男女ともに《言われる（合計）》が減少し、女子では《言われない（合計）》が大きく増加している。（図表3）

#### (4) 性別役割意識に対する大人の言動による影響

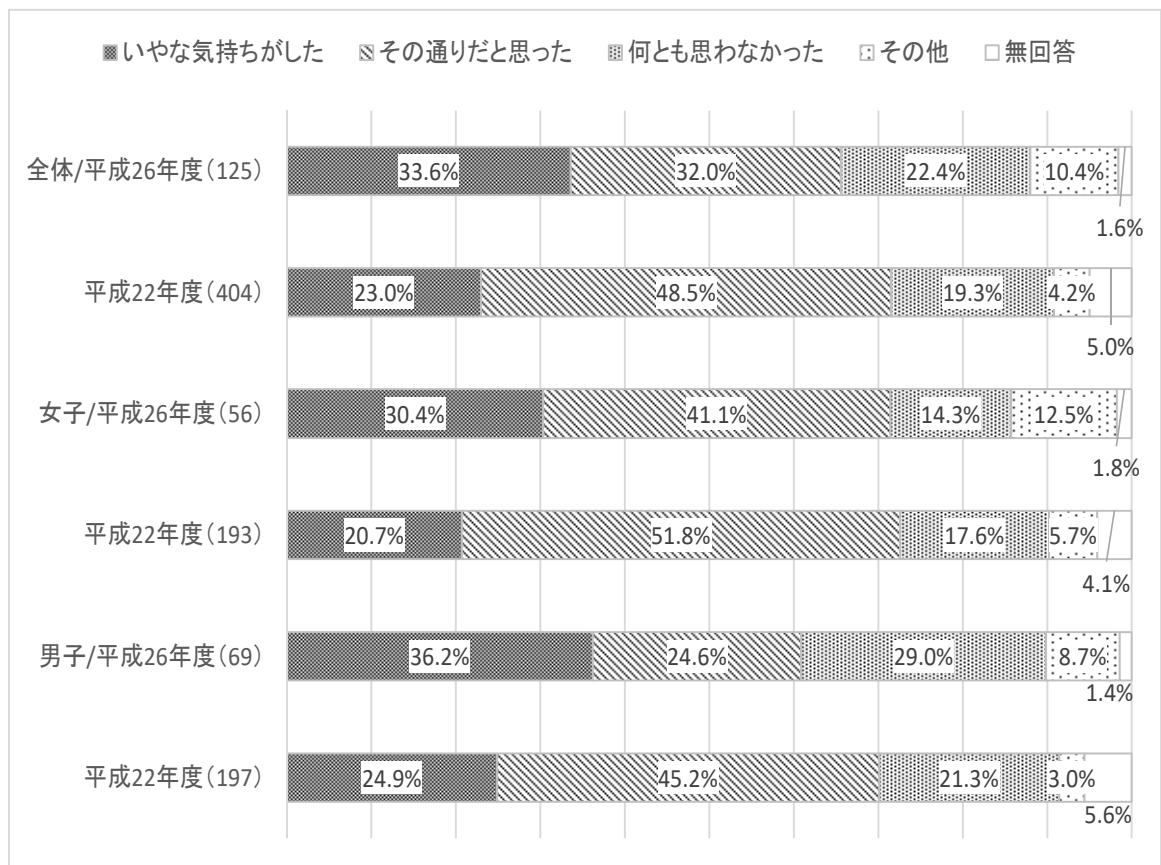
問4 問3で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた方に聞きます。あなたは  
その時どんな気持ちになりましたか。(〇は1つ)

図表4 性別役割意識に対する大人の言動による影響

【性別】



【経年比較】



性別役割意識に対する大人の言動による影響は、全体では、「いやな気持ちがあった」が33.6%、「その通りだと思った」が32.0%、「何とも思わなかった」は22.4%となっている。性別で見ると、「その通りだと思った」が女子41.1%、男子24.6%と、女子で4割となっている。

平成22年度調査と比較すると、男女とも「いやな気持ちがあった」が増加し、「その通りだと思った」が減少している。(図表13)

## 第5章 調査票

あなたの声をお聞かせください!

# 和光市男女共同参画意識調査



和光市男女共同参画推進係  
「わこうさん」

## 調査へのお願い

市民の皆様には、日ごろから市政へご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

このたび、男女共同参画社会の実現を目指した「第3次男女共同参画わこうプラン」の改訂に向けて、市民の皆様の意識と実態を把握するため「和光市男女共同参画意識調査」を実施させていただき運びとなりました。

市民の皆様には、大変お忙しいところお手数をおかけしますが、本調査の趣旨を何卒ご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成26年11月

和光市長 松本 武洋

### ご記入にあたって

- 1 アンケートの記入は、ご本人にお願いします。
- 2 質問ごとにあてはまる回答の番号を選び、○で囲んでください。
- 3 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、【 】内のことわり書きをよくお読みください。また、矢印(→)のあるところは、矢印に従ってお進みください。
- 4 記入は、鉛筆又は黒・青のボールペンでお願いします。
- 5 すべてのご記入が終わりましたら、お手数ですが記入もれがないかお確かめの上、担当職員にお渡しください。

※ 調査は、無記名であるため、個人が特定されることは一切ございません。また、調査結果は、計画策定および男女共同参画施策の推進以外の目的に利用することはございません。

### 《問い合わせ先》

和光市企画部人権文化課人権担当  
〒351-0192和光市広沢1番5号  
TEL 048-424-9088 FAX 048-464-1234  
E-MAIL a0400@city.wako.lg.jp

## 男女共同参画に関する意識について

**問1** あなたは、次にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	男女の地位は平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている
ア 家庭で	1	2	3	4	5
イ 地域で	1	2	3	4	5
ウ 職場で	1	2	3	4	5
エ 学校で	1	2	3	4	5
オ 法律や制度で	1	2	3	4	5
カ 社会通念・慣習などで	1	2	3	4	5
キ 社会全体で	1	2	3	4	5

**問2** 「男は仕事、女は家庭」という性別による固定的な役割分担意識に同感しますか。

(○は1つ)

<input type="checkbox"/> 1 同感する <input type="checkbox"/> 2 同感しない	<input type="checkbox"/> 3 どちらともいえない <input type="checkbox"/> 4 わからない
---	--

【問2で「同感する」と回答された方のみにおたずねします。】

問2-1 同感する理由は何ですか。(○は2つまで)

<input type="checkbox"/> 1 日本の伝統・美徳だと思うから <input type="checkbox"/> 2 役割分担をした方が効率が良いと思うから <input type="checkbox"/> 3 子どもの成長にとって良いと思うから	<input type="checkbox"/> 4 個人的にそうありたいと思うから <input type="checkbox"/> 5 理由を考えたことはない
---	--

## 家庭生活について

問3 あなたの家庭では次のことについて、主にどなたが行っていますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

	主として男性	共同して分担	主として女性	その他	該当しない
ア 子育て（子どもの世話、しつけ、教育など）	1	2	3	4	5
イ 地域の行事への参加	1	2	3	4	5
ウ 自治会、PTA活動	1	2	3	4	5

## 配偶者や恋人からの暴力について

問4 あなたは、次のようなことが夫婦（事実婚や別居中を含む）や恋人の間で行われた場合、

それを暴力であると思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	どんな場合でも暴力にあたる	そうでない場合がある	暴力の場合とそうでない場合	暴力にあたるとは思わない
平手でぶつ、足でける	1	2	3	
突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする	1	2	3	
打ち身や切り傷などのケガをさせる	1	2	3	



ドアをけったり、壁に物を投げて、おどす	1	2	3
なぐるふりをしておどす	1	2	3
何を言っても、長時間無視し続ける	1	2	3
「誰のおかげで生活できるのか」などと言う	1	2	3
大声でどなる	1	2	3
生活費を渡さない	1	2	3
仕事をやめさせる	1	2	3
いやがるのに、性的な行為を強要する	1	2	3
見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	1	2	3

**問5** あなたはこれまでに、あなたの配偶者や恋人から、次のような行為をされたことがありますか。(○はそれぞれ1つずつ)



	あ っ た も	あ っ た 1、 2 度	な い ま っ た く
なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する行為を受けた	1	2	3
人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
生活費を渡さない、お酒、ギャンブル、異性に生活費を使い込む、お金の使途を細かくチェックする、仕事をやめさせるなどの行為を受けた	1	2	3
いやがっているのに、性的な行為を強要された	1	2	3

↓  
【問5で1つでも「何度もあった」「1、2度あった」と回答された方のみにおたずねします。】

**問5-1** あなたはこれまでに、その相手の行為によって、命の危険を感じたことがありますか。

(○は1つ)

- |            |            |
|------------|------------|
| 1 感じたことがある | 2 感じたことはない |
|------------|------------|

**問5-2** その相手は、あなたのお子さんに対して、あなたがされていたのと同じ行為をしたことがありますか。(○は1つ)

- |         |           |
|---------|-----------|
| 1 あった   | 3 なかった    |
| 2 わからない | 4 子どもはいない |

**問5-3** あなたは問5であげたような行為を受けたことについて、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(○は1つ)

- |        |            |                 |
|--------|------------|-----------------|
| 1 相談した | 2 相談できなかった | 3 相談しようとは思わなかった |
|--------|------------|-----------------|

## 仕事について

問6 育児休業や介護休業は男女ともに利用できる制度ですが、あなたの職場の人がこれらの制度を利用することについて、あなたはどのように思いますか。現在お勤めでない方は過去の経験からお答えください。（○はそれぞれ1つずつ）

	全く抵抗がない	抵抗がない	多少抵抗がある	かなり抵抗がある
ア 女性が育児休業をとることについて	1	2	3	4
イ 女性が介護休業をとることについて	1	2	3	4
ウ 男性が育児休業をとることについて	1	2	3	4
エ 男性が介護休業をとることについて	1	2	3	4



## 健康について

問7 あなたは、性感染症の予防方法を知っていますか。（○は1つ）

1 知っている	2 知らない
---------	--------

## 男女共同参画の取り組みについて

問8 次にあげる男女共同参画に関する社会の動きや言葉について、見たり聞いたりしたことがありますか。（○はそれぞれ1つずつ）

	内容を 知っている	聞いたことは あるが、内容 は知らない	知らない
女子差別撤廃条約	1	2	3



配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）	1	2	3
和光市男女共同参画推進条例	1	2	3

**さいごにあなたご自身のことについて**

F 1 あなたの性別は。(○は1つ)

1 女性	2 男性
------	------

F 2 あなたの年齢は。(○は1つ)

1 20～24歳	5 40～44歳	9 60～64歳
2 25～29歳	6 45～49歳	10 65～69歳
3 30～34歳	7 50～54歳	11 70歳以上
4 35～39歳	8 55～59歳	

F 3 あなたは結婚されていますか（事実婚\* を含みます）。(○は1つ)

1 結婚している	2 結婚していない	3 結婚していたが、離・死別した
----------	-----------	------------------

\*事実婚とは、戸籍上は婚姻関係にないが、事実上婚姻関係にあること。

**【F3で「結婚している」と回答した方のみにおたずねします。】**

F3-1 共働きですか（パートなども含みます）。(○は1つ)

1 共働きである	2 共働きではない	3 2人とも働いていない
----------	-----------	--------------

◎ 和光市の男女共同参画の取組についてご意見がございましたら、お書きください。

↓

---



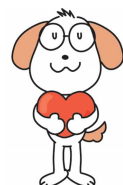
---



---

ご記入もれがないかご確認の上、担当職員にお渡しください。

**～ご協力ありがとうございました～**



## 和光市男女共同参画に関する中学生意識調査

### 【お 願 い】



和光市男女共同参画推進係  
わこうさん

中学2年生のみなさんこんにちは！

これはテストではありません。

この調査は、和光市の中学2年生のみなさんが、男女平等をどのように考えているのかを知るために行っています。

あなたの名前は書かなくてよいので、答えは先生や他の人にはわかりません。あなたがいつも思っていることを答えてください。

### 【答 え 方】

1. 答えは、問の後のあてはまる番号に○をつけてください。
2. 「その他」に○をした時は、( )の中に自分で考えた答えを書いてください。
3. 意味のわからない質問や答えたくない質問があったときは、その質問をとばして先に進んでください。

和光市企画部人権文化課人権担当

☎ : 048-424-9088





問1 あなたの性別は。(○は1つ)

1 女	2 男
-----	-----

問2 「男は仕事・女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思いますか。(○は1つ)

1 そう思う	3 どちらかといえばそう思わない
2 どちらかといえばそう思う	4 そうは思わない
	5 わからない

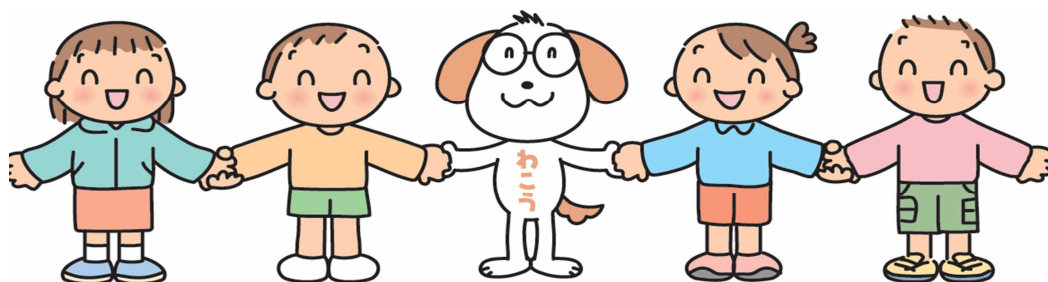
問3 あなたはおとなの人に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。(○は1つ)

1 よく言われる	3 あまり言われたい
2 ときどき言われる	4 ぜんぜん言われたい

問4 問3で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた方に聞きます。  
あなたはその時どんな気持ちになりましたか。(○は1つ)

1 いやな気持ちでした	3 何とも思わなかった
2 その通りだと思った	4 その他 ( )

ご協力ありがとうございました！



わ こう し だんじょきょうどうさんかく かん しょうがくせい い し き ちょうさ  
和光市男女共同参画に関する小学生意識調査

ねが  
【お 願 い】



ねんせい  
4年生のみなさんこんにちは！

これはテストではありません。

わこう し だんじょきょうどうさんかく すい しん かかり  
和光市男女共同参画推進係  
わこうさん

ちょうさ わ こう し ねんせい だんじょびょうどう かんが  
この調査は、和光市の4年生のみなさんが、男女平等をどのように考  
えているのかを知るために行っています。

なまえ か こた せんせい ほか ひと  
あなたの名前は書かなくてよいので、答えは先生や他の人にはわかりま  
せん。あなたがいつも思っていることを答えてください。

こた かた  
【答 え 方】

- こた とい あと ばんごう  
1. 答えは、問の後のあてはまる番号に○をつけてください。
2. 「その他」に○をした時は、( ) の中に自分で考えた答えを書いてください。
- い み しつもん こた しつもん  
3. 意味のわからない質問や答えたくない質問があったときは、その質問を  
とばして先(さき)に進(すす)んでください。

わこう し きかく ぶじんけん ぶんかか じんけんたんとう  
和光市企画部人権文化課 人権担当 ☎ : 048-424-9088





問1 あなたの性別は。(○は1つ)

1 女

2 男

問2 「男は仕事・女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思いますか。(○は1つ)

1 そう思う

3 どちらかといえばそう思わない

2 どちらかといえばそう思う

4 そうは思わない

5 わからない

問3 あなたはおとなの人に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。(○は1つ)

1 よく言われる

3 あまり言われたい

2 ときどき言われる

4 ぜんぜん言われたい

問4 問3で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた方に聞きます。あなたはその時どんな気持ちでしたか。(○は1つ)

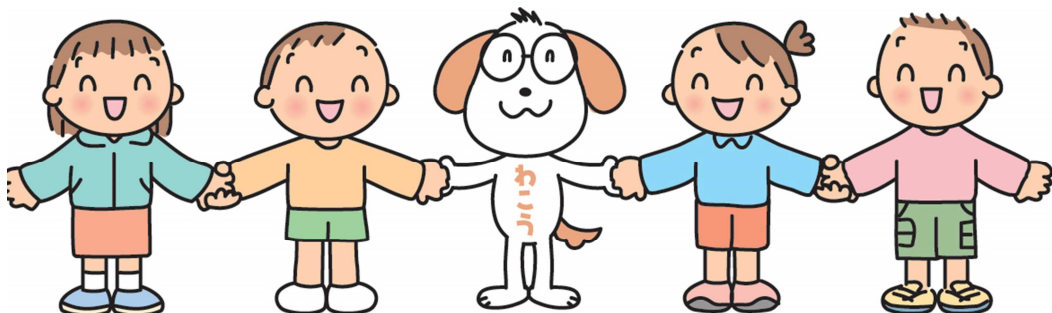
1 いやな気持ちでした

3 何とも思わなかった

2 その通りだと思った

4 その他( )

きょうりよく  
ご協力ありがとうございました!



平成26年度  
和光市男女共同参画意識調査  
報告書

平成27年7月

発行 和光市企画部人権文化課  
〒351-0192 和光市広沢1番5号  
TEL 048-424-9088  
ホームページ <http://www.city.wako.lg.jp/>